

日本人人口の増加

郡市町村	内地	南洋	昭和元年	昭和五年	昭和十年	昭和十五年	昭和二十年	昭和二十五年	昭和三十年	昭和三十五年	昭和四十年	昭和四十五年	昭和五十年
愛知縣	五、〇八一・二四二												
三重縣	五、七六五・三四一												
滋賀縣	四、〇五〇・九二九												
京都府	四、六二一・一九六												
大阪府	一、八一三・六三一												
兵庫県	八、三三二・八七五												
奈良縣	三、六八八・六〇〇												
和歌山縣	四、七三三・四三三												
鳥取縣	三、四八九・四八一												
島根縣	六、六一八・〇四二												
岡山縣	七、〇四六・四七五												
広島縣	八、四三六・五二七												
山口縣	六、〇八一・一〇八												
徳島縣	四、一四三・二二一												
香川縣	一、八五八・七三〇												
愛媛縣	五、六六七・一〇八												
高知縣	七、一〇三・六二〇												
福岡縣	四、九三九・六四六												
佐賀縣	二、四四三・八九七												
長崎縣	四、〇七五・七七七												
熊本縣	七、四三七・七三三												
大分縣	六、三三三・八八〇												
宮崎縣	七、七三三・二九五												
鹿兒島縣	九、〇八一・三三三												
沖縄縣	二、三六六・二八八												

高山及名山

内地	南洋	所在地	高さ(米)
富士山△		静岡、山梨	三、七六二
北嶽		山梨	三、六八六
白根山		山梨、静岡	三、六八六
間ノ嶽		同、同	三、六八六
農鳥嶽		同、同	三、六八六
鐘ヶ嶽		長野	三、六八六
荒川嶽(東嶽)		静岡	三、六八六
赤石嶽		長野、静岡	三、六八六
奥穂高嶽		信濃、飛騨	三、六八六
唐澤嶽		長野、岐阜	三、六八六
穂高嶽		長野	三、六八六
前穂高嶽		長野	三、六八六
南嶽		長野、岐阜	三、六八六
西穂高嶽		同、同	三、六八六
荒川嶽(中嶽)		静岡	三、六八六
御嶽△		長野、岐阜	三、六八六
鹽見嶽		長野、静岡	三、六八六
仙丈ヶ嶽		長野、山梨	三、六八六
乗鞍嶽△		長野、岐阜	三、六八六
聖嶽		長野、静岡	三、六八六
立山△		富山	三、六八六
水晶山(黒岳)		同	三、六八六
駒ヶ嶽(甲斐)		長野、山梨	三、六八六
駒ヶ嶽(木曾)		長野	三、六八六
白馬嶽		長野、富山	三、六八六
薬師ヶ嶽		富山	三、六八六
野口五郎嶽		長野、富山	三、六八六
鷲羽嶽		同、同	三、六八六
大天井嶽		長野、富山	三、六八六
鐘ヶ嶽		長野、富山	三、六八六
赤嶽		長野、山梨	三、六八六
八ヶ嶽		同、同	三、六八六
阿彌陀嶽		同、同	三、六八六
笠ヶ嶽(阿ヶ嶽)		岐阜	三、六八六
鹿島嶽		長野、富山	三、六八六
立山別山		富山	三、六八六
螺ヶ嶽		静岡	三、六八六
赤牛岳		富山	三、六八六
前駒ヶ嶽		長野	三、六八六
双六嶽		長野、岐阜	三、六八六
三ツ嶽		長野、富山	三、六八六
南駒ヶ嶽		長野	三、六八六
三保蓮華嶽		長野、岐阜、富山	三、六八六
鳳凰山		山梨	三、六八六
黒部五郎嶽(中ノ保嶽)		富山、岐阜	三、六八六
恵比須嶽		岐阜	三、六八六
針ノ木岳		長野、富山	三、六八六
祖父嶽		富山	三、六八六
大澤岳		長野、静岡	三、六八六
拔戸嶽		岐阜	三、六八六
東天井嶽		長野	三、六八六
上河内岳		長野、静岡	三、六八六
小河内岳		長野、静岡	三、六八六
白山△		石川、岐阜	三、六八六
白根山(日光)△		栃木	三、六八六
浅間山△		長野、群馬	三、六八六
二荒山(男轡山)△		栃木	三、六八六
硫黄ヶ岳(鳩岳)△		長野、岐阜	三、六八六
妙高山△		新潟	三、六八六
焼山△		新潟	三、六八六
阿頼度鳥△		千鳥	三、六八六
四阿山△		群馬、長野	三、六八六
幌尻岳		北海道	三、六八六
岩手山△		岩手	三、六八六
石碓山△		愛媛、高知	三、六八六
石狩岳		北海道	三、六八六
吾妻山△		福島	三、六八六
剣山△		徳島、高知	三、六八六
月山△		山形	三、六八六
羊蹄山(蝦夷富士)△		北海道	三、六八六
赤城山△		群馬	三、六八六
霧ヶ峰△		群馬	三、六八六
大雪山(伯耆富士)△		鳥取	三、六八六
霧島山△		宮崎、鹿兒島	三、六八六

由良川	朝	京都	1,800	121
鴨綠江	鮮	平安北	31,739	790
漢江	京畿	京畿	26,279	514
洛東江	全羅北	全羅北	23,860	525
大同江	黃海	黃海	16,673	439
豆滿江	咸鏡北	咸鏡北	10,513	331
錦江	京畿	京畿	9,886	401
臨津江	同	同	8,118	254
清川江	平安南	平安南	5,831	199
禮成江	慶尙南	慶尙南	4,897	222
載寧江	江原	江原	4,048	174
大寧江	平安北	平安北	3,671	129
龍興江	咸鏡南	咸鏡南	3,397	135
榮山江	全羅南	全羅南	2,798	126
南大川	咸鏡南	咸鏡南	2,405	121
城川江	同	同	2,338	99
濁水溪	台	台中	165	155
下淡水溪	高雄	高雄	156	133
曾文溪	同	同	133	133
淡水河	新竹	新竹	130	128
大甲溪	台中	台中	118	122
烏溪	同	同	112	122

名	所在	面積(平方尺)
琵琶湖	滋賀	674.80
八郎湖	秋田	331.30
霞ヶ浦	茨城	177.50
猿瀨湖	北海道北見	154.50
猪苗代湖	福島	133.64
中道湖	鳥取、島根	101.60
宍道湖	島根	83.13
濱名湖(猪島湖を含む)	静岡	80.26
十和田湖	秋田、青森	76.03
屈斜路湖	北海道釧路	76.33
支笏湖	同	76.30
小川原湖	青森	64.80
洞爺湖	北海道釧路	63.05
能取湖	北見	54.24
風蓮湖	同、根室	52.68
北浦(鰻川を含む)	茨城	43.20
幽仙湖	千島	35.88
網走湖	北海道北見	34.35
厚岸湖	同、釧路	31.99
印幡沼	千葉	26.10
田澤湖	秋田	25.60
河北潟	石川	23.00

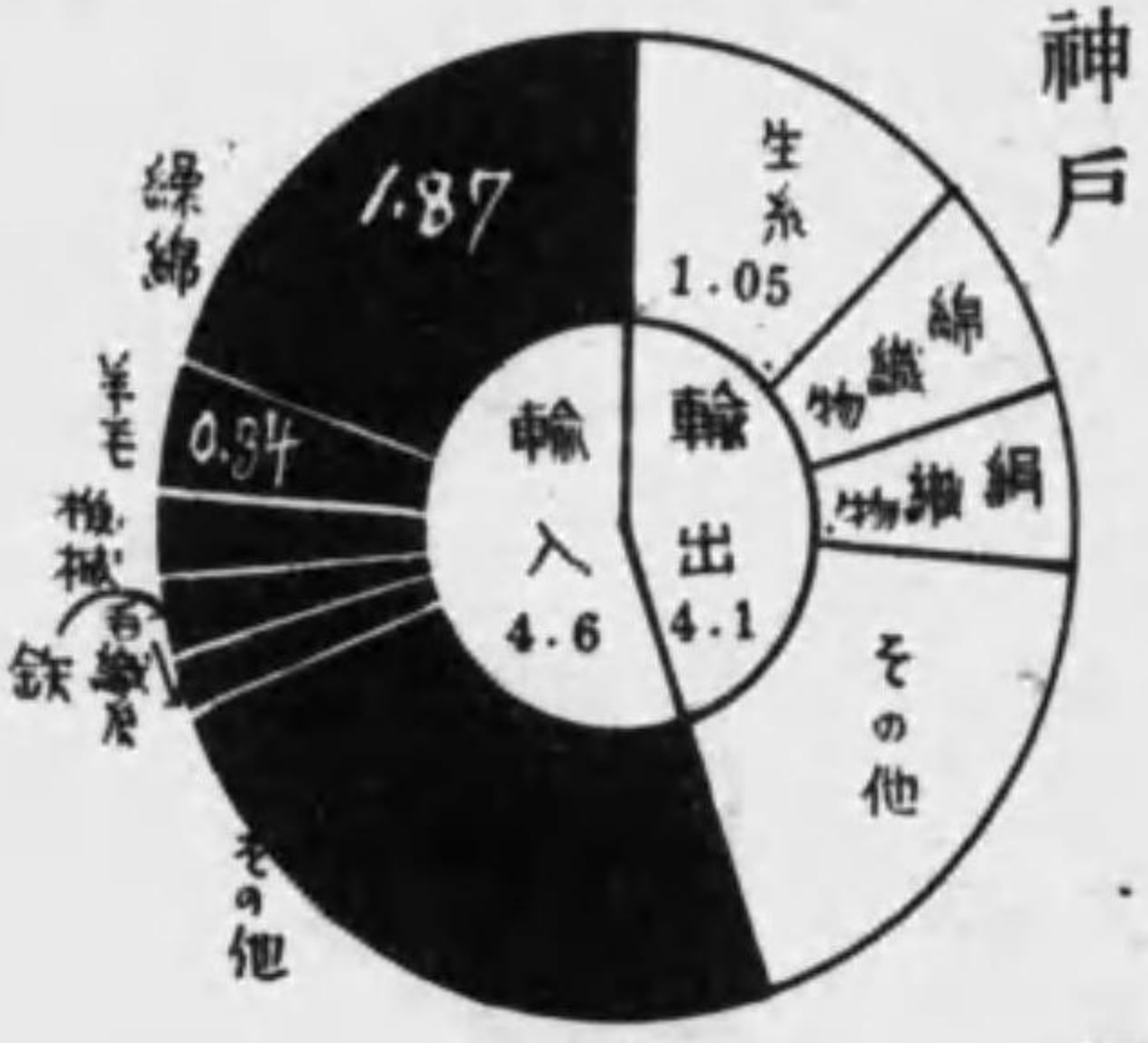
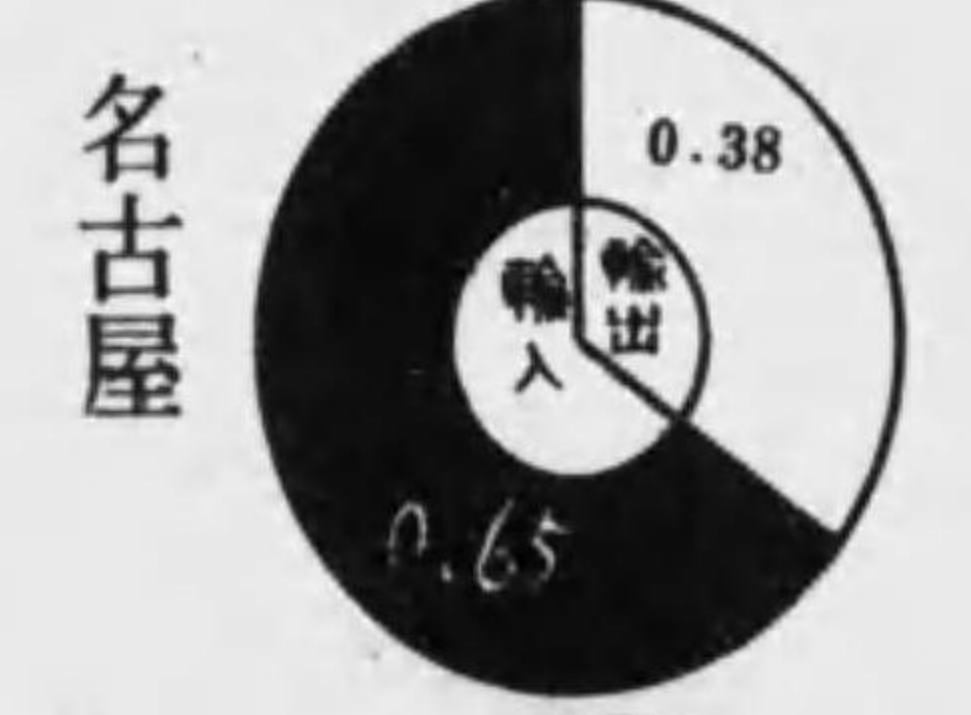
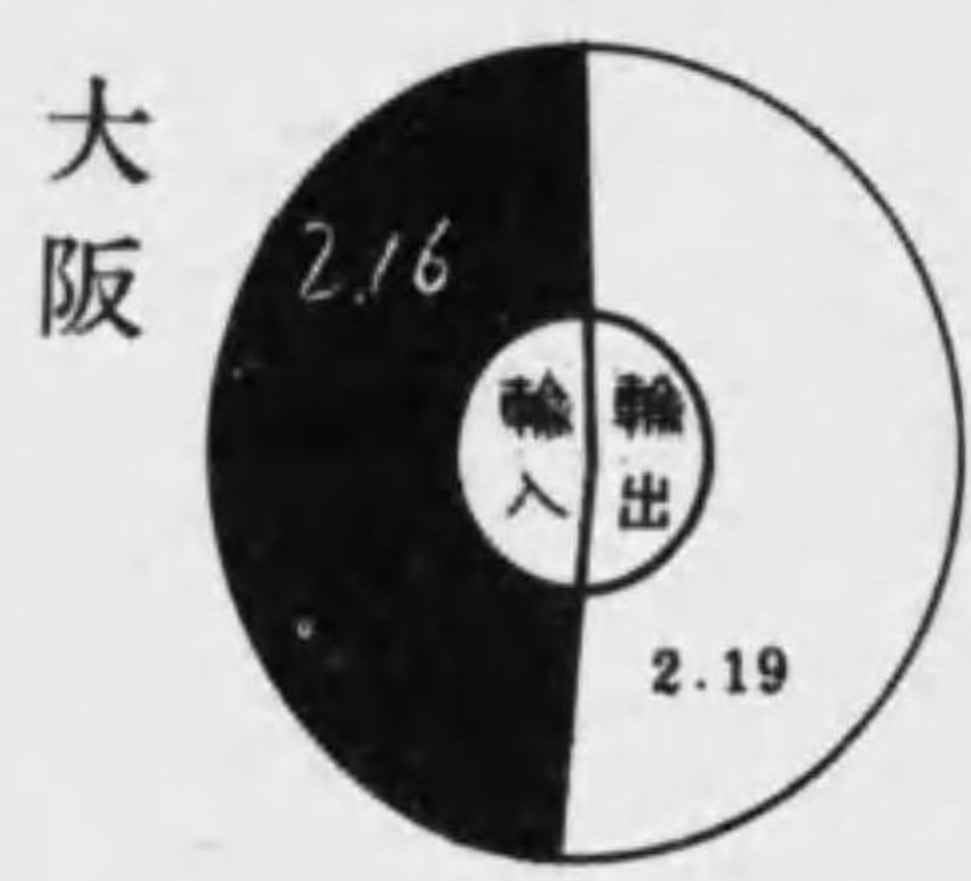
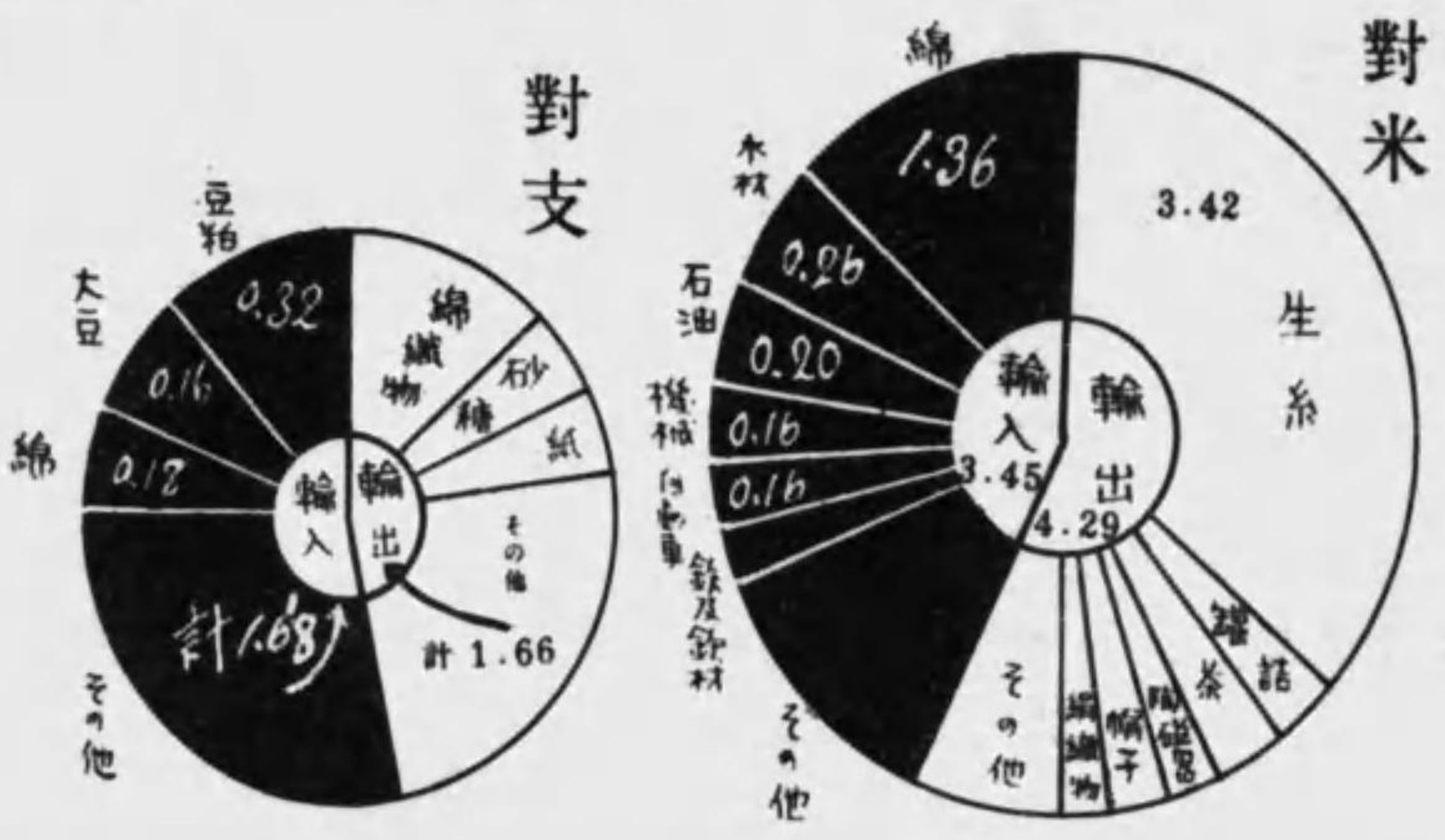
十三湖	青森	110.87
伊庭内湖	北海道釧路	110.00
武尊湖	千島新島	115.33
頓別湖	北海道北見	155.00
阿寒湖	北海道釧路	144.53
溜沼	茨城	133.75
幸ノ湖(中禪寺湖)	栃木	119.1
池田湖	鹿兒島	11.10
手賀沼	千葉	10.86
檜原湖	福島	10.24
蘆ノ湖	神奈川	4.08
巨山池	鳥取	6.68
山中池	京都	6.65
河口湖	山梨	6.46
大沼	北海道渡島	5.12
多來加湖	樺太、敷香	180.06
富内湖	同、大泊	168.18
遠淵湖	同、大泊	40.43
來知志湖	同、泊居	34.77
和愛湖	同、大泊	34.18
池邊湖	同、大泊	11.20

岩木山	青森	1,252
阿蘇山	熊本	1,553
榛名山	群馬	1,486
箱根山	神奈川、静岡	1,586
敷香山	樺太	1,555
温泉岳	長崎	1,500
白頭山(大正峰)	△咸鏡南北	2,700
冠帽山	同北	2,500
北水白山	同南	2,500
遮日峰	同同	2,500
新高山	台中、台南、高雄	2,500
次高山	新竹、台中	2,500
秀姑巒山	台中、花蓮港、高雄	2,500
マボラス山	同、同	2,500
南湖大山	台北、台中、花蓮港	2,500
中央尖山	台中、花蓮港	2,500
關山	台東、高雄	2,500
大水窟山	花蓮港、高雄	2,500
奇萊主山北峯	花蓮港	2,500
東都大山	台中	2,500
大雪山	新竹、台中	2,500
大霸尖山	新竹	2,500
雲峰	花蓮港、高雄	2,500
奇萊主山	台中、花蓮港	2,500

東嶺大山	台中	2,500
合歡山	台中、花蓮港	2,500
桃山	台北、台中、新竹	2,500
シンカン山	花蓮港	2,500
畢祿山	台中、花蓮港	2,500
丹大山	台中、花蓮港	2,500
白姑大山	台中	2,500
南双頭山	花蓮港、高雄	2,500
能高山南峰	台中、花蓮港	2,500
卑南主山	台東、高雄	2,500
千卓萬山	台中	2,500

阿武隈川	宮城	5,100
天龍川	静岡	4,800
富士川	駿河	4,500
雄物川	秋田	4,100
能代川	秋田	4,100
江ノ川	鳥根	3,800
吉野川	徳島	3,700
那珂川	茨城	3,700
荒川	東京	3,500
筑後川	福岡	3,500
神通川	富山	3,500
岩木川	青森	3,500
馬淵川	青森	3,500
常呂川	北海道	3,500
九頭龍川	福井	3,500
高梁川	岡山	3,500
新宮川	和歌山	3,500
渡川	高知	3,500
大淀川	宮崎	3,500
吉井川	岡山	3,500
球磨川	熊本	3,500
五箇瀬川	宮崎	3,500
紀ノ川	和歌山	3,500
矢作川	愛知	3,500
庄川	富山	3,500
加古川	兵庫	3,500

（昭和六年）日本の主なる貿易一覽（單位億圓）



主な長橋

所在地	長さ(米)
朝鮮咸鏡南	一三・二八
台湾、高雄	三三・六六
同、台中	四・四四
潮州線、九曲堂—六塊厝(下淡水溪)	一、五三六
羽越線、新津—水原(阿賀野川)	一、二四三
東海道線、中泉(天龍川)	一、三〇九
吉野川橋(徳島縣吉野川)	一、〇七〇
東海道線、島田—金谷(大井川)	一、〇一八
關西線、長島—桑名(揖斐川)	九九二
大利根橋(利根川)	九九三
常磐線、我孫子—取手(利根川)	九四六
新義州—安東縣(鴨綠江)	九四〇
東北線、赤羽—川口町(荒川)	九二五
關西線、彌富—長島(木曾川)	八六四
羽越線、余目—砂越(第二最上川)	八二二
長野電線、柳原—村上(信濃川)	八〇七
日豊線、高鍋—川南(小丸川)	八〇六
東海道線、大阪—神崎(下淀川)	七七三
山陰線、餘部(陸橋)	三〇九

主な燈台

名称	所在地	燈高	燭光數	光達距離
神威岬	後志	七五・四	二六	二二・〇
鹽屋岬	磐城	七九・七	一五〇〇	二二・六
犬吠岬	下總	五一・八	六三〇	一九・九
神子元島	伊豆	五〇・六	二六	一九・七
御前崎	駿河	五三・三	六三〇	二〇・一
角島	長門	四三・三	一八〇	一八・六
日ノ岬	出雲	六三・三	六〇〇	二二・五
地蔵崎	出雲	八二・七	六三〇	二二・九
經ヶ岬	丹後	一四三・六	三三〇	三〇・〇
入道崎	羽後	五五・七	五七	二〇・五
室戸崎	土佐	一五一・八	一五〇〇	三〇・七
水ノ子島	豊後	五六・三	六八八	二〇・六
鞍崎	日向	八八・二	一八〇	二四・五
佐多岬	大隅	六八・八	二六	二二・三
釣掛崎	薩摩	一四一・五	九二	二九・八
大瀬崎	肥前	八一・八	一八〇	二二・八
沖島	筑前	二四六・〇	二五〇	二七・八
伊江島	大隅	七〇・六	一八〇	二二・四
屋久島	琉球	五一・五	一八〇	一九・九
七股島	全羅南道	一〇三・三	六〇〇	二六・二
老嶽山	關東州	九六・六	一八〇	二二・五
彭佳嶼	高雄州	一四六・〇	八六四	三〇・二
龜山	台北州	五五・一	二六	二〇・四
澎湖島	澎湖島	五〇・〇	五〇〇	一九・六

主なトンネル

名称	長さ(米)
清水(上越線)	九、九八〇
丹那(熱海線、工事中)	七、八〇七
笹子(中央線)	四、六五八
猪之鼻(豫讃線)	三、八四五
青山(參宮急行電線)	三、四三〇
生駒山(大阪電氣軌道)	三、三八〇
冷水(九州長原線)	三、二七九
禮文華山(北海道、長輪線)	二、七二六
冠着(篠ノ井線)	二、六五六
小佛(中央線)	二、五四五
泉越(熱海線)	二、四四七
長等山疏水(大津、京都間)	二、四五一
新達坂山(東海道線)	二、三三五
坂ノ上(豊肥線)	二、二八三
第一飛鳥(陸中山田線)	二、二六三
矢嶽(肥薩線)	二、〇九六
第二坂(篠ノ井線)	二、〇八四
平瀬(磐越線)	二、〇〇六
桃觀(山陰線)	一、九九二
斗賀野(高知線)	一、九三三
觀山(九州國都線)	一、九三五
荷坂(紀勢東線)	一、九一六
田代(山口線)	一、八九七
由良(紀勢西線)	一、八八五

貿易統計

外國貿易輸出入累年表 (大藏省調査、單位千圓)

年	輸出	輸入	差引
昭和四年	二、四八、六一九	二、二六、三四〇	△ 六七、六二二
五年	一、四六九、八五二	一、五四六、〇七一	△ 七六、二一九
六年	一、四六六、九八一	一、三三五、六七五	△ 八八、六

(備考) 内地及樺太を含む、△印は入超

台灣、朝鮮貿易累年表 (大藏省調査、單位千圓)

年	輸出		輸入		差引
	台	朝	台	朝	
昭和四年	三三、一八八	六四、五四一	三三、七七三	一〇七、七六八	
五年	二二、八〇八	四五、一三一	二五、八五二	八八、八五五	
六年	一九、四四九	三〇、八五九	一二、七七二	五二、六九六	

重要輸出品價格概算表 (單位千圓)

品名	四年		五年		六年	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
食料品	一六〇、二一八	一三二、八二〇	一三二、八二〇	一〇一、二九七	一〇一、二九七	五、〇七九
豆類	一四、六二二	七、三三三	一八、〇八〇	一〇、一七七	一〇、一七七	一、〇七九
水産物	二二、三四九	一四、四八〇	二六、八二六	一四、四八〇	九、五二七	八、三三二
小麦粉	二六、八二六	一四、四八〇	二六、八二六	一四、四八〇	九、五二七	八、三三二
製糖	二二、〇二八	八、三三七	二九、九七五	二六、七三五	一四、八六一	一四、九四七
砂糖	二九、九七五	二六、七三五	二九、九七五	二六、七三五	一四、八六一	一四、九四七
鹽	二五、六八三	二一、七六三	二五、六八三	二一、七六三	一八、九四七	一八、九四七

重要輸入品概算表 (單位千圓)

品名	四年		五年		六年	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
食料品	二七一、一五六	二〇八、二九六	二七一、一五六	二〇八、二九六	一五八、六一二	一五八、六一二
米及穀類	二二、七八二	一九、五八三	二二、七八二	一九、五八三	六、九七三	六、九七三
小麦	七〇、八九九	四一、五〇九	七〇、八九九	四一、五〇九	三三、九三六	三三、九三六
豆類	七八、七四四	四九、七八四	七八、七四四	四九、七八四	三三、九三六	三三、九三六
砂糖	三二、一六〇	二五、九七三	三二、一六〇	二五、九七三	一五、六〇三	一五、六〇三

品名	四年		五年		六年	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
原料品	一、三三、九一七	八二八、五五二	一、三三、九一七	八二八、五五二	六八四、三三九	一、〇〇、五五四
採油原料	三〇、七七七	一九、九六九	三〇、七七七	一九、九六九	一四、五四九	一四、五四九
石炭	四三、九七九	三四、二〇四	四三、九七九	三四、二〇四	二八、三六八	二八、三六八
生油	三三、八八四	一七、九三一	三三、八八四	一七、九三一	一三、一八二	一三、一八二
硫安	四八、〇八六	二九、六三三	四八、〇八六	二九、六三三	一五、八六一	一五、八六一
棉花	五七三、〇二六	三六二、〇四七	五七三、〇二六	三六二、〇四七	二九六、二七三	二九六、二七三
羊毛	七五、九一九	六六、四一七	七五、九一九	六六、四一七	四四、三四九	四四、三四九
油粕	一〇一、八二六	七三、六一〇	一〇一、八二六	七三、六一〇	八六、四四五	八六、四四五
木材	八八、八三八	五三、〇八四	八八、八三八	五三、〇八四	四三、三七九	四三、三七九
原料用製品	三五五、三九三	二二六、四三七	三五五、三九三	二二六、四三七	一八一、一三八	一八一、一三八
製紙用パルプ	一三、四八六	一一、〇八四	一三、四八六	一一、〇八四	一一、八四〇	一一、八四〇
毛糸	一八、七三五	一四、四一九	一八、七三五	一四、四一九	一一、四三一	一一、四三一
鉄	二八四、四三五	一五、八四六	二八四、四三五	一五、八四六	一一、二九	一一、二九
その他鐵	一三、二八六	七、七六二	一三、二八六	七、七六二	三六、七九八	三六、七九八
鉛(塊及錠)	一五、〇三六	一一、一七	一五、〇三六	一一、一七	八、二九	八、二九
亜鉛	八、一九四	四、九九五	八、一九四	四、九九五	三、〇九二	三、〇九二
全製	三四五、九一三	二五五、〇〇九	三四五、九一三	二五五、〇〇九	一九七、五三四	一九七、五三四
石油	三四、六八二	三七、八六七	三四、六八二	三七、八六七	三五、九九三	三五、九九三
毛織物	一九、九四一	一一、四三四	一九、九四一	一一、四三四	九、九四三	九、九四三
機械類	二二、〇九五	八五、七一四	二二、〇九五	八五、七一四	五〇、九二〇	五〇、九二〇

輸出入價格別表 (昭和六年) (單位千圓)

品名	輸出	輸入	差引
支那	一五五、七五一	一四四、六九七	一〇、〇五四
關東州	六五、五四二	九〇、一六五	△ 二四、六二三

品名	輸出		差引	
	金額	噸數	金額	噸數
香港	三六、七五五	四九、九	三六、七五五	四九、九
印度	一〇、三六七	一三、一六五	一〇、三六七	一三、一六五
蘭領印度	六三、四五〇	四六、〇八一	六三、四五〇	四六、〇八一
露領亞細亞	一四、九四一	三〇、八六五	一四、九四一	三〇、八六五
其他共合計	五〇五、〇一八	四九三、九三六	五〇五、〇一八	四九三、九三六
ヨロツバ	五二、八三一	六三、三三五	五二、八三一	六三、三三五
英國	一五、七七五	一一、四〇八	一五、七七五	一一、四〇八
佛蘭西	八、一〇三	七三、二四四	八、一〇三	七三、二四四
獨逸	二、四四七	四、七三六	二、四四七	四、七三六
伊太利	三、〇〇四	四、二七六	三、〇〇四	四、二七六
其他共合計	一〇一、九九八	一九九、七六八	一〇一、九九八	一九九、七六八
北アメリカ	四二五、三三〇	三四三、二八九	四二五、三三〇	三四三、二八九
米	一三、〇六七	三五、六七三	一三、〇六七	三五、六七三
加奈陀	四三八、八六五	三七八、一〇〇	四三八、八六五	三七八、一〇〇
其他共合計	一〇、二三五	七、〇九八	一〇、二三五	七、〇九八
南アメリカ	五八、八六八	一八、二二七	五八、八六八	一八、二二七
合アフリカ	一八、四〇六	一一、三三七	一八、四〇六	一一、三三七
大洋洲	二六、五九二	一一、七四三	二六、五九二	一一、七四三
其他共合計	二、一四六、九八一	一、二三五、六七五	二、一四六、九八一	一、二三五、六七五
全計	△ 二、一四六、九八一	△ 一、二三五、六七五	△ 二、一四六、九八一	△ 一、二三五、六七五

銅 (昭和六年)

Table of copper production and consumption for 1931, listing regions like 足尾(栃木), 別子(愛媛), 佐賀關(大分), etc.

石炭 (昭和五年)

Table of coal production and consumption for 1930, listing regions like 北海道, 常磐地方, 宇部地方, etc.

石油 (昭和五年)

Table of oil production and consumption for 1930, listing regions like 北海道, 秋田, 新潟, etc.

發電力 (昭和五年)

Table of electricity generation for 1930, listing regions like 長野, 大野, 兵庫, etc.

陶磁器 (昭和五年)

Table of ceramic production and consumption for 1930, listing regions like 愛知, 岐阜, 京都, etc.

セメント (昭和五年)

Table of cement production and consumption for 1930, listing regions like 大分, 山口, 岡山, etc.

茶 (昭和五年)

Table of tea production and consumption for 1930, listing regions like 靜岡, 三重, 京都, etc.

蜜柑 (昭和五年)

Table of mandarin orange production and consumption for 1930, listing regions like 和歌山, 靜岡, 愛媛, etc.

葡萄 (昭和五年)

Table of grape production and consumption for 1930, listing regions like 大阪, 山梨, 岡山, etc.

林檎 (昭和五年)

Table of apple production and consumption for 1930, listing regions like 青森, 北海道, 長野, etc.

柿及桃 (昭和五年)

Table of persimmon and peach production and consumption for 1930, listing regions like 福島, 岐阜, 岡山, etc.

梨及梅 (昭和五年)

Table of pear and plum production and consumption for 1930, listing regions like 新潟, 靜岡, 愛媛, etc.

夏橙 (昭和五年)

Table of summer orange production and consumption for 1930, listing regions like 愛媛, 山梨, 和歌山, etc.

西瓜 (昭和五年)

Table of watermelon production and consumption for 1930, listing regions like 奈良, 兵庫, 熊本, etc.

硝子 (昭和五年)

Table of glass production and consumption for 1930, listing regions like 大分, 福岡, 東京, etc.

樟腦 (昭和六年)

Table of camphor production and consumption for 1931, listing regions like 兵庫, 鹿兒島, 宮崎, etc.

薄荷 (昭和五年)

Table of mint production and consumption for 1930, listing regions like 北海道, 廣島, 總計, etc.

砂糖 (昭和六年)

Table of sugar production and consumption for 1931, listing regions like 内地, 臺灣, 朝鮮, etc.

大豆 (昭和六年)

Table of soybean production and consumption for 1931, listing regions like 内地, 臺灣, 朝鮮, etc.

落花生 (昭和五年)

Table of peanut production and consumption for 1930, listing regions like 内地, 臺灣, 朝鮮, etc.

糖及木臘 (昭和五年)

Table of sugar and wax production and consumption for 1930, listing regions like 兵庫, 福岡, 熊本, etc.

酒類 (昭和五年)

Table of alcohol production and consumption for 1930, listing regions like 兵庫, 福岡, 京都, etc.

葉煙草 (昭和五年)

Table of tobacco production and consumption for 1930, listing regions like 栃木, 茨城, 鹿兒島, etc.

薯 (昭和五年)

Table of sweet potato production and consumption for 1930, listing regions like 總計, 臺灣, 朝鮮, etc.

メートル法概算表

Conversion table for metric units, including 一寸, 一尺, 一町, 一里, 一メートル, etc.

國有鐵道線路一覽

昭和七年
七月現在

東海道本線 (東京、神戸間)
横濱線、横須賀線、熱海線、武豊線、高山線、越美南線、西成線、福知山線、有馬線
北陸本線 (米原、直江津間)
小濱線、三國線、七尾線、中越線、水貝線、新湊線、飛越線
中央本線 (飯田町、長野間。名古屋、鹽尻間)
八甲南線、篠井線、大糸南線、太
多線
山陽本線 (神戸、下ノ關間)
播但線、姫津線、宇野線、作備線、伯備線、三神線、三吳線、吳線、岩徳東線、岩徳西線、山口線、美彌線、小串線
山陰本線 (京都、石見益田間)
舞鶴線、宮津線、峰豐線、因美線、若櫻線、倉吉線、境線、大社線、三江線
關西本線 (名古屋、湊町間)

参宮線、名松線、紀勢東線、草津線、奈良線、櫻井線、片町線、和歌山線、紀勢西線、城東線
東北本線 (上野、青森間)
山手線、常磐線、水郡南線、高崎線、八高北線、兩毛線、足尾線、水戸線、眞岡線、日光線、烏山線、水郡北線、川俣線、仙山東線、鹽竈線、大船渡線、横黒線、橋場線、山田線、花輪線、八戸線、大湊線
磐越西線 (郡山、新津間)
磐越東線、會津線
奥羽本線 (福島、青森間)
米坂東線、長井線、左澤線、生保内線、船川線、能代線、五所川原線、黒石線
羽越本線 (新津、秋田間)
赤谷線、米坂西線
陸羽東線 (小牛田、新庄間)
陸羽西線、石巻線
信越本線 (上野、長野、新潟間)

上越線、十日町線、魚沼線、越後線、彌彦線
總武本線 (兩國、銚子間)
房總線、木原線、成田線、久留里線、東金線
豫贛線 (高松棧橋、南郡中。多度津、阿波池田間)
高德線 (高松、引田間)
徳島本線 (徳島、阿波池田間)
小松島線
高知線 (角茂谷、須崎間)
鹿兒島本線 (門司、鹿兒島間)
室木線、篠栗線、久大線、佐賀線、三角線、肥薩線、宮之城線、指宿線、湯前線、山野線、國都西線
長崎本線 (鳥栖、長崎間)
唐津線、有明線、伊萬里線、佐世保線
豊肥本線 (熊本、大分間)
高森線
日豊本線 (小倉、吉松間)
田川線、宮床線、大湯線、細島線、妻線、志布志線、國都東線
筑豊本線 (若松、原田間)
漆生線、香月線、伊田線、桐野線、

幸袋線、上山田線
函館本線 (函館、旭川間)
上磯線、瀬棚線、長輪線、京極線、幌内線、歌志内線、手宮線、岩内線、雨龍線
室蘭本線 (室蘭、岩見澤間)
萬字線、夕張線
日高線 (苦小牧、静内間)
留萌線 (深川、増毛間。留萌、羽幌間)
根室本線 (瀧川、根室間)
富良野線、士幌線、廣尾線
宗谷本線 (旭川、稚内間)
石北西線、北見線
名寄本線 (名寄、野付牛間)
渚滑線
網走本線 (池田、網走、札鶴間)
湧別線、石北東線、相生線

樺太
樺太鐵道 (本斗、泊居間。眞岡、豊原間。大泊、榮濱間)
臺灣及沖繩
臺灣縱貫線 (基隆、高雄間)
平濱線、潮州線、臺中線、臺東線、淡水線、宜蘭線、集集線
沖繩縣營鐵道
朝鮮
京釜本線 (釜山、京城間)
馬山線、鎮海線、東海中部線
湖南本線 (大田、木浦間)
慶全北部線、光州線、群山線
京仁線 (京城、仁川間)
京元成鏡線 (京城、元山、新北青間)
成鏡線 (新北青、清津間)

威境北部線、會寧炭礦線
京義本線 (京城、安東間)
兼二浦線、平南線、平壤炭礦線、平元西線
滿洲
南滿洲鐵道本線 (大連、新京間)
旅順線、撫順線、營口線
安奉線 (安東、奉天間)
日本で一番早い汽車
超特別急行列車「燕」は東京、神戸間を、九時間で走る。普通列車では約十八時間かゝるところです。
特別急行「富士」(一一、等)「櫻」(三等)は、東京、下ノ關間に運轉され十九時間五十分で、普通列車より十時間も早い。

各種車の現在数

(自動車は昭和六年末)
(その他は昭和五年末)

自動車(乗用)	八、一三一
自動車(荷積用)	三〇、九三
自轉車	五、七九、二七
荷馬車	一、八〇、九八
荷牛車	三〇八、九四
人力車	九、六六〇
乗合馬車	四、六三
乗用馬車	一、九三

東京各市間里程表

(東京日本橋から各府縣)
(への里程)(Xは運)

浦和	六・一〇	千葉	一〇・四
前橋	二〇・三	宇都宮	二七・二
山形	七〇・七	水戸	五〇・七
盛岡	一〇九・〇	秋田	一五〇・九
札幌	二七〇・八	仙臺	八八・五
	X 六〇・〇	青森	一五二・五
		里町	里町

横濱	八・一〇	新瀉	一一・〇〇
富山	一〇九・〇	金澤	一一・一〇
甲府	三三・九	福井	一五・六
長野	五九・九	岐阜	一〇六・六
名古屋	六二・五	静岡	五〇・〇
大津	一一三・九	大津	三九・〇
大阪	一四三・〇	京都	一一三・〇
神戸	一五二・七	奈良	一四三・三
鳥取	二〇一・三	和歌山	一六二・九
松江	二六六・六	岡山	一八九・三
広島	三三三・七	徳島	一六九・三
高松	一八九・九	山口	二五三・三
松山	二四〇・一	高知	二一〇・〇
福岡	三〇九・〇	佐賀	三三三・三
長崎	三三三・三	熊本	三三九・〇
大分	三三三・〇	宮崎	三三三・〇
鹿児島	三三三・〇	那覇	三三三・〇

主要港間運程

横濱	二・七	須賀	二・七
熱海	五・〇	静岡	五・〇
清水	二・五	名古屋	二・五
名古屋	二・〇	京都	二・〇
大阪	一・八	神戸	一・八
東京	一・七	浦和	一・七
下田	一・六	武田	一・六
四日市	一・五	大田	一・五
徳島	一・四	高松	一・四
今治	一・三	八幡	一・三
尾道	一・二	高松	一・二
廣島	一・一	下関	一・一
大分	一・〇	佐賀	一・〇
基	〇・〇	佐賀	〇・〇

五大港入港汽船数 (昭和六年)

日本(内)	二、二六四	横濱	二、二六四
英國	一、六五五	神戸	二、〇七〇
佛蘭西	三、六六〇	長崎	二、九六六
獨逸	二、〇六六	門司	四、一六六
白瑞	二、〇〇〇	大阪	四、三二二
諸島	一、〇〇〇		
丁太	一、〇〇〇		
伊利	一、〇〇〇		

各港上陸外人數 (昭和六年)

英國	二、一七三	横濱	二、一七三
佛蘭西	一、二九六	神戸	二、一八三
獨逸	一、〇〇〇	長崎	一、七五五
白瑞	一、〇〇〇	門司	七〇七
諸島	一、〇〇〇	大阪	六、一六三
丁太	一、〇〇〇		
伊利	一、〇〇〇		
計他	一、〇〇〇		

外國航路運程(直航路)

(昭和七年七月海軍水路部調査)

香港	一、六二五	晚香坡	四、三三三
汕頭	一、六二五	新嘉坡	二、九〇五
仰光	一、六二五	孟買	五、八六〇
加爾各答	一、六二五	倫敦	三、三九七
亞丁	一、六二五	倫敦	三、三九七
蘇彝士	一、六二五	倫敦	三、三九七
塞得港	一、六二五	倫敦	三、三九七
亞丁	一、六二五	倫敦	三、三九七
蘇彝士	一、六二五	倫敦	三、三九七
塞得港	一、六二五	倫敦	三、三九七

長崎起點

自安	一、四七
自基	三、六
大連	五、三
旅順	五、三
上海	五、三
天津	五、三
芝罘	五、三
威海衛	五、三
龍口	五、三
煙台	五、三
濟南	五、三
青島	五、三
大連	五、三
旅順	五、三
上海	五、三
天津	五、三
芝罘	五、三
威海衛	五、三
龍口	五、三
煙台	五、三
濟南	五、三
青島	五、三

帝國艦艇一覽

艦名	排水量	速力	備	砲	管發射	竣工	製造所
●巡洋艦							
常備	排水量	速力	備	砲	管發射	竣工	製造所
金剛	3,700	27.5	(三) 砲高角(四) 機銃(三)	四	大正	二	英カイス社
比叡	3,000	同	同	同	三	同	三 橫須賀
霧島	3,000	同	同	同	同	同	四 三 菱 長崎
榛名	3,000	同	同	同	同	同	四 川
●戰艦							
扶桑	3,600	33.5	(三) 砲高角(四) 機銃(三)	六	大正	四	吳
山城	同	同	同	同	六	同	橫須賀
伊勢	3,200	33.0	(三) 砲高角(四) 機銃(三)	同	同	六	川
日向	同	同	同	同	同	七	三 菱 長崎
長門	3,800	同	(三) 砲高角(四) 機銃(三)	八	同	九	吳
陸奥	同	同	同	同	同	一〇	橫須賀
●一等巡洋艦							
加古	3,000	33.0	(三) 砲高角(四) 機銃(二)	三	大正	二	川
古鷹	同	同	同	同	同	一	三 菱 長崎

衣笠	同	同	(三) 砲高角(四) 機銃(三)	三	昭和	二	川
青葉	同	同	同	同	同	同	三 菱 長崎
妙高	10,600	同	(三) 砲高角(六) 機銃(三)	同	同	同	四 橫須賀
那智	同	同	同	同	同	同	三 吳
足柄	同	同	同	同	同	同	四 川
羽黑	同	同	(三) 砲高角(四) 機銃(三)	同	同	同	四 三 菱 長崎
高雄	同	同	同	同	同	同	七 橫須賀
愛宕	同	同	同	同	同	同	六 吳
鳥海	同	同	同	同	同	同	七 三 菱 長崎
摩耶	同	同	同	同	同	同	七 川
●二等巡洋艦							
平戶	3,500	32.0	(三) 砲高角(四) 機銃(二)	三	明治	五	川
矢矧	同	同	同	同	同	同	三 菱 長崎
天龍	3,500	33.0	(三) 砲高角(四) 機銃(二)	六	大正	八	橫須賀
龍田	同	同	同	同	同	八	佐世保
球磨	3,500	33.0	(三) 砲高角(四) 機銃(二)	八	同	九	佐世保
大多井	同	同	同	同	同	一〇	三 菱 長崎
同	同	同	同	同	同	一〇	川

艦名	排水量	速力	備	砲	管發射	竣工	製造所
北上	3,500	33.0	(三) 砲高角(四) 機銃(二)	八	大正	一〇	佐世保
木曾	同	同	同	同	同	一〇	三 菱 長崎
長良	3,400	33.0	(三) 砲高角(四) 機銃(二)	八	同	一〇	佐世保
五十鈴	同	同	同	同	同	一〇	浦
名取	同	同	同	同	同	一〇	三 菱 長崎
由良	同	同	同	同	同	一〇	佐世保
鬼怒	同	同	同	同	同	一〇	川
阿武隈	同	同	同	同	同	一〇	浦
那珂	同	同	同	同	同	一〇	三 菱 長崎
河内	同	同	同	同	同	一〇	川
神通	同	同	同	同	同	一〇	佐世保
夕張	3,100	同	同	同	同	一〇	佐世保
●航空母艦							
鳳翔	9,500	33.0	(三) 砲高角(四) 機銃(二)	同	大正	二	淺野
加賀	6,100	33.0	(三) 砲高角(四) 機銃(二)	同	昭和	三	橫須賀
赤城	同	同	同	同	同	三	吳
龍驤	7,600	33.0	(三) 砲高角(四) 機銃(二)	同	進水	六	橫須賀
●潜水母艦							
韓崎	1,000	23.6	(一) 砲高角(一)	一	大正	三	英國水社
駒橋	1,100	23.9	(一) 砲高角(一)	一	同	三	佐世保
迅鯨	8,500	26.0	(四) 機銃(二)	一	同	三	三 菱 長崎
長鯨	同	同	同	一	同	三	同
●敷設艦							
常磐	9,800	22.5	(二) 機銃(二)	一	明治	三	英ア社

勝利	2,000	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	大正	六	吳
白鷹	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	昭和	四	石川島
八重山	1,200	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	七	吳
八雲	1,200	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	七	吳
淺間	9,800	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	明治	三	英ア社
八雲	9,800	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	獨
吾妻	9,800	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	佛
出雲	9,800	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	英
磐城	9,800	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	伊
春日	7,700	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	伊
日進	7,700	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	伊
對馬	3,300	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	吳
●砲台							
淀宅	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	明治	四	川
安宅	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	大正	二	橫
宇治	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	明治	五	吳
隅田	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	英
伏見	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	英
鳥羽	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	英
嵯峨	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	英
勢多	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	英
堅田	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	英
比良	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	英
保津	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	英
熱海	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	英
二見	1,500	23.0	(一) 砲高角(二) 機銃(一)	一	同	三	英

●一等驅逐艦

排水量	速力	備砲	發射管	竣工年	製造所
浦風 九七〇	二六・〇	三(一)三(二)四(三)	四	大正四	英ヤ社
磯風 一、三三〇	二五・〇	三(一)三(二)三(三)	六	大正四	吳
天津風 同	同	同	四	大正四	三菱長崎
時津風 同	同	同	六	大正四	吳
江風 一、三〇〇	二五・〇	三(一)三(二)三(三)	六	大正四	須賀
谷風 同	同	同	八	大正四	舞鶴
峰風 一、三〇〇	二五・〇	三(一)三(二)三(三)	九	大正四	同
澤風、沖風、島風、灘風、矢風、羽風、汐風、秋風、夕風、太刀風、帆風、野風、波風、沼風の十四隻	同	同	同	大正九	同
より大正十一年	同	同	同	大正九	同
神風 一、四〇〇	二五・〇	同	同	大正九	三菱長崎
朝風、春風、松風、旗風、追風、疾風、朝風、夕風の八隻	同	同	同	大正九	神風
と同級、竣工大正十二年より大正十四年	同	同	同	大正十四	同
陸月 一、四〇〇	二五・〇	同	同	大正十四	佐世保
如月、彌生、卯月、早月、水無月、文月、長月、菊月、三日月、望月、夕月の十一隻	同	同	同	大正十四	同
陸月、同級、竣工大正十四年より昭和二年	同	同	同	昭和二	同
吹雪 一、八〇〇	二五・〇	三(一)三(二)三(三)	九	昭和二	舞鶴
白雪、初雪、深雪、叢雲、東雲、薄雲、白雲、磯波、浦波、綾波、敷波、朝霧、夕霧、天霧、狹霧、曙、潮の十八隻	同	同	同	昭和二	吹雪
吹雪、同級、竣工昭和三年より同六年	同	同	同	昭和六	同
竣工昭和三年より同六年	同	同	同	昭和六	同

櫻、檜、柳の三隻は桃と同級、竣工大正六年

桑、檜、樺、榎、楡、栗、梨、竹、柿、梅、菊、葵、萩、薄、藤、葛、葦、菱、蓮、菖、蓮、薔の二十二隻は桑と同級、竣工大正九年より同十二年

若竹 六〇〇 同 同 二川 崎

吳竹、早苗、早蕨、朝顔、夕顔、芙蓉、刈萱の七隻、若竹と同級、竣工大正十一年より同十三年

●一等潜水艦

排水量	全長	幅	發射管	竣工年	製造所
伊號第一	一、九三〇	九米三	六	大正二	川崎
伊號第二	同	同	同	大正二	同
伊號第三	同	同	同	大正二	同
伊號第四	同	同	同	大正二	同
伊號第五	同	同	同	大正二	同
伊號第二一	一、二五〇	八米二〇	四	昭和二	川崎
伊號第二二	同	同	同	昭和二	同
伊號第二三	同	同	同	昭和二	同
伊號第二四	同	同	同	昭和二	同
伊號第二五	同	同	同	昭和二	同
伊號第二六	同	同	同	昭和二	同
伊號第二七	同	同	同	昭和二	同
伊號第二八	同	同	同	昭和二	同
伊號第二九	同	同	同	昭和二	同
伊號第三〇	同	同	同	昭和二	同
伊號第三一	同	同	同	昭和二	同
伊號第三二	同	同	同	昭和二	同
伊號第三三	同	同	同	昭和二	同
伊號第三四	同	同	同	昭和二	同
伊號第三五	同	同	同	昭和二	同
伊號第三六	同	同	同	昭和二	同

●二等潜水艦

排水量	全長	幅	發射管	竣工年	製造所
伊號第五七	同	同	同	同	同
伊號第五八	同	同	同	同	同
伊號第五九	同	同	同	同	同
伊號第六〇	同	同	同	同	同
伊號第六一	同	同	同	同	同
伊號第六二	同	同	同	同	同
伊號第六三	同	同	同	同	同
伊號第六四	同	同	同	同	同
伊號第六五	同	同	同	同	同
伊號第六六	同	同	同	同	同
伊號第六七	同	同	同	同	同

第六七は昭和六年進水、A號建造中

●二等驅逐艦

排水量	全長	幅	發射管	竣工年	製造所
伊號第五七	同	同	同	同	同
伊號第五八	同	同	同	同	同
伊號第五九	同	同	同	同	同
伊號第六〇	同	同	同	同	同
伊號第六一	同	同	同	同	同
伊號第六二	同	同	同	同	同
伊號第六三	同	同	同	同	同
伊號第六四	同	同	同	同	同
伊號第六五	同	同	同	同	同
伊號第六六	同	同	同	同	同
伊號第六七	同	同	同	同	同

●特務艦

排水量	速力	艦種と備砲	竣工年	製造所
朝日 〇三、二四一	一八・〇	練習	明治三	英國社
敷島 〇二、九六六	一八・六〇	同	三	英國社
富津 〇九、八九〇	一八・三五	同	三	英國社
大津 〇一七、三三〇	二〇・〇〇	標的	三	吳
大和 一、四七六	二四・〇〇	運送(一)(二)	三	小野
大州 二、一七〇	一〇・〇〇	同	一	獨逸
青島 二、一七〇	一〇・〇〇	同	一	獨逸
劍崎 一、九七〇	九・〇〇	同	三	獨逸

●帝國艦艇隻數屯數表 (昭和七年)

艦種	隻數	噸數
一等驅逐艦	四六	三九、四〇〇
二等驅逐艦	二二	一〇八、四〇〇
一等巡洋艦	一九	九〇、三五五
二等巡洋艦	四	六、二七〇
航空母艦	四	二、一〇五
潛水母艦	四	一、〇一五
海防艦	八	六、三三〇
計	一〇七	一、二一、六〇〇

陸軍大演習

明治	場所	参加師團
三年	宇都宮地方	近衛、第一、二
三年	大阪地方	第三、四、九、一〇
三年	仙臺地方	第三、八、
三年	熊本地方	第六、二、
三年	姫路地方	第五、一〇、一、
四年	結城地方	近衛、第一、三、一五
四年	奈良附近	第四、九、一〇、一六
四年	宇都宮附近	第三、七、八、一三、一四
四年	岡山附近	第五、一〇、一、
四年	久留米附近	第六、二、一八
大正元年	川越附近	近衛、第一、三、一四
二年	名古屋地方	第三、九、一五、一六
三年	大阪地方	第四、一〇、一、一七
四年	弘前地方	第二、七、八、
五年	福岡地方	第五、六、一、一八
六年	彦根附近	第三、四、九、一六
七年	關東平地	近衛、第一、二、八、一三、
七年	栃木附近	二、四、一五、
八年	播磨地方	第四、一〇、一、一七
九年	中津地方	第六、二、一八
一〇年	武相平野	近衛、第一、三、一三、一四

昭和三	西部諸地方	加越地方	仙臺地方	佐賀平地	中京地方	盛岡地方	水戸附近	岡山附近	熊本附近	大阪地方
二年	第三、二	第九、三、一六	第三、七、八	第六、二、三	第一、三、四	第三、八、	近衛、第一、一四	第五、一〇	第六、二、	第三、四、五、一六

大將	中將	少將	大佐	中佐	少佐	大尉	中尉	少尉	海軍特務少尉
同相當官	同相當官	同相當官	同相當官	同相當官	同相當官	同相當官	同相當官	同相當官	同相當官
二等	二等	二等	二等	二等	二等	二等	二等	二等	二等

陸軍の常備兵力
 わが陸軍の常備兵力は大正十一年および十四年の軍備整理によつて將校、准士官以下十九萬八千八百名となつたが、現時十七ヶ師團と臺灣軍および關東軍あり兵種に類別すれば左の通りで總兵力約二十三萬である。

兵種	聯隊數	中隊數
步兵	七十聯隊と六ヶ大隊	七〇
騎兵	二十五聯隊	七五
野砲兵	十五聯隊	七五
山砲兵	四聯隊一大隊	七〇
野戰重砲兵	一聯隊	三〇
重砲兵	八聯隊	二四〇
工兵	三聯隊	九〇
鐵道兵	獨立八大隊	一六〇
電信兵	十七大隊	一七〇
航空兵	二聯隊	六〇
氣球兵	一聯隊	三〇
輜重兵	十五大隊	一五〇
戰車兵	一聯隊	三〇
高射砲隊	一聯隊	三〇

運動競技

第十回オリムピック大會

第十回オリムピック大會は昭和七年(一九三二年)七月三十日から八月十四日まで二週間、米國カリフォルニア州ロサンゼルスに開かれた。参加國三十九、選手總數二千餘。水陸兩競技は大部分、新記録が出て、大成功を収めた。

日本代表役員

オリムピック委員 嘉納治五郎、岸清一
 日本派遣選手團長 平沼亮三
 陸上競技總監督 山本忠興 馬術總監督 大島又彦
 水上競技總監督 田畑政治 體操總監督 大谷武一
 レスリング總監督 今村次吉 拳闘監督 宮澤孝
 ホツケーコーチ 廣瀬藤四郎 短艇役員 椋原政治

日本代表選手 (百三十一名)

陸上競技(三十五名) 主將 織田 幹雄
 △男子(二十六名) 主將 織田 幹雄
 トラツク 吉岡隆徳、南部忠平、阿武巖夫、大木正幹、佐々木吉藏、増田磯、西貞一、中島夏太郎、北本正路、竹中正一郎、張星賢、權泰夏、津田晴一郎、金恩培、藤田辰三(十五名)
 フィールド 大島鎌吉、田島直人、小野操、木村一夫、

西田修平、望月倭夫、住吉耕作、長尾三郎、落合正義、長尾雄治(十名)
 △女子(九名) 主將 眞保 正子
 トラツク 渡邊すみ子、土倉麻、柴田たか、村岡美枝、中西みち(五名)
 フィールド 相良八重、廣橋百合子、石津光惠(三名)

水上競技(四十一名)

△男子(三十四名) 主將 高石 勝男
 競泳 高橋成夫、豊田久吉、北村久壽雄、河津憲太郎、河石達吾、片山兼吉、宮崎康二、遊佐正憲、横山隆志、武村清、大横田勉、牧野正藏、武村寅雄、石原田惠、杉本盛、清川正二、鈴木政雄、入江稔夫、小池禮三、鶴田義行、中川重雄(二十一名)
 飛込 小林一男、生江哲太郎、石田英勝(三名)
 水球 藤田明、時任巖、土井修爾、澤海東助、村井清、阪上安太郎、木村清兵衛、松本隆重、竹林隆二(九名)
 △女子(七名) 主將 松澤 初穂
 競泳 横田操、小島一枝、荒田雪枝、守岡初子、前畑秀子(五名)
 飛込 鎌倉悦子(一名)
 馬術(六名) 主將 城戸俊三
 今村安、吉田重友、奈良太郎、西竹一、山本盛重、關(五名) 村上晴信、中尾明、龜岡勝雄、黄乙秀、平林愛國
 ホツケー(十三名) 體操(六名) レスリング(七名)
 漕艇(十八名) エイト(十一名) フォア(七名)

男子陸上競技成績表

(オ新はオリムピック新記録、世新は世界新記録、オタ、世タはタイ記録)

百	米	一〇秒三(オ新世タ)	メトカーフ(米)	ヨナート(獨)	シムブソン(米)	ジュバート(南阿)	一〇秒六吉岡隆徳(南阿)
二百	米	二一秒二(オ新)	シムブソン(米)	メトカーフ(米)	ヨナート(獨)	ルツテイ(亞)	ウォルター(南阿)
四百	米	四六秒二(オ世新)	イーストマン(米)	ウイルソン(加)	ウォルター(南阿)	ゴードン(米)	ゴールディング(獨)
八百	米	一分四九秒八(オ世新)	ウイルソン(加)	エドワーズ(加)	ゲナング(米)	ターナー(米)	ホーンポステル(米)
千五百	米	三分五一秒二(オ新)	ベツカリ(伊)	エドワーズ(加)	カンニンガム(米)	ニ(瑞)	ハロウエル(英)
五千	米	一四分三〇秒(オ新)	ヒ(米)	ヴィルターネン(芬)	サヴィダン(新)	リンドグレン(瑞)	シーリング(獨)
一萬	米	三分一〇秒四(オ新)	イソホ(芬)	ヴィルターネン(芬)	サヴィダン(新)	シーリング(獨)	リンドグレン(瑞)
マラソン		二時間三一分三六秒(オ新)	フェリス(英)	トイヴォネン(芬)	ライト(英)	津田晴一郎(日)	二時間三七分三六秒(英)
四百繼走		四分〇秒(オ世新)	獨國チム	伊國チム	カナダチム	日本チム	英國チム
千六百繼走		三分八秒二(オ世新)	英國チム	カナダチム	獨國チム	日本チム	伊國チム
高障		一四秒六(オタ)	ベアード(米)	フィンレー(英)	ケラー(米)	バーレー(英)	アレスクイグ(瑞)
四百障		五一秒八(オ新)	ハイドイン(米)	テラー(米)	バーレー(英)	フアツセリ(伊)	七六五八點〇九(芬)
十種競		八分四二點二三(オ世新)	ヤルグイネン(芬)	エドルレ(獨)	チャールス(米)	ジューベルト(獨)	七六五八點〇九(芬)
五萬米競		四時間五〇分一〇秒(オ新)	ダリンシュ(英)	フリゲリオ(伊)	ハクネル(獨)	リヴォルタ(伊)	ジーグエルト(獨)

男子水上競技成績表

走高	跳	一〇秒九七	走幅	跳	七米六四	三段	跳	一五米七二(オ世新)	棒高	跳	四米三二(オ世新)	圓盤	投	四九米四九(オ新)	鐵	投	五三米九二七	砲	投	一六米〇一(オ新)	砲	投	七二米七一(オ新)	槍	投	一〇分三三秒	三千障	碍	イソホ(芬)
走高	跳	一〇秒九七	走幅	跳	七米六三	三段	跳	一五米三二	棒高	跳	四米二八(オ新)	圓盤	投	四八米四七(オ新)	鐵	投	五二米二七	砲	投	ロザ(米)	砲	投	六九米八〇(オ新)	槍	投	イグンソン(英)	三千障	碍	イグンソン(英)
走高	跳	一〇秒九七	走幅	跳	七米六三	三段	跳	一五米三二	棒高	跳	四米二八(オ新)	圓盤	投	四八米四七(オ新)	鐵	投	五二米二七	砲	投	ロザ(米)	砲	投	六九米八〇(オ新)	槍	投	イグンソン(英)	三千障	碍	イグンソン(英)
走高	跳	一〇秒九七	走幅	跳	七米六三	三段	跳	一五米三二	棒高	跳	四米二八(オ新)	圓盤	投	四八米四七(オ新)	鐵	投	五二米二七	砲	投	ロザ(米)	砲	投	六九米八〇(オ新)	槍	投	イグンソン(英)	三千障	碍	イグンソン(英)

飛板飛込	一六〇點三八	スミス	ス(米)	デクナ	1(米)	ファイリッ	4(加)	エザール	5(獨)	一三三點七六	
高飛込	一二四點八〇	ガリツ	エ(米)	カ	1(米)	スタウ	4(獨)	クリエル	5(獨)	アルボ	6(獨)
水球	八點	ハンガリー	ド	イ	1(米)	ディンガー	1(獨)				

女子陸上競技成績表

百	一〇秒九(オ世新)	ワ	ル	一	秒七(オ世新)	デ	イ	ト	リ	ク	ソ	ン	(米)
八十	一〇秒七(オ世新)	デ	イ	ト	リ	ク	ソ	ン	(米)				
四百	一七秒(オ世新)	デ	イ	ト	リ	ク	ソ	ン	(米)				
走高	一六五(オ世)	ム											
槍投	四三米六八(世新)	1(米)											
圓盤投	四〇米五八(オ世新)	1(米)											
百	一分〇七秒八(オ世新)	マ	チ	ソ	ン	(米)							
四百	一分二八秒五(オ世新)	マ	チ	ソ	ン	(米)							
形	一分二八秒五(オ世新)	マ	チ	ソ	ン	(米)							
百	一分二八秒五(オ世新)	マ	チ	ソ	ン	(米)							
二百	一分二八秒五(オ世新)	マ	チ	ソ	ン	(米)							
四百	一分二八秒五(オ世新)	マ	チ	ソ	ン	(米)							
飛板	八七秒(オ世新)	ム											
高	四〇點二六	ボ	イ	ン	ト	ン	(米)						

女子水上競技成績表

百	一分〇七秒八(オ世新)	マ	チ	ソ	ン	(米)							
四百	一分二八秒五(オ世新)	マ	チ	ソ	ン	(米)							
形	一分二八秒五(オ世新)	マ	チ	ソ	ン	(米)							
百	一分二八秒五(オ世新)	マ	チ	ソ	ン	(米)							
二百	一分二八秒五(オ世新)	マ	チ	ソ	ン	(米)							
四百	一分二八秒五(オ世新)	マ	チ	ソ	ン	(米)							
飛板	八七秒(オ世新)	ム											
高	四〇點二六	ボ	イ	ン	ト	ン	(米)						

その他の競技

馬術に於ては、西中尉が減點八點で、大障飛越競技に優勝し、我が馬術界の爲めに萬丈の氣を吐いた。體操に於て五等、ホツケーに於て二等となつた外、水球(ウオ1ター・ポロ)、拳闘、レスリング(西洋相撲)、ボート等何れも振はず、等外に落ちた。

男子陸上競技得點表

11	佛	10	亞	9	愛	8	瑞	7	伊	6	加	5	日	4	獨	3	英	2	芬	1	米	
〇	一	二	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	六	六	九	七	五	七	九	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

男子水上競技得點表

5	獨	4	佛	3	比	2	米	1	日
〇	〇	〇	一	五	得	點			
五	六	六	九	七	五	七	九	〇	一

女子陸上競技得點表

4	波	3	加	2	獨	1	米
一	〇	〇	五	得	點		
一	一	一	一	一	一	一	一

女子水上競技得點表

5	加	4	英	3	芬	2	米	1	日
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

各國順位

3	佛	2	伊	1	米
一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一

公式成績はあらゆる競技を通じて、獲得した選手權の數によつて決めるのである。

ベーターセン(瑞) 七・二五
ハッパード(米) 七・四四
ゴードン(米) 七・七三
三段跳 七・六四

一 三・七一
二 四・〇三
三 四・三三
四 四・七三
五 四・九二
六 四・九六
七 四・五〇
八 四・五三
九 一・五二
十 一・五二
十一 一・五二
十二 一・五二
十三 一・五二
十四 一・五二
十五 一・五二
十六 一・五二
十七 一・五二
十八 一・五二
十九 一・五二
二十 一・五二

砲丸投 二・〇三
シエルダ(米) 四・〇〇
シエルダ(米) 四・一〇
ロドリゲス(米) 四・二二
マクドナルド(米) 四・三二
ポルボラ(芬) 四・八二
ハウザ(米) 四・九二
セック(米) 一・六〇
一・六二
一・六四
一・六六
一・六八
一・七〇
一・七二
一・七四
一・七六
一・七八
一・八〇
一・八二
一・八四
一・八六
一・八八
一・九〇
一・九二
一・九四
一・九六
一・九八
二・〇〇

一 三・七一
二 四・〇三
三 四・三三
四 四・七三
五 四・九二
六 四・九六
七 四・五〇
八 四・五三
九 一・五二
十 一・五二
十一 一・五二
十二 一・五二
十三 一・五二
十四 一・五二
十五 一・五二
十六 一・五二
十七 一・五二
十八 一・五二
十九 一・五二
二十 一・五二

シエルダ(米) 二・〇三
シエルダ(米) 四・〇〇
シエルダ(米) 四・一〇
ロドリゲス(米) 四・二二
マクドナルド(米) 四・三二
ポルボラ(芬) 四・八二
ハウザ(米) 四・九二
セック(米) 一・六〇
一・六二
一・六四
一・六六
一・六八
一・七〇
一・七二
一・七四
一・七六
一・七八
一・八〇
一・八二
一・八四
一・八六
一・八八
一・九〇
一・九二
一・九四
一・九六
一・九八
二・〇〇

一 三・七一
二 四・〇三
三 四・三三
四 四・七三
五 四・九二
六 四・九六
七 四・五〇
八 四・五三
九 一・五二
十 一・五二
十一 一・五二
十二 一・五二
十三 一・五二
十四 一・五二
十五 一・五二
十六 一・五二
十七 一・五二
十八 一・五二
十九 一・五二
二十 一・五二

シエルダ(米) 三・二八
シエルダ(米) 四・〇六
シエルダ(米) 四・一八
シエルダ(米) 四・二八
シエルダ(米) 四・四一
シエルダ(米) 四・五二
シエルダ(米) 四・六三
シエルダ(米) 四・七四
シエルダ(米) 四・八五
シエルダ(米) 四・九六
シエルダ(米) 五・〇七
シエルダ(米) 五・一八
シエルダ(米) 五・二九
シエルダ(米) 五・四〇
シエルダ(米) 五・五一
シエルダ(米) 五・六二
シエルダ(米) 五・七三
シエルダ(米) 五・八四
シエルダ(米) 五・九五
シエルダ(米) 六・〇六
シエルダ(米) 六・一七
シエルダ(米) 六・二八
シエルダ(米) 六・三九
シエルダ(米) 六・五〇
シエルダ(米) 六・六一
シエルダ(米) 六・七二
シエルダ(米) 六・八三
シエルダ(米) 六・九四
シエルダ(米) 七・〇五
シエルダ(米) 七・一六
シエルダ(米) 七・二七
シエルダ(米) 七・三八
シエルダ(米) 七・四九
シエルダ(米) 七・六〇
シエルダ(米) 七・七一
シエルダ(米) 七・八二
シエルダ(米) 七・九三
シエルダ(米) 八・〇四
シエルダ(米) 八・一五
シエルダ(米) 八・二六
シエルダ(米) 八・三七
シエルダ(米) 八・四八
シエルダ(米) 八・五九
シエルダ(米) 八・七〇
シエルダ(米) 八・八一
シエルダ(米) 八・九二
シエルダ(米) 九・〇三
シエルダ(米) 九・一四
シエルダ(米) 九・二五
シエルダ(米) 九・三六
シエルダ(米) 九・四七
シエルダ(米) 九・五八
シエルダ(米) 九・六九
シエルダ(米) 九・八〇
シエルダ(米) 九・九一
シエルダ(米) 一〇・〇二
シエルダ(米) 一〇・一三
シエルダ(米) 一〇・二四
シエルダ(米) 一〇・三五
シエルダ(米) 一〇・四六
シエルダ(米) 一〇・五七
シエルダ(米) 一〇・六八
シエルダ(米) 一〇・七九
シエルダ(米) 一〇・九〇
シエルダ(米) 一〇・〇一
シエルダ(米) 一〇・一二
シエルダ(米) 一〇・二三
シエルダ(米) 一〇・三四
シエルダ(米) 一〇・四五
シエルダ(米) 一〇・五六
シエルダ(米) 一〇・六七
シエルダ(米) 一〇・七八
シエルダ(米) 一〇・八九
シエルダ(米) 一〇・〇〇

一 三・七一
二 四・〇三
三 四・三三
四 四・七三
五 四・九二
六 四・九六
七 四・五〇
八 四・五三
九 一・五二
十 一・五二
十一 一・五二
十二 一・五二
十三 一・五二
十四 一・五二
十五 一・五二
十六 一・五二
十七 一・五二
十八 一・五二
十九 一・五二
二十 一・五二

オリンピック大会 水上競技回次記録

回数	氏名	国籍	記録分秒
一	ハルツ	洪(洪)	一・三三
二	ハルツ	洪(洪)	一・三三
三	ハルツ	洪(洪)	一・三三
四	ハルツ	洪(洪)	一・三三
五	ハルツ	洪(洪)	一・三三
六	ハルツ	洪(洪)	一・三三
七	ハルツ	洪(洪)	一・三三
八	ハルツ	洪(洪)	一・三三
九	ハルツ	洪(洪)	一・三三
十	ハルツ	洪(洪)	一・三三
十一	ハルツ	洪(洪)	一・三三
十二	ハルツ	洪(洪)	一・三三
十三	ハルツ	洪(洪)	一・三三
十四	ハルツ	洪(洪)	一・三三
十五	ハルツ	洪(洪)	一・三三
十六	ハルツ	洪(洪)	一・三三
十七	ハルツ	洪(洪)	一・三三
十八	ハルツ	洪(洪)	一・三三
十九	ハルツ	洪(洪)	一・三三
二十	ハルツ	洪(洪)	一・三三

回数	氏名	国籍	記録分秒
一	アルネボルグ	瑞	一・五二・八
二	北村久壽雄	日	一・九二・四
三	ビベロスタイン	獨	一・二六・八
四	ヘブナ	米	一・三三・二
五	ケアラ	米	一・五二・二
六	ケアラ	米	一・五二・二
七	ケアラ	米	一・五二・二
八	ケアラ	米	一・五二・二
九	ケアラ	米	一・五二・二
十	ケアラ	米	一・五二・二
十一	ケアラ	米	一・五二・二
十二	ケアラ	米	一・五二・二
十三	ケアラ	米	一・五二・二
十四	ケアラ	米	一・五二・二
十五	ケアラ	米	一・五二・二
十六	ケアラ	米	一・五二・二
十七	ケアラ	米	一・五二・二
十八	ケアラ	米	一・五二・二
十九	ケアラ	米	一・五二・二
二十	ケアラ	米	一・五二・二

オリンピック大会開催地

回数	開催地	年
第一回	アテネ	一八九六年
第二回	パリ	一九〇〇年
第三回	セントルイス	一九〇四年
第四回	ロンドン	一九〇八年
第五回	ストックホルム	一九一二年
第六回	アントワープ	一九二〇年
第七回	パリ	一九二四年
第八回	アマステルダム	一九二八年
第九回	ベルリン	一九三六年
第十回	ロサンゼルス	一九四〇年
第十一回	東京	一九六四年
第十二回	東京	一九六八年

早慶戦復活後の順位

回数	優勝	準優勝
第一回	早稲田	慶応
第二回	早稲田	慶応
第三回	早稲田	慶応
第四回	早稲田	慶応
第五回	早稲田	慶応
第六回	早稲田	慶応
第七回	早稲田	慶応
第八回	早稲田	慶応
第九回	早稲田	慶応
第十回	早稲田	慶応
第十一回	早稲田	慶応
第十二回	早稲田	慶応

主要官廳其他職員

昭和七年十一月現在
 (海軍の一部は十月
 二月異動十一月
 の内命に依る)

内閣

内閣總理大臣 齋藤 實
 外務大臣 內田 康哉
 內務大臣 山本 達雄
 大藏大臣 高橋 是清
 陸軍大臣 荒木 貞夫
 海軍大臣 岡田 啓介
 司法大臣 小山 松吉
 農林大臣 鳩山 一郎
 文部大臣 後藤 文夫
 工商大臣 中島久萬吉
 逓信大臣 南 弘
 鐵道大臣 三土 忠造
 拓務大臣 永井柳太郎
 内閣書記官長 柴田善三郎
 内閣恩給局長 樋貝 詮三
 内閣統計局長 長谷川 越夫
 内閣印刷局長 杉 精三

樞密院

賞勳局總裁 下條 康賢
 資源局長官 宇佐美勝夫
 經濟博 倉富勇三郎
 議長 法博男 平沼騏一郎
 副議長 法博男 雍仁親王
 親王 陸軍歩兵大尉 宣仁親王
 親王 海軍大尉 載仁親王
 親王 元帥陸軍大將 伊東巳代治
 顧問官 金子堅太郎
 顧問官 久保田 讓
 顧問官 富井 政章
 顧問官 石黑 忠憲
 顧問官 黒田 長成
 顧問官 古市 公威
 顧問官 櫻井 錠二
 顧問官 荒井賢太郎
 顧問官 河合 操

内大臣府

内大臣 伯内大臣 牧野 伸顯
 秘書官長 木戸 幸一
 宮内省 法博 一木喜徳郎

次官

皇宮警察部長 關屋貞三郎
 侍從長 白井 演
 侍從次長(兼) 鈴木貫太郎
 式部長官 廣幡 忠隆
 式部次長 林 權助
 掌典長 松平 慶民
 掌典次長 九條 道實
 樂部長(兼) 三條 公輝
 宗秩寮總裁 相馬 孟胤
 諸寮頭(兼) 仙石 政敬
 圖書頭 渡部 信
 侍醫頭 渡部 信
 內藏頭 佐藤 恒丸
 內匠頭 大谷 正男
 主馬頭 白根 松介
 皇后宮大夫 西園寺八郎
 女官長 廣幡 忠隆
 皇太后宮大夫 竹屋志計子
 女官長 入江 爲守
 澄宮御用育係長 竹屋津根子
 皇子御養育掛長 田内 三吉
 秩父宮別當 藤井種太郎
 高松宮別當 犬塚 太郎
 閑院宮別當 石川 岩吉
 陸中將 稻垣 三郎

東伏見宮別當 宮中顧問官 川島令次郎
 伏見宮別當 宮中顧問官 本多 正復
 山階宮別當 海少將 大石 正吉
 賀陽宮別當 陸中將 山田良之助
 久邇宮別當 宮中顧問官 高橋 其三
 梨本宮別當 三雲敬一郎
 朝香宮別當 陸中將 東 乙彦
 東久邇宮別當 陸中將 松本幹之助
 北白川宮別當 陸中將 石川 謙平
 竹田宮別當 樞密顧問官 石原 健三
 帝室會計審査局長官 河井 彌八
 帝室林野局長官 三矢 宮松
 林業試驗場長 中村賢一郎
 御歌所長(兼) 醫博 入江 爲守
 學習院長 荒木寅三郎
 女子學習院長 長屋 順耳
 東京帝室博物館總長 杉 榮三郎
 奈良帝室博物館長心得 和田 軍一
 臨時帝室編修局總裁 金子堅太郎
 李王職長官 篠田 治策

外務省

大臣 內田 康哉
 政務次官 瀧 正雄
 次官 有田 八郎
 參事官 澤本 與一

内務省

亞細亞局長 谷 正之
 歐米局長事務取扱 有田 八郎
 通商局長(兼) 來栖 三郎
 條約局長(兼) 法博 松田 道一
 情報部長 白鳥 敏夫
 文化事業部長 坪上 貞二
 大臣 山本 達雄
 政務次官 齋藤 隆夫
 次官 潮 惠之助
 參事官 勝田 永吉
 神社局長 石田 馨
 地方局長 安井 英二
 警保局長 松本 學
 土木局長 唐澤 俊樹
 衛生局長 大島辰次郎
 社會局長官 丹羽 七郎
 專賣局長官 佐々木謙一郎
 造神宮使 多 嘉王
 警察講習所長兼 松本 學
 東京衛生試驗所長 衣笠 豐
 大阪衛生試驗所長 町口 英三
 榮養研究所長 佐伯 矩
 神宮司廳祭主 多 嘉王
 神宮皇學館長 平田 賢一

大藏省

大臣 高橋 是清
政務次官 堀切善兵衛
次官 黑田 英雄
參與官 上塚 司
海外駐割財務官 津島 壽一
主計局長 藤井 眞信
生稅局長 中嶋 鐵平
理財局長 富田勇太郎
銀行局長 大久保偵次
預金部長 川越 武雄
營繕管財局長官 黑田 英雄
造幣局長 保倉熊三郎

陸軍省

軍醫總監 合田 平
法務總監 鈴木直太郎
法務局長(兼) 步大佐 中井良太郎
恤兵監(兼) 步大佐 本間 雅晴
新聞班長 少將 岸本 俊夫
陸軍造兵廠長官 中將 三木善太郎
陸軍兵器本廠長 少將 渡邊錠太郎
陸軍航空本部長 大將 林 業
所澤陸軍飛行學校長 少將 淺田 禮三
下志津陸軍飛行學校長 少將 男德川 好敏
明野陸軍飛行學校長 少將 緒方 勝一
陸軍技術本部長 大將 久村 種樹
陸軍科學研究所長 少將 林 業
陸軍工科學校長 少將 秦 眞次
憲兵司令官 中將 岩佐 祿郎
朝鮮憲兵隊司令官 少將 武藤 一彦
軍馬補充部本部長 少將 高橋 眞八
築城本部長 中將 三宅 光治
陸軍運輸部長 主計監 橫田 章
陸軍經理學校長 主計監 小山 憲佐
陸軍軍醫學校長 軍醫總監 渡邊滿太郎
陸軍獸醫學校長 獸醫總監 松野 一義
千住製絨所長 主計監 奧田德三郎
陸軍糧秣本廠長 主計監 白井八百藏
陸軍被服本廠長 主計監 白井八百藏

海軍省

大臣 岡田 啓介
政務次官 堀田 正恒
次官 藤田 尚德
參與官 川島正次郎
軍務局長 中將 寺島 健
人事局長 少將 阿武 津
教育局長 少將 後藤 章
軍需局長 中將 牛丸 福作
醫務局長 中將 國府田 中
經理局長 主計中將 加藤 亮一
建築局長 技師 前田 與市
法務局長(兼) 法務官 山田 三郎
軍事普及部委員長 少將 日比野正治
海軍艦政本部長 中將 杉 政人
海軍航空本部長 中將 松山 茂
海軍大學校長 中將 小野 彌一
海軍機關學校長 中將 加藤 隆義
海軍軍醫學校長 中將 小野寺 恕
海軍經理學校長 主計少將 高杉新一郎
海軍技術研究所長 主計少將 村上 春一
海軍火藥廠長 造兵少將 伊藤 孝次
海軍航空廠長 中將 岸本 肇
海軍航空廠長 中將 枝原百合一

司法部

大臣 小山 松吉
政務次官 八並 武治
次官 皆川 治廣
參與官 岩本 武助
長事局長 長島 鈔
刑事局長 木村 尙達
行刑局長 堀野 季彦
大審院長 和仁 貞吉
檢事總長 林 頼三郎
東京控訴院長 小原 直
大阪控訴院長 三木猪太郎
名古屋控訴院長 谷田 三郎
廣島控訴院長 立石 謙輔
長崎控訴院長 光行 次郎
宮城控訴院長 吉益 俊次
檢事長 田中 有橘
石井豐七郎 南谷 知悌
長崎控訴院長 石井豐七郎
宮城控訴院長 金山 季逸
檢事長 清水壯左久
札幌控訴院長 古賀 行倫
檢事長 清水 孝藏
檢事長 豐田多三郎

文部省

東京少年審判所長 鈴木賀一郎
大阪少年審判所長 古谷新太郎
大臣 鳩山 一郎
政務次官 東郷 實
次官 栗屋 謙
參與官 石坂 豐一
赤間 信義
專門學務局長 武部 欽一
普通學務局長 關屋 龍吉
社會教育局長 芝田 徹心
圖書局長 下村 壽一
宗教局長 伊東 延吉
學生部長 松本 喜一
帝國圖書館長 岡田 武松
中央氣象台長 岡田 武松
海洋氣象台長(兼) 岡田 武松
高層氣象台長 大石和三郎
緯度觀測所長 理博 木村 榮
東京科學博物館長(兼) 理博 秋保 安治
體育研究所長事務取扱 男 山川 健
航海練習所長 菊池豐三郎
帝國學士院長 櫻井 錠二
維新史料編纂會總裁 金子堅太郎

農林省

國寶保存會長 侯 細川 護立
帝國美術院長 正木 直彦
學術研究會長 櫻井 錠二
臨時國語調查會長 上田 萬年
臨時口マ字調查會長大臣 鳩山 一郎
大臣 後藤 文夫
政務次官 伯 有馬 頼寧
次官 石黑 忠篤
參與官 松村 謙三
臨時經濟更生部長 小原 權一
農務局長 長瀬 貞一
山林局長 木島 駒藏
水產局長 戶田 保忠
畜產局長 村上龍太郎
蠶絲局長 入江 魁
林業試驗場長(兼) 林博 藤岡 光長
水產講習所長 農博 杉浦 安吉
農事試驗場長 農博 安藤廣太郎
茶業試驗場長(兼) 農博 安藤廣太郎
園藝試驗場長(兼) 農博 安藤廣太郎
獸疫調查所長 技師 山脇 圭吉
橫濱生絲檢查所長 技師 芳賀權四郎

神戸生絲検査所長 肥後 俊彦
技師

商工省

大臣 中島久萬吉
政務次官 岩切 重雄
次官 吉野 信次
参與官 松村 光三
商務局長 川久保修吉
工務局長 竹内 可吉
鑛山局長 福田 庸雄
貿易局長 寺尾 進
保險事務官 大塚 健治
製鐵所長官 中井 勲作
特許局長官 中松 眞郷
東京工業試験所長 工博 小寺房治郎
大阪工業試験所長 工博 莊司市太郎
精業試験所長 大山 精一郎
陶磁器試験所長 平野 耕輔
工藝指導所長 國井喜太郎
燃料研究所長心得 伴 義定
花冠検査所長 峰谷徳三郎

次官 大橋 八郎
参與官 立花 種忠
郵務局長 久埜 茂
電務局長 山本直太郎
工務局長 米澤與三七
電氣局長 清水 順治
管船局長 淺野 平二
航空局長 片岡 直道
簡易保險局長 富安 謙次
貯金局長 猪熊 貞治
燈台局長 平井 宣英
電氣試験所長 長川 豊樹
高等海員審判所長 工博 高津 清
東京飛行場長 淺野 平二
大阪飛行場長 石田 房雄
福岡飛行場長 佐々木利吉
京城飛行場長 武石 喜三
蔚山飛行場長 佐藤 求己
大連飛行場長 浜名 増雄
加藤 正美

参與官 板谷 賜助
監督局長 喜安健次郎
運輸局長 日淺 寛
建設局長 池田 嘉六
工務局長 黒河内四郎
工作局長 山下 興家
電氣局長 飯田精太郎
經理局長 工藤 義男
國際觀光局長 佐原 憲次
東京鐵道局長 新井 莞爾
名古屋鐵道局長 武居哲太郎
大阪鐵道局長 前田 穰
門司鐵道局長 大槻 信治
仙臺鐵道局長 木村 芳人
札幌鐵道局長 富永 福司
東京驛長 大角 誠

逓信省

大臣 南 弘
政務次官 牧野 良三
次官

鐵道省

大臣 三土 忠造
政務次官 名川 侃市
次官 久保田敬一

拓務省

大臣 永井柳太郎
政務次官 堤 康次郎
次官 河田 烈
参與官 木村小左衛門
朝鮮部長 河田 烈
管理局長 生駒 高常
殖産局長 北島謙次郎

元帥府

事務局長 郡山 智
海軍大將 東郷平八郎
陸軍大將 載仁 親王
陸軍大將 上原 勇作
海軍大將 博 恭 王
陸軍大將 守 正 王

侍從武官府

武官長 陸軍大將 奈良 武次
武官 海軍少將 出光萬兵衛
武官 陸軍少將 川岸文三郎

陸軍軍團隊

東京警備司令部(東京)
司令官 中將 木原 清
參謀長 少將 島 省三
近衛師團(東京)
師團長 中將 鎌田彌彦
參謀長 少將 周山滿藏
司令部附 少將 小野弘毅

軍事參議院

參議官 井上幾太郎
參議官 鈴木 孝雄
參議官 菱刈 隆
參議官 渡邊錠太郎
參議官 加藤 寛治
參議官 海軍大將 安保 清種
參議官 陸軍大將 金谷 範三
參議官 陸軍大將 南 次郎
參議官 陸軍大將 林 銑十郎
參議官 海軍大將 谷口 尚眞
參議官 海軍大將 大角 岑生
參議官 海軍大將 山本 英輔
參議官 海軍大將 山梨勝之進
參議官 海軍中將 本庄 繁
參議官 陸軍中將 眞崎甚三郎

教育總監部

總監 大將 林 銑十郎
陸軍砲工學校長 少將 岩越 恒一
陸軍歩兵學校長 中將 大谷 一男
陸軍騎兵學校長 少將 宇佐美與屋
陸軍野戰砲兵學校長 中將 入江仁六郎
陸軍重砲兵學校長 少將 井上 達三
陸軍工兵學校長 少將 上村 友兄
陸軍通信學校長 少將 山田 乙三
陸軍自動車學校長 少將 飯田恒次郎
陸軍戸山學校長 少將 澁谷伊之彦
陸軍士官學校長 少將 稻垣 孝照
東京陸軍幼年學校長 少佐 志岐 豊

野戰重砲兵第四旅團(東京) 少將 河村恭輔
近衛野砲兵聯隊(東京) 大佐 安達十六
野戰重砲兵第四聯隊(東京) 大佐 西高俊雄
野戰重砲兵第八聯隊(東京) 大佐 柴平四郎
近衛工兵大隊(東京) 大佐 神谷 勇
鐵道第一聯隊(千葉) 大佐 内田 莊

鐵道第二聯隊(習志野)工大佐 池田茂藏
電信第一聯隊(東京)工大佐 淺川一衛
飛行第五聯隊(立川)大佐 木下敏
氣球隊 航空中佐 相良千代松
近衛輜重兵大隊(東京)大佐 辛島 來

第一師團 (東京)

師團長 中將 林 仙之
參謀長 步大佐 荻洲立兵
司令部附 少將 鏡山 巖
東京海軍要塞司令官 中將 古川三郎
父島要塞司令官 砲大佐 藤崎芳一
步兵第一旅團(東京) 少將 鳩彦王
步兵第一聯隊(東京) 大佐 渡 久雄
步兵第四十九聯隊(甲府)大佐 小見山泰造
步兵第二旅團(東京) 少將 山崎定義
步兵第三聯隊(東京) 大佐 長屋尚作
步兵第五十七聯隊(千葉)大佐 今村 均
騎兵第二旅團(習志野)少將 原 常成
騎兵第一聯隊(東京)大佐 松室孝良
騎兵第十五聯隊(習志野)大佐 和田由恭
騎兵第十六聯隊(習志野)大佐 吉田 惠
野戰重砲兵第三旅團(國府台)少將 竹三
野砲兵第一聯隊(東京)大佐 橋本 群
騎砲兵大隊(國府台)中佐 須永俊作
對空重砲兵第一聯隊(國府台)大佐 伊藤義雄

野戰重砲兵第七聯隊(國府台)大佐 土橋一丈
橫須賀重砲兵聯隊(橫須賀)大佐 湯淺榮太郎
工兵第一大隊(東京)中佐 安達克己
輜重兵第一大隊(東京)大佐 辛島 來

第二師團 (仙臺)

師團長 中將 多門二郎
參謀長 步大佐 上野良丞
司令部附 少將 木村恒夫
留守司令官 中將 安田郷輔
步兵第三旅團(仙臺) 少將 長谷部照信
步兵第四聯隊(仙臺) 大佐 森尻伊祐
步兵第二十九聯隊(若松)大佐 河村 董
步兵第十五旅團(高田)少將 天野六郎
步兵第十六聯隊(新豐田)大佐 小泉恭次
步兵第三十聯隊(高田)大佐 關家 清
騎兵第二聯隊(仙臺) 大佐 小島吉藏
野砲兵第二聯隊(仙臺) 大佐 大谷清磨
獨立山砲兵第一聯隊(高田)大佐 坂西平八
工兵第二大隊(仙臺) 大佐 成澤 清
輜重兵第二大隊 中佐 吉原新吉

第三師團 (名古屋)

步兵第六聯隊(名古屋)大佐 河邊省三
步兵第六十八聯隊(岐阜)大佐 小出治雄
步兵第二十九旅團(靜岡)少將 高田友助
步兵第十八聯隊(豐橋)大佐 篠原三郎
步兵第三十四聯隊(靜岡)大佐 佐枝義重
騎兵第四旅團(豐橋) 少將 茂木謙助
騎兵第三聯隊(名古屋)大佐 濱田陽兒
騎兵第二十五聯隊(豐橋)大佐 山岡 潔
騎兵第二十六聯隊(豊橋)大佐 黒谷正忠
野戰重砲兵第一旅團(三島)少將 山田卯三
野砲兵第三聯隊(名古屋)大佐 八木録郎
野戰重砲兵第二聯隊(三島)大佐 藤江 惠輔
野戰重砲兵第三聯隊(三島)大佐 泉助太郎
高射砲第一聯隊(豊橋) 大佐 馬場保雄
工兵第三大隊 大佐 金子四郎
飛行第一聯隊(岐阜) 大佐 儀峨徹二
飛行第二聯隊(岐阜) 大佐 中島又三
飛行第七聯隊(濱松) 大佐 増野周藏
輜重兵第三大隊(名古屋)大佐 榎垣貞勝

第四師團 (大阪)

師團長 中將 寺内壽一
參謀長 砲大佐 井關隆昌
司令部附 少將 中村演作
西良要塞司令官 中將 小杉武司
步兵第七旅團(大阪) 少將 佐藤 直

步兵第八聯隊(大阪)大佐 松田四郎
步兵第七十聯隊(福山)大佐 上森猛省
步兵第三十二旅團(和歌山)少將 吉富庄祐
步兵第三十七聯隊(大阪)大佐 藤井洋治
步兵第六十一聯隊(和歌山)大佐 中山保三郎
騎兵第四聯隊(大阪) 大佐 三間良衛
野砲兵第四聯隊(信太山)大佐 玉川 直
深山重砲兵聯隊(深山)大佐 有田正秀
工兵第四大隊(高槻) 中佐 林 美雄
輜重兵第四大隊(大阪)大佐 田中 清

第五師團 (廣島)

師團長 中將 二宮治重
參謀長 步大佐 安岡正臣
司令部附 少將 青木政喜
步兵第九旅團(廣島) 少將 土肥原賢二
步兵第十一聯隊(廣島)大佐 相良巳都磨
步兵第四十一聯隊(福山)大佐 田島榮太郎
步兵第二十一旅團(山口)少將 森 五六
步兵第四十二聯隊(山口)大佐 赤松寅七
騎兵第五聯隊(廣島) 大佐 和田義雄
野砲兵第五聯隊(廣島) 大佐 太田勝海
工兵第五大隊(廣島) 中佐 平岡龜雄
電信第二聯隊(廣島) 大佐 中島完一
輜重兵第五大隊(廣島) 中佐 前田 保

第六師團 (熊本)

師團長 中將 坂本政右衛門
參謀長 輜大佐 佐々木吉良
司令部附 少將 平野 博
豐後要塞司令官 少將 吉永吉次
奄美大島要塞司令官 砲中佐 渡 優大
步兵第十一旅團(熊本)少將 松田國三
步兵第十三聯隊(熊本)大佐 鷲津松平
步兵第四十七聯隊(大分)大佐 常岡寛治
步兵第三十六旅團(鹿耳島)少將 高田美明
步兵第二十三聯隊(都城)大佐 志道保亮
步兵第四十五聯隊(鹿耳島)大佐 迎專八
騎兵第六聯隊(熊本) 中佐 神代菊雄
野砲兵第六聯隊(熊本)大佐 城島榮興
工兵第六大隊(熊本) 大佐 細田四郎
輜重兵第六大隊(熊本)中佐 來島磯治

第七師團 (旭川)

師團長 中將 佐藤子之助
參謀長 步大佐 伊田常二郎
司令部附 少將 福田義雄
津輕要塞司令官 少將 河村圭三
步兵第十三旅團(旭川)少將 谷 實夫
步兵第二十五聯隊(札幌)大佐 山口三郎
步兵第二十六聯隊(旭川)大佐 佐藤 正
步兵第十四旅團(旭川)少將 服部兵太郎

第七師團 (旭川)

步兵第二十七聯隊(旭川)大佐 瀨能典一
步兵第二十八聯隊(旭川)大佐 石井豐吉
騎兵第七聯隊(旭川) 大佐 蘆見 茂
野砲兵第七聯隊(旭川)大佐 木本益雄
函館重砲兵大隊(函館)中佐 堀耕太郎
工兵第七大隊 中佐 高橋毅一
輜重兵第七大隊 中佐 小田康彦

第八師團 (弘前)

師團長 中將 西 義一
參謀長 步大佐 小林角太郎
司令部附 少將 石阪弘毅
留守司令官 中將 原田敬一
步兵第四旅團(弘前) 少將 鈴木美通
步兵第五聯隊(青森)大佐 子谷 儀一
步兵第三十一聯隊(弘前)大佐 早川 止
步兵第十六旅團(秋田)少將 川原 侃
步兵第十七聯隊(秋田)大佐 長瀬武平
步兵第三十二聯隊(山形)大佐 田中清一
騎兵第三旅團(盛岡) 少將 市瀬源助
騎兵第八聯隊(弘前)中佐 子三宅忠強
騎兵第二十三聯隊(盛岡)大佐 田村彌三郎
騎兵第二十四聯隊(盛岡)大佐 西村 辨
野砲兵第八聯隊(弘前)大佐 廣野大吉
工兵第八大隊(盛岡) 大佐 上原建市
輜重兵第八大隊(弘前)中佐 金丸卯平

△第九師團 (金澤)

師團長 中將 荒蕪義勝
參謀長 步大佐 佐々木到一
司令部附 少將 平田幸弘
步兵第六旅團 (金澤) 少將 大串敬吉
步兵第七聯隊 (金澤) 大佐 五十嵐房吉
步兵第三十五聯隊 (富山) 大佐 德野外次郎
步兵第十八旅團 (敦賀) 少將 小野幸吉
步兵第十九聯隊 (敦賀) 大佐 宇高 誠
步兵第三十六聯隊 (鯖江) 大佐 大賀一男
騎兵第九聯隊 (金澤) 大佐 野澤北地
山砲兵第九聯隊 (金澤) 大佐 岩野正治
工兵第九大隊 (金澤) 大佐 横山正雄
輜重兵第九大隊 (金澤) 中佐 村野三三男

△第十師團 (姫路)

師團長 中將 廣瀬壽助
參謀長 步大佐 加納豐壽
司令部附 少將 島永太郎
留守司令官 中將 蒲 穆
步兵第八旅團 (姫路) 少將 國部和二郎
步兵第三十九聯隊 (姫路) 大佐 舟橋 茂
步兵第四十聯隊 (鳥取) 大佐 岡村 元
步兵第三十三旅團 (岡山) 少將 中村 馨
步兵第十聯隊 (岡山) 大佐 人見順士
步兵第六十三聯隊 (松江) 大佐 中村晋吉

△第十一師團 (善通寺)

師團長 中將 厚東篤太郎
參謀長 步大佐 三宅俊雄
司令部附 少將 三毛一夫
步兵第十旅團 (善通寺) 少將 金子因之
步兵第十二聯隊 (丸龜) 大佐 關 龜治
步兵第二十二聯隊 (松山) 大佐 七田一郎
步兵第二十二旅團 (德島) 少將 宮村俊雄
步兵第四十三聯隊 (德島) 大佐 辻 權作
步兵第四十四聯隊 (高知) 大佐 秦 雅尚
騎兵第十一聯隊 (善通寺) 中佐 熊野利助
山砲兵第十一聯隊 (善通寺) 大佐 菰田康一
工兵第十一大隊 (善通寺) 中佐 市橋弘助
輜重兵第十一大隊 (善通寺) 中佐 室積吉太郎

△第十二師團 (久留米)

師團長 中將 杉山 元
參謀長 砲大佐 石田保道
司令部附 少將 嘉村達次郎
下關要塞司令官 少將 中岡彌高
對馬要塞司令官 少將 大內收多
佐世保要塞司令官 少將 平山 繁

△第十四師團 (宇都宮)

師團長 中將 松木直亮
參謀長 步大佐 飯野庄三郎

司令部附 中將 森 連
步兵第二十七旅團 (宇都宮) 少將 平松英雄
步兵第三聯隊 (水戸) 大佐 中山 健
步兵第五十九聯隊 (宇都宮) 大佐 黒田重徳
步兵第二十八旅團 (高崎) 少將 平賀貞藏
步兵第十五聯隊 (高崎) 大佐 甘糟重太郎
步兵第五十聯隊 (松本) 大佐 岡原 寛
騎兵第十八聯隊 (宇都宮) 中佐 六戸功男
野砲兵第二十聯隊 (宇都宮) 大佐 平田健吉
工兵第十四大隊 (水戸) 中佐 藤井鷹雄
輜重兵第十四大隊 (宇都宮) 中佐 増野忠篤

△第十六師團 (京都)

師團長 中將 山本鶴一
參謀長 砲大佐 大島隆太郎
司令部附 少將 大塚孝助
舞鶴要塞司令官 少將 中島今朝吾
步兵第十九旅團 (京都) 少將 田中 稔
步兵第九聯隊 (京都) 大佐 中村半助
步兵第九聯隊第三大隊 (大津)
步兵第二十聯隊 (福知山) 大佐 土居稻生
步兵第三十旅團 (津) 少將 遠藤五郎
步兵第三十三聯隊 (津) 大佐 西垣眞一
步兵第三十八聯隊 (奈良) 大佐 伊東正彌
騎兵第二十聯隊 (京都) 中佐 阿久津四郎
野砲兵第二十二聯隊 (京都) 大佐 山田長三郎

舞鶴重砲兵大隊 (舞鶴) 大佐 武雄清吾
工兵第十六大隊 (京都) 大佐 和田重徳
飛行第三聯隊 (八日市) 中佐 佐藤 進
輜重兵第十六大隊 (京都) 大佐 佐田幸彦

步兵第七十九聯隊 (龍山) 大佐 近藤 清
步兵第八十聯隊 (大邱) 大佐 川邊三郎
騎兵第二十八聯隊 (龍山) 大佐 佐竹二郎
野砲兵第二十六聯隊 (龍山) 大佐 池野松二
馬山重砲兵大隊 (馬山) 中佐 眞本盛平
工兵第二十大隊 (龍山) 中佐 宮島貞次
飛行第六聯隊 (平壤) 大佐 長嶺龜助

△朝鮮軍 (京城)

司令部 中將 川島義之
參謀長 少將 兒玉友雄
鎮海要塞司令官 少將 西村迺雄
水興要塞司令官 砲中佐 池永武雄

△臺灣軍 (臺北)

司令部 中將 阿部信行
參謀長 少將 清水喜重
基隆要塞司令官 少將 林 幸司
澎湖島要塞司令官 少將 鈴木元長
臺灣守備隊司令官 中將 外山豊造
臺灣步兵第一聯隊 (臺北) 大佐 仁禮精粹
臺灣步兵第二聯隊 (臺南) 大佐 村上義正
臺灣山砲兵大隊 (臺北) 中佐 高東平
基隆重砲兵大隊 (基隆) 中佐 古野夢助
馬公重砲兵大隊 (馬公) 大佐 濫川政雄
飛行第八聯隊 (屏東) 大佐 值賀忠治

△關東軍

(新京)

- 司令官 大將 武藤信義
- 參謀長 中將 小磯國昭
- 副參謀長 少將 岡村寧次
- 旅順要塞司令官 中將 安藤紀三郎
- 獨立守備隊司令官 中將 井上忠也
- 獨立守備步兵第一大隊(公丁) 中佐 小川喜一
- 獨立守備步兵第二大隊(奉天) 中佐 天谷直太郎
- 獨立守備步兵第三大隊(大石橋) 中佐 岩田文重
- 獨立守備步兵第四大隊(遼中) 中佐 板津直純
- 獨立守備步兵第五大隊(鐵嶺) 中佐 田所定右衛門
- 獨立守備步兵第六大隊(鴨綠) 中佐 上田利三郎
- 旅順砲兵大隊(旅順) 中佐 山村 新

- 參謀長 少將 濱田吉治郎
- 橫須賀海軍人事部長 少將 山口長武
- 橫須賀海軍港務部長 中將 田尻敏郎
- 橫須賀海軍工廠長 中將 村田豐太郎
- 橫須賀海軍經理部長 主計少將 村上春一
- 橫須賀海軍需部長 主計少將 池邊安雄
- 橫須賀海軍艦政部長 少將 長尾秀二
- 橫須賀海軍建築部長 技師 吉田 直
- 橫須賀海軍病院長 軍醫少將 阿部文五郎
- 海軍砲術學校長 軍醫大佐 向山美弘
- 海軍水雷學校長 少將 原敬太郎
- 海軍通信學校長(兼) 少將 市村久雄
- 海軍工機學校長 少將 市村久雄

吳鎮守府

- 司令官 中將 中村孝太郎
- 參謀長 砲大佐 菊池門也
- 天津駐屯步兵隊(天津) 砲大佐 粟飯原秀
- 北平駐屯步兵隊(北平) 中佐 粟飯原秀

- 司令官 中將 中村良三
- 參謀長 少將 住山德太郎
- 吳海軍人事部長 大佐 松崎伊織
- 吳海軍港務部長 少將 立花 一
- 吳海軍工廠長 少將 松下 薰
- 廣海軍工廠長 少將 豐田貞太郎
- 海軍燃料廠長 中將 吉岡保貞
- 吳海軍經理部長 主計少將 永宮二男造
- 吳海軍需部長 少將 倉賀野明

要港部

- 要港部司令官 中將 今村信太郎
- 大湊要港部司令官 中將 大野 寬
- 馬公要港部司令官 少將 山内豐中
- 鎮海要港部司令官 少將 堀澤幸一

佐世保鎮守府

- 司令官 中將 左近司啓三
- 參謀長 少將 新山良幸
- 佐世保海軍人事部長 大佐 平田 昇
- 佐世保海軍港務部長 大佐 松野正三
- 佐世保海軍工廠長 少將 山本幹之助
- 佐世保海軍經理部長 主計少將 淡 敏雄
- 佐世保海軍需部長 少將 有馬 寬
- 佐世保海軍艦政部長 技師 甚目雅治
- 佐世保海軍病院長 軍醫少將 伏島忠雄

海軍軍令部

- 部長 元帥大將 博 恭王
- 次長 中將 高橋三吉

海軍艦團隊

- 聯合艦隊司令官(兼) 中將 小林躋造
- 參謀長(兼) 少將 吉田善吾
- 第一艦隊司令官 中將 小林躋造
- 參謀長 少將 吉田善吾
- 第一戰隊司令官 少將 堀 悌吉
- 金剛(旗艦)艦長 大佐 日暮豐年
- 霧島艦長 大佐 宇野積藏
- 伊勢艦長 少將 古賀峰一
- 第二戰隊(缺隊)
- 第三戰隊司令官 少將 鈴木義一
- 那珂艦長 大佐 山本弘毅
- 阿武隈艦長 大佐 小島謙太郎
- 由良艦長 大佐 谷本馬太郎
- 第一水雷戰隊司令官 少將 有地十五郎
- 夕張(旗艦)艦長 大佐 齋藤二朗
- 第二十二驅逐隊司令 大佐 木幡 行
- 第二十三驅逐隊司令 中佐 鈴木田幸三
- 第三十驅逐隊司令 中佐 原顯三郎
- 第一潛水戰隊司令官 少將 井上肇治
- 迅鯨(旗艦)艦長 大佐 小松輝久
- 第七潛水隊司令 大佐 浮田秀彦
- 第八潛水隊司令 大佐 高須三郎
- 第二十九潛水隊司令 大佐 渡部德四郎
- 第二艦隊司令官 中將 末次信正

- 參謀長 少將 中村龜三郎
- 第四戰隊 妙高(旗艦)艦長 大佐 井澤春馬
- 那智艦長 大佐 田畑啓義
- 足柄艦長 大佐 三木太市
- 羽黑艦長 大佐 野村直邦
- 第五戰隊司令官 少將 市村久雄
- 第一水雷戰隊司令官 少將 井上繼松
- 神通(旗艦)艦長 大佐 大熊政吉
- 第七驅逐隊司令 大佐 柏木 英
- 第八驅逐隊司令 大佐 若木元次
- 第十九驅逐隊司令 大佐 吉田庸光
- 第二潛水戰隊司令官 少將 和波豐一
- 長鯨(旗艦)艦長 大佐 橫山普雄
- 第十八潛水隊司令 大佐 樋口修二郎
- 第二十八潛水隊司令 中佐 福田良三
- 第一航空戰隊司令官 少將 及川古志郎
- 加賀(旗艦)艦長 大佐 岡田傳二
- 鳳翔艦長 大佐 堀江六郎
- 第三艦隊司令官 中將 米內光政
- 參謀長 少將 菊野 茂
- 出雲艦長 大佐 中村重一
- 天龍艦長 大佐 田結 穰
- 練習艦隊司令官 中將 百武源吾

朝鮮總督府

- 總督 宇垣 一成
- 警手(旗艦)艦長 大佐 鈴木嘉助
- 淺間艦長(兼) 大佐 樽谷宗一
- 第一遣外艦隊(上海)司令官 少將 坂野常善
- 常磐艦長 大佐 山田定男
- 對馬艦長 大佐 松浦水太郎
- 第二十四驅逐隊司令 中佐 坂野民部
- 第二遣外艦隊(旅順)司令官 少將 津田靜枝
- 平戶(旗艦)艦長 大佐 藤澤清一
- 八雲艦長 大佐 新見政一
- 第十三驅逐隊司令 中佐 橫山 茂
- 第十六驅逐隊司令 中佐 廣瀬末人
- 橫須賀海兵團長 少將 秋山虎六
- 吳海兵團長 少將 藏田 直
- 佐世保海兵團長 少將 三井清三郎
- 霞ヶ浦航空隊司令 少將 小林三郎
- 橫須賀航空隊司令 大佐 大西次郎
- 佐世保航空隊司令 大佐 寺田幸吉
- 大村航空隊司令 大佐 近藤英郎
- 館山航空隊司令 中佐 荒木 保
- 吳航空隊司令 中佐 湯淺 倉平
- 會計檢査院 院長 湯淺 倉平
- 行政裁判所 長官 法博 清水 澄

政務總監
 內務局長
 財務局長
 殖產局長
 農林局長
 法務局長
 學務局長
 警務局長
 中樞院議長
 副議長
 逓信局長
 鐵道局長
 專賣局長
 高等法院長
 京城覆審法院長
 平壤覆審法院長
 大邱覆審法院長

臺灣總督府

總督
 總務長官
 內務局長
 文教局長
 殖產局長
 中川 健藏
 平塚 廣義
 小濱 淨藏
 安武 直夫
 岡田 信
 植田 俊吉

警務局長
 文通局長
 專賣局長
 稅關長
 高等法院長
 台中地方法院長
 台南地方法院長
 友部 泉藏
 堀田 鼎
 田端 幸三郎
 増田 秀吉
 後藤和佐二
 上田 貞藏
 田中 吉雄

關東廳

長官(兼)
 內務局長
 警務局長
 財務部長
 旅順民政署長
 大連民政署長
 高等法院長
 地方法院長
 專賣局長(兼)
 海務局長
 逓信局長
 大連無線電信局長
 技師
 武藤 信義
 日下 辰太
 林 壽夫
 西山 左内
 米内 山震作
 竹内 徳亥
 土屋 信民
 森本 豊治郎
 竹内 徳亥
 岡本 誠
 櫻井 學
 石田 英
 今村 武志
 高鳥 久次郎

地方廳

警視總監
 北海道長官
 東京府知事
 京都府知事
 大阪府知事
 神奈川縣知事
 兵庫縣知事
 長崎縣知事
 新潟縣知事
 埼玉縣知事
 群馬縣知事
 千葉縣知事
 茨城縣知事
 栃木縣知事
 奈良縣知事
 藤沼 庄平
 佐上 信一
 香坂 昌康
 齋藤 宗宣
 縣 忍
 横山 助成
 白根 竹介
 鈴木 信太郎
 千葉 了
 福島 繁三
 金澤 正雄
 岡田 文秀
 阿部 嘉七
 半井 清
 久米 成夫

南洋廳

警察部長
 農林部長
 鐵道事務所長
 中央試驗所長
 技師農博
 山崎 隆義
 植場 鐵三
 大島 忠康
 三宅 康次

三重縣知事
 愛知縣知事
 靜岡縣知事
 山梨縣知事
 滋賀縣知事
 岐阜縣知事
 長野縣知事
 宮城縣知事
 福島縣知事
 岩手縣知事
 青森縣知事
 山形縣知事
 秋田縣知事
 福井縣知事
 石川縣知事
 富山縣知事
 鳥取縣知事
 島根縣知事
 岡山縣知事
 廣島縣知事
 山口縣知事
 和歌山縣知事
 德島縣知事
 香川縣知事
 愛媛縣知事

廣瀨 久忠
 遠藤 柳作
 田中 廣太郎
 關屋 延之助
 伊藤 武彦
 宮崎 梅吉
 石垣 倉治
 三邊 長治
 赤木 朝治
 石黒 英彦
 多久 安信
 石原 雅二郎
 武部 六藏
 大達 茂雄
 山口 安憲
 齋藤 樹
 館 哲二
 福島 正樹
 篠原 英太郎
 湯澤 三千男
 岡田 周三
 清水 良策
 落合 慶四郎
 君島 清吉
 一戸 二郎

高知縣知事
 福岡縣知事
 大分縣知事
 佐賀縣知事
 熊本縣知事
 宮崎縣知事
 鹿兒島縣知事
 沖繩縣知事
 東京市長
 大阪市長
 京都市長
 神戸市長
 橫濱市長
 名古屋市長

六大都市市長

坂間 棟治
 小栗 一雄
 田口 易之
 早川 三郎
 鈴木 敬一
 木下 義介
 市村 慶三
 井野 次郎
 永田 秀次郎
 關 一
 森田 茂
 黒瀬 弘
 大西 一郎
 大岩 勇夫
 松平 恒雄
 長岡 春一
 出淵 勝次
 佐藤 尙武
 小幡 西吉
 大田 爲吉
 松島 肇
 吉田 伊三郎

特命全權大使

英國(ロンドン)
 佛國(パリ)
 米國(ワシントン)
 ベルギー(ブラッセル)
 獨逸(ベルリン)
 サウエーリト聯邦(モスクワ)
 伊太利(ローマ)
 トルコ(スタンブール)
 松平 恒雄
 長岡 春一
 出淵 勝次
 佐藤 尙武
 小幡 西吉
 大田 爲吉
 松島 肇
 吉田 伊三郎
 ブラジル
 (リオ・デ・ジャネイロ) 林 久治郎
 滿洲國(新京) 陸軍大將 武藤 信義
 スウェーデン(ストックホルム) 子 武者小路公共
 (ストックホルム) 子 武者小路公共
 ポーランド(ワルソー) 河合 博之
 チェッコ(スロヴァキヤ) (ブラーグ) 堀田 正昭
 ルーマニア(ブカレスト) 藤田 榮介
 ギリシヤ(アテネ) 藤田 榮介
 スイス(ベルン) 矢田 七太郎
 オランダ(ハーグ) 松永 直吉
 スペイン(マドリッド) 青木 新
 中華民國(北平) 有吉 明
 シヤム(バンコック) 矢田 部安吉
 メキシコ(メキシコ) 堀 義貴
 アルゼンチン(ブエノスアイレス) 山崎 次郎
 チリ(サンチャゴ) 森 安三郎
 ベルギー(リマ) 來栖 三郎
 カナダ(オッタワ) 徳川 家正

ラトヴィア(リガ)(兼) 小幡 西吉
 キューバ(ハヴァナ)(兼) 出淵 勝次
 ポルトガル 法博 笠間 泉雄
 オースタリー兼ハンガリー(ウィーン)
 臨時代理公使 市毛 孝三

国際聯盟役員

国際聯盟帝國事務局(パリ)
 局長 特命全權公使 澤田 節藏
 次長 大使館参事官 法博 伊藤 達史
 常設国際聯盟事務局
 事務次長特命全權公使法博 杉村陽太郎
 国際聯盟陸海空軍問題常設諮問委員會
 軍縮會議全權 陸軍中將 建川 美次
 陸軍代表 陸軍少將 森田 宣
 海、空軍、代表 海軍少將 洪 泰夫


帝國駐在外國外交官

特命全權大使
 米 國 ジョセフ・シー・グルー
 ブラジル シルヴィノ・グルゲル・アマラル
 白耳義 アルベール・ド・パツソンピエール男
 佛 國 ダニアン・ド・マルテル伯

獨逸 エルンスト・アルツール・フォレツチ
 伊太利 ジョブアンニ・チエー・ジョーニ
 英 國 サイ・フランシス・オスワルド・リンドン
 サヴェート聯邦 アレキサンデル・トロヤノフスキー
 トルコ(代理大使) ラジブ・ライフ・ペー
 滿洲國(日本駐在代表) 鮑 觀澄
 ○特命全權公使
 亞爾然丁 ドクトル・ロドルフォ・フレイレ
 加奈陀 ハーバード・メレディス・マラー
 中華民國 チェッコ・スロヴァキア 蔣 作賓
 智利 フランティシエツク・ハヴリチエツク
 和 蘭 エンリケ・カリヤルド・ニエト
 墨西哥 イエー・セー・パブスト
 ドクトル・ミグエル・アロンゾ・ロメロ
 ノルウェー ルードウィク・マルチン・オーベル
 葡萄牙 ジョゼ・ダ・コスタ・カルネイロ

秘露 ジョージ・デイリー・レムケ
 波 斯 ハッサンアリ・ハーン・ケマル・ヘダ
 ヤット
 瑞 典 ヨハンエ・リツク・エーワルド・フルトマン
 瑞 西 エミール・トラヴェルシニ
 西班牙 エス・メンゼス・デ・ヴィゴ
 玖瑪(代) カリツクスト・ホイットマーシユ
 丁抹(代) ユーゴー・ヘルゲル
 芬蘭(代)
 ジョルジュ・アルヴィッド・ウインケルマン
 波蘭(代)
 アントアヌ・ヤツジエフスキ
 羅馬尼亞(代) ジョルジュ・ストイセスコ
 暹羅(代)
 ルアンズ・ヴァステイ・ヴァラサナ

クーマ車動自



(佛)シエトロシ (米・英)ーダス (英)ンチスーオ (米)ドーカツバ

貴族院

(昭和七年十月現在)

議長 長公 徳川 家達
 副議長 公近衛 文麿

皇族議員
 成年の男子。員数及任期無制限

雍仁 親王
 宣仁 親王
 載仁 親王
 邦 芳 王
 博 恭 王
 博 義 王
 武 彦 王
 恒 憲 王
 朝 融 王
 守 正 王
 多 嘉 王
 鳩 彦 王
 稔 彦 王
 永 久 王
 春 仁 王
 恒 徳 王

公爵議員
 滿州以上。員数及び任期無制限

伊藤 博精
 一條 實孝
 徳川 家達
 徳川 圀順
 徳大寺公弘
 大山 柏
 鷹司 信輔
 九條 道實
 山縣 有道
 近衛 文麿
 西園寺公望
 三條 公輝
 島津 忠重
 毛利 元昭

侯爵議員
 滿州以上。員数及び任期無制限

井上 三郎
 池田 仲博
 蜂須賀正韶
 細川 護立
 徳川 頼貞
 徳川 義親
 大久保利武
 大隈 信常
 醍醐 忠重
 鍋島 直映
 中山 輔親
 中御門經恭
 野津鎮之助
 久邇 邦久
 黒田 長成
 山内 豊景
 山階 芳麿
 前田 利爲
 松平 康昌
 久我 常通
 小松 輝久
 湯野 長勳
 西郷 從徳
 嵯峨 公勝
 佐竹 義春

伯爵議員
 滿州以上の者て互選
 定員十八名

林 博太郎
 橋本 實斐
 堀田 正恒
 小笠原長幹
 川村鐵太郎
 樺山 愛輔
 黒木 三三
 柳原 義光
 柳澤 保惠
 柳平 頼壽
 松木 宗隆
 二荒 芳徳
 兒玉 秀雄
 後藤 一藏
 有馬 頼寧
 酒井 忠克
 酒井 忠正

子爵議員

滿州以上の者て互選
 定員六十名

溝口 直亮
 井伊 直方
 井上匡四郎
 伊東二郎丸
 伊集院兼知
 水無瀬忠政
 岩城 隆徳
 今城 定政
 池田 政時
 八條 隆正
 西大寺吉光
 西四辻公堯
 西尾 忠方
 保科 正昭
 戸澤 正己
 土岐 章
 豊岡 圭資
 高小路隆直
 大同 忠綱
 大河内輝耕
 大久保 立
 織田 信恒

岡部 長景
 渡邊 千冬
 渡邊 七郎
 加藤 泰通
 片桐 貞央
 米倉 昌達
 米津 政賢
 吉田 晴風
 立花 種忠
 立見 豐丸
 高木 正得
 高橋 是賢
 冷泉 爲勇
 曾我 祐邦
 土御門 晴善
 鍋島 直繩
 裏松 友光
 梅園 篤彦
 梅小路 定行
 植村 家治
 野村 益三
 森 篤磨
 松平 康春
 松平 保男
 松平 忠壽
 牧野 忠篤

藤田 廣城
 舟橋 清賢
 近衛 秀磨
 青木 信光
 綾小路 護
 秋田 重季
 秋月 種英
 秋元 春朝
 安藤 信昭
 清岡 長言
 三室戸 敬光
 三島 通陽
 白川 資長
 新庄 直知
 東園 基光
 森 俊成
 毛利 元恒
 伊江 朝助

稻田 正植
 今園 國貞
 今枝 直規
 岩倉 道俱
 岩村 一木
 原田 熊雄
 橋本 正輝
 東郷 安
 徳川 喜輪
 長 基連
 小畑 大太郎
 大井 成元
 大寺 純藏
 大森 佳一
 大藏 公望
 沖 貞男
 渡邊 汀
 渡邊 修二
 加藤 成之
 金子 有道
 高木 喜寛
 高崎 弓彦
 團田 武彦
 辻 太郎
 中島 久萬吉

中村 謙一
 鍋島 直明
 黒田 長和
 矢吹 省三
 山根 健男
 松尾 義夫
 松岡 均平
 松平 外典
 藤原 俊丸
 藤村 義朗
 深尾 隆太郎
 郷 誠之助
 近藤 滋彌
 足立 豊
 赤松 範一
 有地 藤三郎
 淺田 良逸
 佐藤 達次郎
 阪谷 芳郎
 坂本 俊寛
 紀 俊秀
 北大路 實信
 北河原 公平
 北島 貴孝
 菊池 武夫

肝付 兼英
 三須 精一
 新波 忠三郎
 四條 隆英
 平野 長祥
 東久世 秀雄
 關 義壽
 千秋 季隆
 千田 嘉平
 周布 兼道
 杉溪 由言
 伊澤 多喜男
 石塚 英藏
 石渡 敏一
 岩田 宙造
 市來 乙彦
 稻原 勝太郎
 犬塚 勝太郎
 磯村 豊太郎
 今井 五介
 橋本 圭三郎

男爵議員
 滿州以上の者互選
 定員六十六人

勸業議員
 國家に勸業あり又は學
 識ある者より特に勸業
 されたもの、滿州以上の
 上の男子定員百廿五人
 以内、終身議員。

服部 金太郎
 八田 嘉明
 原 保太郎
 馬場 鏗一
 坂西 利八郎
 新渡部 稻造
 西野 元
 堀 啓次郎
 徳富 猪一郎
 富谷 銆太郎
 織田 萬
 大川 平三郎
 大島 健一
 大谷 尊由
 大塚 惟精
 大橋 新太郎
 大山 綱昌
 太田 政弘
 岡 嘉七郎
 岡崎 邦輔
 岡田 文次
 和田 彦次郎
 若槻 禮次郎
 若尾 璋八
 若林 襄藏

渡邊 暢
 渡邊 千代三郎
 加藤 政之助
 嘉納 治五郎
 金杉 英五郎
 榊山 資英
 上山 滿之進
 川上 親晴
 川崎 卓吉
 川村 竹治
 片岡 直温
 各務 謙吉
 門野 幾之進
 芳澤 謙吉
 田所 美治
 高田 早苗
 高橋 琢也
 竹越 與三郎
 武富 時敏
 塚本 清治
 次田 大三郎
 根津 嘉一郎
 中川 小十郎
 中村 純九郎
 永田 秀次郎

男 伯 男
 内藤 久寛
 長岡 隆一郎
 鍋島 桂次郎
 室田 義文
 村山 龍平
 鷗澤 總明
 内田 嘉吉
 内田 重成
 内田 康哉
 潮 惠之助
 野村 徳七
 桑山 謙男
 倉知 謙吉
 山岡 萬之助
 山川 瑞夫
 山本 達雄
 山之内 一次
 馬越 恭平
 眞野 文二
 松井 慶四郎
 松村 義一
 松本 丞治
 松浦 鎮次郎
 丸山 鶴吉
 福永 吉之助

藤澤 幾之輔
 藤田 謙一
 藤田 四郎
 藤原 銀次郎
 藤山 雷太
 二上 兵治
 小久保 喜七
 木場 貞長
 古島 一雄
 後藤 文夫
 江口 定條
 阿部 房次郎
 安立 綱之
 有吉 忠一
 青木 周三
 赤池 濃
 淺田 徳則
 佐藤 三吉
 阪本 彰之助
 木村 清四郎
 菊池 恭三
 岸 清一
 三井 清一郎
 三宅 秀
 美濃部 達吉

多額納税議員
 北海道各府縣に於て、
 土地又は工業、商業に
 つき多額の直接納税を
 納める者百人の内より
 一人、或は二百人の内
 より二人を互選し勸任
 されたもの。滿州以上
 の男子六十六人以上
 任期七年
 昭和七年九月改選

學士院議員
 帝國學士院の互選によ
 り勸任。滿州以上の
 男子四人、任期七年
 昭和七年九月改選

男
 水野 謙太郎
 南 弘
 宮田 光雄
 勝田 主計
 幣原 喜重郎
 土方 寧
 森 賢吾
 本山 彦一
 關 直彦
 菅原 通敬
 水上 長次郎
 水野 謙太郎
 小野 謙次
 三上 參次
 藤澤 利喜太郎
 田中 館愛橋

北海道板谷 宮吉
金子元三郎
青森 宇野 勇作
岩手 瀨川彌右衛門
宮城 佐藤龜八郎
秋田 辻 兵吉
山形 三浦 新七
福島 油井 徳藏
茨城 金成 通
大和田健三郎
青木才次郎
栃木 久保市三郎
群馬 遊澤 金藏
埼玉 松本 眞平
田中徳兵衛
千葉 濱口儀兵衛
三橋 彌
東京 津村 重舍
細田安兵衛
神奈川平沼 亮三
上郎 清助
新潟 白勢 春三
高島 順作
富山 金岡又左衛門
石川 本多 政樹

福井 飛鳥 文吉
山梨 名取 忠愛
長野 小坂 順造
宮城 作衛
岐阜 上松 泰造
静岡 中村圓一郎
鈴木 幸作
愛知 下出 民義
磯貝 浩
三重 小林嘉平治
吉田羊次郎
京都 大澤徳太郎
大阪 風間八左衛門
佐々木八十八
森 平兵衛
兵庫 田村 新吉
松岡 潤吉
奈良 山本 米三
和歌山 西本健次郎
鳥取 米原 章三
島根 絲原武太郎
岡山 坂野鐵次郎
山上 岩二
廣島 水野甚次郎
松本勝太郎

山口 林 平四郎
徳島 三木與吉郎
香川 大西虎之助
愛媛 仲田傳之助
高知 野村茂久馬
福岡 大藪 守治
太田 清藏
佐賀 石川 三郎

長崎 橋本辰二郎
熊本 山隈 康
長野 忠次
大分 久恒 貞雄
宮崎 岩崎 清行
鹿兒島 久米田新太郎
上野喜左衛門
沖繩 平尾喜三郎
昭和七年二月改選
昭和七年十月現在

岩手 縣
第一區田子 一民(政)
熊谷 巖(政)
八角 三郎(政)
第二區廣瀬 爲久(政)
高橋壽太郎(國)
小野寺 章(政)
志賀和多利(政)
宮城 縣
第一區佐々木家壽治(政)
内ヶ崎作三郎(民)
菅原 傳(政)
宮澤 清作(政)
守屋 榮夫(政)
第二區大石 倫治(政)
星 廉平(政)
村松 久義(民)
秋田 縣
第一區田中 隆三(民)
町田 忠治(民)
杉本國太郎(政)
鈴木 安孝(政)
第二區小山田義孝(政)
猪股謙二郎(民)
山形 縣

衆議院

第一區西方 利馬(政)
高橋熊次郎(政)
佐藤 啓(國)
戸田 虎雄(政)
第二區熊谷 直太(政)
清水徳太郎(民)
佐藤 理吉(國)
松岡 俊三(政)
福島 縣
第一區菅野善右衛門(政)
林 平馬(民)
堀切善兵衛(政)
第二區八田 宗吉(政)
小島 智善(政)
中野 寅吉(政)
鈴木 寅彦(民)
助川啓四郎(政)
第三區佐藤庄太郎(政)
比佐 昌平(民)
鈴木辰三郎(政)
茨城 縣
第一區宮古啓三郎(政)
内田 信也(政)
豐田 豐吉(民)
葉梨新五郎(政)

第二區中井川 浩(民)
石井 三郎(政)
山崎 猛(政)
第三區風見 章(國)
堀江正三郎(政)
飯村 五郎(政)
佐藤洋之助(政)
栃木 縣
第一區森 格(政)
坪山 徳彌(政)
船田 中(政)
岡田喜久治(民)
高田 耘平(民)
第二區松村 光三(政)
栗原彦三郎(國)
岡本 一巳(政)
上野 基三(政)
群馬 縣
第一區飯塚春太郎(民)
増田 金作(政)
清水留三郎(民)
中島知久平(政)
青木 精一(政)
第二區畑 桃作(政)
木村三四郎(民)

木暮武夫(政)
篠原 義政(政)
埼玉 縣
第一區宮崎 一(政)
秦 豐助(政)
松永 東(無)
高橋 泰雄(政)
第二區横川 重次(政)
高橋 守平(民)
長島 隆二(政)
一瀬 一二(政)
第三區野中 徹也(國)
門田 新松(政)
出井 兵吉(政)
千葉 縣
第一區多田 滿長(民)
本田貞次郎(政)
川眞正次郎(政)
鈴木 隆(政)
第二區鳩山 秀夫(政)
鶴澤 宇八(民)
今井 健彦(政)
第三區土屋清三郎(民)
竹澤 太一(政)
小高長三郎(政)

岩瀬 亮(政)
東京 府
第一區立川 太郎(政)
高橋 義次(民)
本田 義成(政)
三木 武吉(無)
大神田軍治(民)
第二區中島彌團治(民)
駒井 重次(民)
犬養 健(政)
鳩山 一郎(政)
安部 磯雄(社)
第三區伊藤仁太郎(政)
頼母木桂吉(民)
安藤 正純(政)
柳田宗一郎(民)
第四區磯部 尙(政)
國枝捨次郎(政)
村 春 琴(中)
中野勇次郎(政)
第五區斯波 貞吉(民)
高木 正年(民)
鈴木富士彌(民)
牧野 賤男(政)
三上 英雄(政)

第六區中島 守利(政)
中村 繼男(國)
佐藤 正(民)
前田 米藏(政)
松谷與二郎(日)
第七區八並 武治(民)
津雲 國利(政)
坂本 一角(政)
神奈川 縣
第一區三宅 磐(民)
戸井 嘉作(民)
野方 次郎(政)
第二區小泉又次郎(民)
岩切 重雄(民)
川口 義久(政)
鈴木喜三郎(政)
第三區河野 一郎(政)
平川松太郎(民)
鈴木 英雄(政)
胎中楠右衛門(政)
新潟 縣
第一區山本悌二郎(政)
山田 助作(民)
田邊 熊一(政)
第二區松木 弘(政)

渡邊幸太郎(政) 佐藤 與一(民) 出塚 助衛(政) 第三區原 吉郎(民) 大竹 貫一(國) 加藤 知正(政) 山田 又司(政) 高橋金治郎(政) 第四區增田 義一(民) 武田德三郎(政) 鈴木 義隆(政) 富山 縣 第一區石坂 豐一(政) 野村 嘉六(民) 高見 之通(政) 第二區松村 謙三(民) 島田七郎右衛門(政) 土倉 宗助(民) 石川 縣 第一區中橋德五郎(政) 永井柳太郎(民) 箸本 太吉(政) 第二區益谷 秀次(政) 櫻井兵五郎(民) 青山 憲三(政) 全縣一區猪野毛利榮(政) 熊谷五右衛門(政) 添田敬一郎(民) 山本榮太郎(政) 齋藤 直橋(民) 山梨 縣 全縣一區川手甫雄(政) 福田 虎龜(國) 田邊 七六(政) 竹内友治郎(政) 大崎 清作(政) 長野 縣 第一區山本 慎平(政) 小坂 順造(民) 松本 忠雄(民) 第二區小山邦太郎(民) 山本莊一郎(政) 鷺澤與四二(國) 第三區戶田 由美(國) 小川 平吉(政) 有馬 淺雄(政) 平野桑四郎(政) 第四區百瀬 渡(民) 高橋 保(政) 植原悅二郎(政) 岐 縣 第一區匹田 銳吉(政) 大野 伴睦(政) 清 寬(民) 第二區佐竹直太郎(政) 後藤 亮一(國) 楠 基道(政) 第三區牧野 良三(政) 古屋 慶隆(國) 平井信四郎(政) 靜岡 縣 第一區平野 光雄(民) 海野 數馬(民) 山口忠五郎(政) 宮本雄一郎(政) 深澤豐太郎(政) 第二區仁田大八郎(政) 岸 衛(國) 春名 成章(政) 勝又 春一(政) 第三區井上 剛一(國) 永田善三郎(民) 倉元 要一(政) 太田 正孝(政) 愛知 縣 第一區田中 善立(政) 小松 松壽(民) 瀨川 嘉助(政) 橫山 一格(民) 加藤 銀五郎(政) 第二區山田 佐一(政) 西脇 晋(民) 丹下茂十郎(政) 第三區田中 貞二(政) 加藤 綱一(國) 瀧 正雄(政) 第四區小笠原三九郎(政) 武富 濟(民) 小林 鑄(政) 第五區近藤壽市郎(政) 鈴木 正吾(國) 大口 喜六(政) 三重 縣 第一區加藤久米四郎(政) 伊坂秀五郎(政) 川崎 克(民) 堀川 美哉(政) 松田 正一(民) 第二區尾崎 行雄(中) 濱田 國松(政) 後藤 脩(政) 池田 敬八(民) 滋賀 縣 全縣一區青木亮貴(民) 服部 岩吉(政) 堤 康次郎(民) 仙波 久良(政) 清水 銀藏(政) 京都 府 第一區中村三之丞(民) 川橋豐次郎(民) 鷺野米太郎(政) 鈴木吉之助(政) 福田關次郎(中) 第二區田中祐四郎(民) 中野種一郎(政) 磯部 清吉(政) 第三區長田 桃藏(政) 芦田 均(政) 水島彦一郎(政) 大阪 府 第一區榎谷 寅吉(民) 板野 友造(政) 一松 定吉(民)

第二區山本 芳治(政) 竹田 儀一(民) 第三區青田 勝晴(政) 廣瀬 德藏(民) 上田 孝吉(政) 內藤 正剛(民) 第四區本田彌市郎(民) 吉川吉郎兵衛(民) 森田 政義(政) 中山 福藏(民) 第五區杉山元治郎(社) 勝田 永吉(民) 岩崎幸治郎(政) 喜多 孝治(政) 第六區井阪 豐光(政) 松田竹千代(民) 山口 義一(政) 兵庫 縣 第一區濱野徹太郎(民) 野田文一郎(國) 中 亥歲男(民) 中井 一夫(政) 砂田 重政(政) 第二區前田房之助(民) 立川 平(政) 藤山 貞吉(政) 原 淳一郎(民) 第三區小林 絹治(政) 青木雷三郎(政) 多木久米次郎(政) 第四區田中 武雄(民) 原 惣兵衛(政) 清瀬 一郎(國) 土井 權大(政) 第五區齋藤 隆夫(民) 畑七右衛門(政) 若宮 貞夫(政) 和歌山 縣 第一區木本主一郎(政) 松山常次郎(政) 玉置吉之丞(政) 第二區小山 谷藏(國) 三尾 邦三(政) 世耕 弘一(政) 奈良 縣 全縣一區江藤源九郎(政) 八木 逸郎(民) 松尾 四郎(民) 岩本 武助(政) 福井 縣 第三區 福井 甚三(政) 鳥取 縣 全縣一區山掛儀重(民) 由谷 義治(國) 矢野 晋也(政) 豐田 收(政) 島根 縣 第一區木村小左衛門(民) 原 夫次郎(民) 櫻內 幸雄(民) 第二區沖島 鎌三(政) 依 孫一(民) 島田 俊雄(政) 岡山 縣 第一區橫山 泰造(政) 難波 清人(政) 岡田 忠彦(政) 大山斐嵯磨(政) 久山 知之(政) 第二區小川郷太郎(民) 小谷 節夫(政) 白神 邦二(政) 星島 二郎(政) 廣島 縣 第一區荒川 五郎(民) 岸田 正記(政) 名川 侃市(政) 藤田 若水(無) 第二區山道 襄一(國) 望月 圭介(政) 田中 貢(民) 渡邊 伍(政) 第三區橫山金太郎(民) 森田 福市(政) 作田高太郎(民) 米田規矩馬(政) 宮澤 裕(政) 山口 縣 第一區保良淺之助(政) 久原房之助(政) 庄 晋太郎(政) 藤井 啓一(民) 第二區松岡 洋右(政) 西村 茂生(政) 澤本 與一(民) 兒玉 右二(政) 窪井 義道(政) 德島 縣 第一區紅露 昭(政) 生田 和平(政) 谷原 公(民) 第二區伊藤皆次郎(政) 秋田 清(政) 眞鍋 勝(民) 香川 縣 第一區上原平太郎(政) 戶澤民十郎(無) 宮脇 長吉(政) 第二區三土 忠造(政) 山下 谷次(政) 矢野庄太郎(民) 愛媛 縣 第一區武知 勇記(民) 大本貞太郎(政) 須之内品吉(政) 第二區村上紋四郎(民) 森 昇三郎(政) 河上 哲太(政) 第三區白城 定一(政) 清家吉次郎(政) 山村豐次郎(政) 高知 縣 第一區富田幸次郎(民) 田村 實(政) 中谷 貞賴(政)

東華新聞	仙台	福島	山梨民友新聞	甲府	一關門日日新聞	下關	鹿兒島新聞
北海タイムス	札幌	福島	信濃毎日新聞	長野	防長新聞	山口	鹿兒島朝日新聞
九州日日新聞	熊本	福島	長野日日新聞	長野	徳島日日新聞	徳島	臺灣日日新聞
九州新聞	熊本	福島	信濃民報	長野	徳島日日新聞	徳島	臺灣新民報
北陸毎日新聞	金澤	福島	信濃日報	長野	四國民報	高松	臺灣新報
北陸夕刊新聞	金澤	福島	信濃日日新聞	長野	香川新報	高松	臺灣新報
小樽新聞	小樽	福島	南信日日新聞	上野	海南新報	松山	東臺灣新報
旭川新聞	旭川	福島	岐阜日日新聞	岐阜	愛媛新報	松山	京城日報
室蘭毎日新聞	室蘭	福島	岐阜新報	岐阜	南豫時事新聞	宇和島	每日新聞
榑太日日新聞	豊原	福島	静岡毎日新聞	静岡	土陽新聞	高知	朝鮮新聞
榑太時事新聞	眞岡	福島	静岡民友新聞	静岡	高知新聞	高知	朝鮮新聞
岩手日報	盛岡	福島	濱松新聞	濱松	門司新聞	門司	東亞日報
岩手毎日新聞	盛岡	福島	伊勢新聞	津	佐賀日報	佐賀	朝鮮日報
東奥日報	越後	福島	三重日日新聞	四日市	軍港新聞	佐賀	朝鮮日報
青森日報	高田	福島	近江新聞	大津	豊州新聞	大分	朝鮮高工新聞
弘前新聞	柏崎	福島	中國日日新聞	尼崎	大分新聞	大分	釜山日報
秋田魁新報	北陸タイムス	福島	和歌山日日新聞	和歌山	大分新聞	大分	釜山日報
秋田旭新聞	富山	福島	和歌山新報	和歌山	宮崎新聞	宮崎	釜山日報
山形新聞	富山	福島	因伯時報	和歌山	宮崎新聞	宮崎	釜山日報
山形新聞	富山	福島	鳥取新聞	鳥取	宮崎新聞	宮崎	釜山日報
米澤新聞	福井	福島	山陰日日新聞	鳥取	宮崎時事新聞	宮崎	釜山日報
酒田新聞	山梨	福島	松陽新聞	米子	宮崎時事新聞	宮崎	釜山日報
福島民報	山梨	福島	中國新聞	岡山	宮崎時事新聞	宮崎	釜山日報
福島民友新聞	山梨	福島	山陽新聞	岡山	宮崎時事新聞	宮崎	釜山日報

クーマ車動自



ハドソン

(米) ユシツナ



(日) トツダ



第二區依光	好秋(政)	第二區森	峰一(國)	野依	秀一(政)	全縣一區金城紀光(政)	竹下	文隆(政)
川淵	洽馬(民)	藤生	安太郎(政)	松田	源治(政)	花城	永渡(政)	伊禮
林	讓治(政)	田口	文次(政)	塩月	學(政)	崎山	嗣朝(政)	肇(國)
第一區原口	初太郎(政)	第一區中村	不二男(民)	清瀬	規矩雄(政)	宮崎	健太郎(政)	
宮川	一貫(政)	向井	倭雄(政)	宮崎	健太郎(政)			
中野	正剛(國)	中川	觀秀(國)	全縣一區	佐藤重遠(政)	東京朝日新聞	東京	神戸又新日報
吉田	頼明(政)	森	肇(政)	平島	敏夫(政)	東京日日新聞	東京	神戸新聞
第二區實岡	半之助(政)	中田	正輔(國)	渡邊	與七(政)	報知新聞	東京	ザ・ジャパン
龜井	貫一郎(社)	佐保	畢雄(政)	田尻	藤四郎(政)	時事新聞	東京	クロナクル
田尻	生五(政)	熊本	龍(政)	水久保	甚作(政)	國民新聞	東京	神戸ヘラルド
田島	勝太郎(民)	第一區木村	正義(政)	鹿兒島	鹿兒島	中外商業新聞	東京	中國新聞
高野	喜六(民)	大原	唯男(民)	第一區	床次竹二郎(政)	都新聞	東京	藝備日日新聞
第三區貝谷	眞我(政)	井上	知治(政)	大阪朝日新聞	大阪	都新聞	東京	廣島毎日新聞
山崎	達之輔(政)	藏園	三四郎(政)	大阪朝日新聞	大阪	都新聞	東京	福岡日日新聞
高倉	寛(政)	中村	嘉壽(政)	大阪時事新聞	大阪	都新聞	東京	九州日報
野田	俊作(政)	寺田	市正(政)	大阪時事新聞	大阪	都新聞	東京	長崎日日新聞
樋口	典常(政)	東郷	實(政)	夕刊大阪新聞	大阪	都新聞	東京	長崎新聞
第四區勝	正憲(民)	津崎	尙武(政)	英文大阪毎日	大阪	都新聞	東京	長崎民友新聞
內野	辰次郎(政)	永田	良吉(政)	京都日日新聞	京都	都新聞	東京	函館毎日新聞
小池	四郎(日)	沖繩	縣	京都日日新聞	京都	都新聞	東京	函館新聞
佐賀	縣	第一區	田中	亮一(政)	池田	秀雄(民)	第一區	石川
第一區田中	亮一(政)	第二區	上塚	司(政)	伊豆	信房(政)	第三區	金井
池田	秀雄(民)	第三區	津崎	尙武(政)	永田	良吉(政)	第四區	勝
		第四區	勝	正憲(民)			第五區	田中
		第五區	田中	亮一(政)			第六區	佐賀
		第六區	佐賀	縣			第七區	池田
		第七區	池田	秀雄(民)			第八區	石川
		第八區	石川	又八(政)			第九區	池田
		第九區	池田	秀雄(民)			第十區	池田
		第十區	池田	秀雄(民)				

新聞一覽

東京朝日新聞	東京	神戸又新日報	神戸
東京日日新聞	東京	神戸新聞	神戸
報知新聞	東京	ザ・ジャパン	神戸
時事新聞	東京	クロナクル	神戸
國民新聞	東京	神戸ヘラルド	神戸
中外商業新聞	東京	中國新聞	廣島
都新聞	東京	藝備日日新聞	廣島
ジャパン	東京	廣島毎日新聞	廣島
タイムス	東京	福岡日日新聞	福岡
ジャパン	東京	九州日報	福岡
アドヴァタイザ	東京	長崎日日新聞	長崎
大阪朝日新聞	大阪	長崎新聞	長崎
大阪毎日新聞	大阪	長崎民友新聞	長崎
大阪時事新聞	大阪	函館毎日新聞	函館
夕刊大阪新聞	大阪	函館新聞	函館
英文大阪毎日	大阪	函館日日新聞	函館
京都日日新聞	京都	吳日日新聞	吳
京都日日新聞	京都	吳新聞	吳
名古屋新聞	名古屋	河北新聞	仙台
名古屋新聞	名古屋	仙台日日新聞	仙台

會社一覽

資本金單位
百萬圓

會社名	所在地	代表者	資本金
南滿洲鐵道	大連	林 博太郎	四四〇
東京電燈	東京	誠之助	四三〇
三井 合名	東京	三井八郎右衛門	三〇〇
大同 電力	東京	增田 次郎	一七六
住友 合資	大阪	住友吉左衛門	一五〇
東邦 電力	東京	松永安左衛門	一三〇
日本 電力	大阪	池尾 芳藏	一一二
三菱 合資	東京	岩崎小彌太	一一〇
淺野セメント	東京	淺野總一郎	一〇六
日本 郵船	東京	各務 鎌吉	一〇六
大阪 商船	大阪	堀 啓次郎	一〇〇
東京 瓦斯	東京	堀 啓次郎	一〇〇
阪神電氣鐵道	大阪	堀 啓次郎	一〇〇
三井 物產	東京	三井守之助	一〇〇
三井 礦業	東京	三井元之助	一〇〇
三井 礦業	東京	三井 一二	一〇〇
京阪電氣鐵道	大阪	太田 光熙	九四
宇治川電氣	大阪	林 安繁	九三
川崎造船所	神戶	野口 達	九〇
日本窒素肥料	神戶	野口 達	九〇
九州水力電氣	東京	麻生 大吉	八六
日本 石油	東京	橋本圭三郎	八〇
大日本麥酒	東京	馬越 恭平	八〇
日本 產業	東京	鮎川 義介	七五
合同 電力	津	太田 光熙	七二
北海道炭礦汽船	東京	磯村豐太郎	七〇
南海 鐵道	大阪	岡田 意一	七〇
矢作 水力	名古屋	福澤 駒吉	六九
王子 製紙	東京	藤原銀次郎	六五
東洋 紡績	大阪	阿部房次郎	六五
臺灣 製糖	台灣	武智 直道	六三
錦湖 紡績	東京	津田 信吾	六〇
廣島 電氣	廣島	守屋 義之	六〇
北海道電燈	東京	大川平三郎	五五
朝鮮 鐵道	京城	大川平三郎	五五
日魯 漁業	東京	窪田 四郎	五四
片倉製絲紡績	東京	片倉兼四郎	五三
京都 電燈	京都	田中 博	五二
大日本紡績	兵庫	菊池 恭三	五二
大日本製糖	東京	藤山 雷太	五一
大阪 瓦斯	東京	片岡 直方	五一
東武 鐵道	東京	根津嘉一郎	五一
大倉組合名	東京	大倉喜七郎	五〇
日本 毛織	神戶	川西清兵衛	五〇
九州電氣鐵道	小倉	大田黑重五郎	五〇
東洋 拓殖	東京	高山 長幸	五〇
三菱 造船	東京	斯波孝四郎	五〇
淺野 造船	橫濱	淺野總一郎	五〇
日本 鑛業	東京	鮎川 義介	五〇
明治 製糖	台灣	相馬 半治	四八
富士瓦斯紡績	東京	日比谷平左衛門	四六
大日本製水	東京	和合英太郎	三六
三井 越	東京	小田久太郎	三〇
野田 醬油	千葉	茂木七左衛門	三〇
帝國人造絹絲	大阪	佐藤 法潤	二二
日清 汽船	東京	深尾隆太郎	一六
國際 通運	東京	中野金次郎	一六
芝浦製作所	東京	平田篤次郎	一〇
森永 製菓	東京	森永太一郎	一〇
服部時計店	東京	服部金太郎	一〇
ヤマサ醬油	千葉	濱口儀兵衛	一〇
松坂 屋	名古屋	伊藤次郎左衛門	一一

銀行一覽

資本金單位
百萬圓

銀行名	所在地	代表者	資本金
安田	東京	頭取 安田善次郎	一五〇
日本勸業	東京	總裁 馬場 漢一	一〇九
橫濱正金	東京	頭取 兒玉 謙次	一〇〇
三井	東京	社長 三井源右衛門	一〇〇
三菱	東京	會長 串田 萬藏	一〇〇
住友	大阪	會長 八代 則彦	七〇
日本	東京	總裁 土方 久徵	六〇
第一	東京	頭取 石井 健吾	五八
三十四	大阪	頭取 菊池 恭三	五二
日本興業	東京	總裁 結城豐太郎	五〇
山口	大阪	社長 山口吉郎兵衛	五〇
朝鮮	京城	總裁 加藤敬三郎	四〇
川崎第百	東京	頭取 星埜 章	三四
朝鮮殖産	京城	頭取 有賀 光豐	三〇
十二	富山	中田清兵衛	二二
名古屋	名古屋	頭取 恒川小三郎	二二
十五	東京	頭取 西野 元	二〇
北海道拓殖	札幌	頭取 松本 脩	二〇
神戶岡崎	神戶	岡崎 忠雄	二〇
藝備	廣島	頭取 塩川三四郎	一八
日本信託	大阪	常務 車谷馬太郎	一八
三十八	姫路	伊藤長次郎	一七
第四	新潟	白勢 春三	一六
十八	長崎	松田 精一	一五
愛知	名古屋	頭取 渡邊 義郎	一五
臺灣	台北	頭取 島田 茂	一五
中國	岡山	頭取 大原孫三郎	一五
明治	名古屋	取締役 富田 重助	一四
八十二	長野	小林 暢	一三
高松百十四	高松	專務 中村新太郎	一三
六十九	長岡	長部松三郎	一三
四國	高知	安田善兵衛	一二
正隆	大連	安田善四郎	一二
高岡	高岡	木津太郎平	一一
第五十九	弘前	宇野 勇作	一一
五十	茨城	堤 定次郎	一一
加能合同	金澤	米谷 半平	一一
常盤	水戸	江幡 新	一一
第十	甲府	細田 武雄	一〇
第四百七十七	鹿兒島	湯地 定敏	一〇
松江	松江	絲原武太郎	一〇
十七	福岡	安田善兵衛	一〇
各種團體			
全國町村長會		會長 福澤 泰江	一〇
東京市政調查會		會長 阪谷 芳郎	一〇
帝國在鄉軍人會		會長 鈴木 莊六	一〇
帝國在鄉軍人會		會長 杉山 元	一〇
帝國軍人後援會		會長 清浦 奎吾	一〇
東京水交社		會長 大角 岑生	一〇
國民防空協會		會長 藤村 義朗	一〇
國際聯盟協會		會長 石井 菊太郎	一〇
太平洋問題調查會		理事長 新渡 戶 稻造	一〇

日華學會 會長 細川 護立
 日英協會 會長 リンドレー
 日佛協會 總裁 開院宮載仁親王殿下
 日獨協會 會長 佐多 愛彦
 日米協會 會長 徳川 家達
 日露協會 會長 齋藤 實
 日伊文化協會 副會長 正木 直彦
 協調會 會長 徳川 家達
 日本海員組合 組合長 濱田國太郎
 帝國農會 會長 牧野 忠篤
 帝國馬匹協會 會長 松平 頼壽
 帝國飛行協會 會長 阪谷 芳郎
 日本學生航空聯盟 會長 松永 武吉
 國寶保存會 會長 細川 護立
 丁西倫理會 幹事 大島 正徳
 日本ローマ字會 會長 田中館愛橘
 東亞同文會 會長 牧野 伸顯
 學士會 理事長 阪谷 芳郎
 理化學研究所 總裁 伏見宮博恭王殿下
 帝國發明協會 所長 大河内正敏
 傳染病研究所 會長 阪谷 芳郎
 北里研究所 代表 長與 又郎
 所長 北島 多一

日本赤十字社 社長 徳川 家達
 國士館 館長 柴田徳次郎
 少年團日本聯盟 理事長 二荒 芳徳
 日本幼稚園協會 主幹 倉橋 惣三
 東京基督教青年會 理事長 長尾 半平
 大日本聯合青年團 理事長 後藤 文夫
 聖德太子奉贊會 總裁 久邇宮朝融王殿下
 同潤會 理事 宮澤小五郎
 濟生會 理事長 馬淵銳太郎
 廢病院 院長 原田 武
 構造社 代表者 日名子實三
 春陽會 代表 足立源一郎
 青龍社 主宰 川端 龍子
 帝國美術院 院長 正木 直彦
 二科會 代表 有島 生馬
 日本美術院 代表 横山 大觀
 愛國婦人會 會長 本野 久子
 至誠會 會長 吉岡 彌生
 大日本體育協會 會長 岸 清一
 副會長 平沼 亮三
 明治神宮體育會 名譽會長 嘉納治五郎
 全日本陸上競技聯盟 會長 阪谷 芳郎
 會長 平沼 亮三

副會長 山本 忠興
 日本學生陸上競技聯盟會長 山本 忠興
 東京大學野球聯盟 副會長 平沼 亮三
 日本水上競技聯盟 會長 末廣巖太郎
 講道館 館長 嘉納治五郎
 大日本相撲協會 會長 尾野 實信
 大日本相撲聯盟 理事 大ノ里萬助
 大日本新興力士團副理事長 天龍 三郎
 日本拳闘俱樂部 會長 渡邊勇次郎
 帝國拳闘會 會長 田邊 宗英
 日本山岳會 會長 小島 久太
 日本乘馬協會 會長 松平 頼壽
 日本交響樂協會 會長 山田 耕筰
 新交響樂團 代表 近衛 秀麿
 陸軍戸山學校軍樂隊 樂長 伊藤 隆一
 海軍軍樂隊 樂長
 日本ハーマニカ協會 會長 川口 章吾
 宮田ハーマニカ・バンド會長宮田 東峰
 東京合唱團 指揮 近衛 秀麿
 ジャパン・ツォリスト・ピュロー
 日本將棋聯盟 會長 久保田敬一
 日本棋院 會長 關根金次郎
 總裁 牧野 伸顯

現代人名簿

ア

安達 謙藏 代議士、國民同盟黨首、
 元内務大臣
 安部 磯雄 代議士、社會大衆黨中央
 執行委員長
 安邊 浩 日本航空輸送會社航空主
 任、日本最初の訪歐飛行操縦士
 安保 清種(男爵) 軍事參議官、海軍
 大將、元海軍大臣
 安藤 正純 代議士
 安藤 幸 ビアニスト
 阿部 信行 台灣軍司令官、陸軍中將
 青木 信光(子爵) 貴族院議員
 赤松 克麿 日本國家社會黨々務長
 縣 忍 大阪府知事
 秋田 清 衆議院議長
 麻生 久 辯護士、社會大衆黨書記長
 淺野總一郎 淺野セメント社長
 淺野 長勳 貴族院議員、舊安藝藩主
 淺原 健三 全國勞農大衆黨中央執行

委員

朝倉 文夫 彫刻家東京美術學校教授
 東 武 代議士、政友會總務
 姉崎 正治 文學博士、東京帝大教授
 帝國學士院幹事
 天津 乙女 寶塚少女歌劇學校教授
 天野喜久代 聲樂家
 荒井賢太郎 樞密顧問官、會計検査官
 荒木 貞夫 陸軍大臣、陸軍中將
 荒木 十蔵 日本畫家帝國美術院會員
 荒木實三郎 醫學博士、學習院長
 有馬 生馬(正生馬) 文士、洋畫家
 有田 八郎 外務次官
 有馬 頼寧(伯爵) 農林政務次官、貴
 族院議員
 有馬 夏橘 樞密顧問官、明治神宮々
 司、在郷海軍大將
 有吉 明 駐支全權公使
 栗屋 謙 文部次官、維新史料編纂
 事務局長

イ

井川 洗屋 日本畫家
 井上幾太郎 軍事參議官、陸軍大將
 井上總花坊 川柳作家、「川柳」主宰
 井上哲次郎 文博、東京帝大名譽教授
 井上 日光 日蓮宗本山本門寺貫首
 井上 秀子 日本女子大學校長
 井上 正夫 俳優
 井上 通泰 醫博、宮中顧問官、歌人
 伊東 深水 貴族院議員、元東京市長
 伊東 忠太 工博、早大教授、帝國學
 士院會員
 伊東已代治(伯爵) 樞密顧問官
 伊藤 述史 法博、大使館參事官、國
 際聯盟帝國事務局事務次長
 伊藤仁太郎(痴遊) 代議士、講談及著
 述家
 伊藤 道雄 舞踊家
 伊庭 孝 文士、音樂評論家
 五十嵐 力 文博、早大教授
 飯村 昌子 東京文華高女卒水泳選手
 池上 秀歌 日本畫家
 池崎 忠孝 著述家

池田 成彬 三井合名理事
池部 鈞 洋畫家、漫畫家
石井菊次郎(子爵) 樞密顧問官 元外務大臣
石井 小瀨 舞踊家
石井 鶴三 洋畫家
石井 柏亭 洋畫家、東京帝大講師
石井 漢 石井漢舞踊研究所長
石川 武美 主婦之友社長
石川千代松 理博、帝國學士院會員
石川 寅治 洋畫家、帝展審査員
石黒 忠恵(子爵) 樞密顧問官
石郷岡岩男 東京控訴院檢察
石塚 英藏 貴族院議員、民政黨顧問
石原 純 理博、歌人
一本喜徳郎 法博、宮内大臣、帝國學士院會員
一條 實孝(公爵) 貴族院議員
市川右太衛門 右太衛門プロダクション主宰
市川右團次 歌舞伎俳優
市川猿之助 歌舞伎俳優
市川 源三 東京府立第一高女校長
市川左團次 歌舞伎俳優
市川 松蔭 歌舞伎俳優
市川壽美藏 歌舞伎俳優
市川 中車 歌舞伎俳優

市川八百藏 歌舞伎俳優
市河 三喜 文博、東京帝大教授
市來 乙彦 貴族院議員、元東京市長
市村羽左衛門 歌舞伎俳優
泉 鏡花 作家
稻畑勝太郎 貴族院議員、大阪商工會
議所會頭、日露日暹各貿易協會々々長
犬養 健 代議士、故犬養首相長男
犬丸 徹三 帝國ホテル總支配人
今井 邦子 歌人代議士今井健彦氏夫人
今井田清徳 朝鮮總督府政務總監
今村 嘉吉 軍事畫家、陸軍歩兵少佐
今村 明恒 理博、東京帝大教授、帝國學士院會員、地震學の權威
今村信次郎 舞鶴要港部司令官海軍中將
今村力三郎 辯護士
入江たか子 映畫女優
入江 爲守(子爵) 皇太后大夫兼御歌
所長
入江 稔夫 四百米背泳世界記録保持者、早大第一高等學院在學中
入澤 達吉 醫博、前侍醫頭
入間川七五郎 大日本相撲協會理事
岩切 重雄 商工政務次官、代議士
岩崎小彌太(男爵) 三菱合資社長

岩崎 清七 實業家
岩崎彦彌太 三菱合資副社長
岩崎 久彌(男爵) 三菱銀行取締役
岩田專太郎 挿繪畫家
岩原 謙三 日本放送協會會長
巖谷 小波 童話家、文部省囑託

宇垣 一成 朝鮮總督、在郷陸軍大將
鶴澤 總明 法博、貴族院議員、第一東京辯護士會長、辯護士
上田 萬年 文博、貴族院議員、帝國學士院會員
上原 勇作(子爵) 元帥陸軍大將
植田 鎌吉 參謀本部附、陸軍中將、上海派遣軍司令官として活躍された
植原悦二郎 衆議院副議長政友會顧問
植松 練磨 海軍潜水學校長、海軍少將
上海事變當時陸戰隊總指揮として活躍
牛塚虎太郎 元東京府知事
牛原 虛彦 映畫撮影監督
潮 惠之助 内務次官、貴族院議員
歌澤 芝金 歌澤家元
歌澤芝勢以 歌澤家元
歌澤寅右衛門 歌澤寅派家元

オ

内田 榮一 パリトン歌手
内田 嘉吉 貴族院議員、日本無線電
信社長
内田 康哉(伯爵) 貴族院議員、外務
大臣、元滿鐵總裁
内田 夏平 大日本生産黨總裁
梅村 蓉子 映畫女優

江口 定條 貴族院議員前滿鐵副總裁
江戸川亂歩 探偵小説作家
海老名正 基督教の長老
遠藤 隆吉 文博、巢鴨學園總裁

小笠原長生(子爵) 宮中顧問官、在郷
海軍中將、著述家
小笠原長幹(伯爵) 貴族院議員
小川 芋錢 日本畫家
小川 郷太郎 法博、代議士、民政黨顧問
小川 琢治 理博、帝國學士院會員、
地質地理學の權威
小川 平吉 代議士、政友會顧問
小倉金之助 理博塩見理化學研究所長
小倉 末子 ビアニスト音楽學校教授

小野塚喜平次 法博、東京帝大總長、
貴族院議員、學士院會員
小橋 西吉 獨逸駐劄特命全權大使
小原 直 東京控訴院長
尾佐竹 猛 法博、大審院判事、明治
維新史研究者
尾崎 行雄 代議士、普選功勞者
尾竹 國觀 日本畫家
尾竹 竹波 日本畫家
尾野 實信 在郷陸軍大將、大日本相
撲協會會長
尾上 菊枝 歌舞伎女優、日本最初の女名題
尾上菊五郎 歌舞伎俳優、日本俳優學
校長
尾上 八郎(柴舟) 文博、東京女高師
早大教授、歌人
尾上 梅幸 歌舞伎俳優
織田 幹雄 早大卒、陸上競技選手
大岩 勇夫 名古屋市長
大江 スミ 東京家政學院長、東京家
政專門學校長
大川 周明 法博、東亞經濟調查局理
事長
大口 喜六 代議士、政友會顧問
大隈 信常(侯爵) 貴族院議員、早大名譽

總長、故重信侯の嗣
大倉喜七郎(男爵) 大倉組頭取
大河内傳次郎 日活俳優
大河内正敏(子爵) 工博、理化學研究所長
大迫 尚道 在郷陸軍大將
大佛 次郎 文士
大島 鎌吉 陸上競技選手關大在學中
大角 岑生 軍事參議官、海軍大將
大竹 貫一 代議士
大谷 光昭(伯爵) 眞宗本願寺派管長
大谷 光瑞 本願寺派保攝光壽會總裁
大谷 光暢(伯爵) 眞宗大谷派管長
大谷 尊由 貴族院議員、著述家
大谷竹次郎 松竹興業社長
大谷友右衛門 歌舞伎俳優
大辻 司郎 漫談家
大妻コタカ 大妻學院理事長、東京和
洋裁縫學校長
大西 一郎 横濱市
大ノ里萬助 大日本相撲聯盟A級力士
大庭 二郎 在郷陸軍大將
大橋新太郎 貴族院議員
大橋 忠一 滿洲國外交部次長
大山 郁夫 著述家、評論家
大山 柏 (公爵) 貴族院議員、考古

エ

ウ

學研究家、故大山元帥嗣子

大類 伸 文博東北帝大教授史學家
岡 實 法博、大阪毎日新聞社副社長
岡崎 邦輔 貴族院議員、政友會顧問
岡田朝太郎 法博、明大教授
岡田 啓介 海軍大臣、海軍大將
岡田三郎助 洋畫家、帝國美術院會員
東京美術學校教授

岡田 武松 理博、中央氣象局長
岡田 嘉子 映畫女優
岡田 夏平 樞密顧問官
岡本 一平 漫畫家
岡本 綺堂 劇作家
奧 じめお 婦人社會運動家

カ

カンドレット・恒 日本基督教婦人矯風會副會頭
加藤 咄堂 東洋大學教授、著述家
加藤 寛治 軍事參議官、海軍大將
賀川 豊彦 著述家
嘉悅 孝子 日本女子高等商業學校校長
嘉納治五郎 貴族院議員、講道館長
香取 秀眞 鑄金家、帝國美術院會員
各務 鎌吉 貴族院議員、日本郵船社長
春日野守也 大日本相撲協會理事

片岡千惠藏 俳優、千惠藏プロ主宰
片岡仁左衛門 歌舞伎俳優
片岡 弓八 東京潜水工業取締役、八
阪丸金塊引上に成功した
金子堅太郎(子爵) 樞密顧問官、維新
史料編纂會總裁
金子 元臣 歌人、宮内省御歌所寄人
金杉英五郎 醫博、貴族院議員、慈惠
會醫科大學長
金谷 範三 軍事參議官、陸軍大將、
前參謀總長
樺山 愛輔(伯爵) 貴族院議員
樺山 資英 貴族院議員
鑄木 清方 日本畫家、美術院會員
鑄田 榮吉 樞密顧問官
上山 草人 映畫俳優
上山滿之進 貴族院議員
龜井貫一郎 代議士、社會民衆黨中央
執行委員
川合 玉堂 美術學校教授、帝室技藝
員、美術院會員
川崎 卓吉 貴族院議員
川田 芳子 映畫女優
川端 玉雲 日本畫家、川端畫學校主幹
川端 龍子 日本畫家、青龍社主宰

キ

川村 竹治 貴族院議員、政友會顧問
川村 曼舟 日本畫家
河合 武雄 俳優
河合 操 樞密顧問官在郷陸軍大將
河上 肇 法博、評論家
觀世 左近 觀世流宗家
木村久彌彌太 三菱合資總理事
木村 莊八 洋畫家
木村 武山 日本畫家
紀平 正美 文博、學習院高等科長
喜多村謙郎 俳優
菊池 寛 劇作家、「文藝春秋」主宰
文壇の大御所と云はれる
菊池 契月 日本畫家、美術院會員、
京都繪畫專門學校校長、京都市藝學校長
岸 清一 法博、貴族院議員、辯護
士、大日本體育協會會長
北 吟吉 帝國美術學校校長、著述家
北澤 樂天 漫畫家
北野 元峰 曹洞宗管長、永平寺貫首
北原 白秋 詩人
北村一小松 劇作家、松竹蒲田撮影所員

北村 西望 彫刻家、東京美術學校教授
杵屋 佐吉 長唄家元
稀音家六四郎 長唄家元
衣笠貞之助 松竹キネマ監督
清浦 奎吾(伯爵) 前官禮遇(總理大臣)
帝國軍人後援會會長、
清瀬 一郎 法博、代議士、辯護士
清元 梅吉 清元家元
清元延壽太夫 清元家元

ク

九條 道實(公府) 掌典長、貴族院議員
久邇 邦久(侯爵) 故久邇宮邦彦王第
二子、貴族院議員、陸軍歩兵中尉
久原房之助 代議士、政友會筆頭總務
久布白落實 基督教婦人矯風會理事
久保田 讓(男爵) 樞密顧問官
久米 正雄 劇作家
久留島武彦 童話家、早蕨幼稚園長
串田 萬藏 三菱銀行取締役會長
國富 信一 中央氣象台技師
窪田 空穂 早大教授、歌人
倉田 白羊 洋畫家、春陽會々員
倉田 百三 文士
倉富勇三郎 法博、樞密院議長

栗島すみ子 松竹キネマ女優
黒板 勝美 文博、東京帝大教授
黒澤 貞子 ソプラノ歌手
黒田 チカ 理博、東京女高師教授、
べに色素の研究家
黒田 長成(侯爵) 樞密顧問官、貴族
院議員
桑木 殿翼 文博、東京帝大教授、學
士院會員

コ

小泉策太郎 前代議士
小泉又次郎 代議士、民政黨顧問、元
逓信大臣
小磯 國昭 關東軍參謀長、陸軍中將
小島 烏水 山岳研究家
小杉 天外 文士
小杉 未醒 洋畫家、春陽會々員
小林 一三 阪急電鐵社長
小林 古徑 日本畫家
小林 廣造 第一艦隊司令長官兼聯合
艦隊司令長官、海軍中將
小林富次郎 ライオン齒磨社長
小林 萬吾 洋畫家、東京美術學校教
授、帝展審査員

小松 耕輔 作曲家
小室 翠雲 日本畫家、美術院會員
小山 松吉 司法大臣、法政大學々監
小山 松壽 代議士、民政黨幹事長
見玉 謙次 橫濱正金銀行頭取
見玉 秀雄(伯爵) 貴族院議員、故兒
玉源太郎大將嗣子
古在 由直 農博、帝國學士院會員、
元東京帝大總長
幸田 延子 ピアニスト
幸田 露伴(成行) 文博、學士院會員
河野 通勢 洋畫家、國畫會員
高 勇吉 セロ演奏家
鴻池善右衛門(男爵) 鴻池銀行社長
郷 誠之助(男爵) 貴族院議員、日本
及東京商工會議所會頭、東京電燈社長
駒井 重次 代議士、日本大學講師
駒井 徳三 滿洲國參議、滿洲建國の
元勳、元總務長官
近衛 秀麿(子爵) 貴族院議員、作曲
家、新交響樂團主宰
近衛 文麿(公府) 貴族院副議長
金光 家邦 金光教々主、金光教管長

サ

左近司政三

佐世保鎮守府司令長官、

海軍中將

佐々木信綱 文博、歌人、萬葉研究家

佐々木邦

諧謔小説家

佐藤 紅緑

文士

佐藤 三吉

醫學、貴族院議員、帝國

學士院會員

佐藤 昌介(男爵)

農博、北海道帝大名譽教授

佐藤 謙太郎

在郷海軍中將

佐藤 尙武

白耳義駐劄全權大使

佐藤 美子

ソプラノ歌手

佐野 善作

法博、東京商科大学長

佐伯 矩

醫學、榮養研究所長

西園寺公望(公爵)

大勳位、元老、臣

西條 八十

詩人、早大教授

齋藤 五百枝

洋畫家

齋藤 茂吉

醫學、青山腦病院長、歌人

齋藤 隆夫

內務政務次官、代議士

齋藤 實(子爵)

內閣總理大臣、在

郷海軍大將

阪田 三吉

將棋名人

阪谷 希一

滿洲國々務院總務廳長

阪谷 芳郎(男爵)

法博、貴族院議員

專修大學長、帝國發明帝國飛行協會長

堺 利彦

日本社會運動の元老、全

國勞農大衆黨顧問

櫻井 鏡二

理博、樞密顧問官、帝國

學士院長、學術研究會議々長

櫻井 忠温

著述家、在郷陸軍少將、

「肉弾」の著者

櫻内 幸雄

代議士、民政黨顧問

笹川 種郎(臨風)

文博、東洋駒澤各

大學教授、京北中學京北實業各校長

笹川 良一

國粹大衆黨總裁

指原 乙子

東京女子割烹學校長

澤田 謙

傳記作者

澤田 節藏

全權公使、國際聯盟帝國

事務局局長

澤村 宗十郎

歌舞伎俳優

三條西實義(公爵)

神宮大官司

斯波忠三郎(男爵)

工博、貴族院議員

東京帝大教授、航空研究所長

塩谷 温

文博、東京帝大教授、漢

學の權威

重光 葵

全權公使、上海事變當時

の駐支公使

實川 延若

歌舞伎俳優

幣原重郎(男爵)

貴族院議員、元外

務大臣

柴田善三郎

內閣書記官長

島崎 藤村(春樹)

作家

島田 俊雄

代議士、辯護士、政友會

顧問

清水 澄

法博、行政裁判所長官、

學士院會員

下條 康麿

經濟博、賞勳局總裁

下田 歌子

實踐女學校長

下村 宏

法博、朝日新聞社專務

正力松太郎

讀賣新聞社々長

松旭齋天勝(中井勝子)

奇術師

勝田 主計

貴族院議員

城 のぶ

神戸婦人同情會々長

白鳥 敏夫

外務省情報部長

眞保 正子

泉尾高女教諭、運動選手

新村 出

文博、京都市大教授、帝

國學士院會員、言語學者

水藤 錦積

錦琵琶宗家、天才的少女

琵琶家

末弘嚴太郎

法博、東京帝大教授

杉浦 非水

圖案畫家、七人社主宰

杉村陽太郎

法博、全權公使、國際聯

盟事務局次長

杉山元次郎

代議士、全國農民組合中

中央執行委員長、社會運動家

鈴木實太郎

侍從長兼樞密顧問官、在

郷海軍大將

鈴木喜三郎

法博、代議士、立憲政友

會總裁、元內務大臣

鈴木 莊六

在郷陸軍大將、帝國在郷

軍人會長、大日本武德會長

鈴木 孝雄

軍事參議官、陸軍大將

鈴木 傳明

不二映畫俳優

鈴木 寅彦

代議士、東京瓦斯社專務

鈴木富士彌

代議士、元內閣書記官長

鈴木 文治

日本農民組合總同盟會長

帝國勞働者代表

鈴木三重吉

文士

住友吉左衛門

住友合資社長

住吉 耕作

槍投及五種競技日本選手

權保持者

關 直彦

貴族院議員、辯護士

關 一

法博、大阪市長

關根金次郎

將棋名人、日本將棋聯盟

會長

關屋貞三郎

宮内次官

關屋 敏子

ソプラノ歌手

千 宗室

茶道師匠

千家 雄統(男爵)

出雲大社宮司

曾我廼家五郎

喜劇俳優

曾我廼家五九郎

喜劇俳優

相馬 孟胤(子爵)

式部官兼樂部長

タ

田川大吉郎

明治學院總理、元代議士

田代 重徳

滿洲國外交部總務司長

田中阿歌麿(子爵)

湖沼學者

田中 都吉

全權大使、元駐露大使

田中 智學

天業民報社長、國柱會名

譽總裁

田中 穂積

法博、早大總長

田中 光顯

維新史料編纂會顧問、明

田中 隆三

治天皇に奉仕した當時の宮内大臣、

代議士、民政黨顧問、元

文部大臣

田中 夏

洋畫家、挿繪畫家

田中館愛橘

理博、貴族院議員、東京

帝大名譽教授、學士院會員

田邊 至

洋畫家東京美術學校教授

田邊 尚雄

音樂研究家、國學院大學

教授

多門 二郎

第二師團長、陸軍中將、

滿洲事變に奮闘の名將

高石 勝男

水泳選手の主將

高木 正年

代議士、盲人

高橋順次郎

文博、東京帝大名譽教授

帝國學士院會員

高島平三郎

東洋大學教授、立正高女

校長

高島 米峰

著述家

高田義一郎

醫學、著述家

高田 早苗

法博、貴族院議員、帝國

學士院議員、元早大總長

高田せい子

高田舞踊研究所長

高田 保馬

文博、京都九州帝大教授

高野岩三郎

法博、大原社會問題研究

所長

高野佐三郎

武德會劍道範士

高橋 龜吉

著述家、全國勞農大衆黨

顧問

高橋 是清

大藏大臣、齋藤首相、山本内

相と共に、現内閣の三大支柱といはる

高橋 三吉 海軍々令部次長海軍中將
高峰 筑風 高峯琵琶宗家
高村 光雲 帝國美術院會員、帝室技藝員

高村光太郎 彫刻家、詩人
財部 彪 在郷海軍大將
瀧 正雄 外務政務次官、代議士
竹内 栖鳳 日本畫家、帝室技藝員、帝國美術院會員

竹越興三郎 貴族院議員
竹下 勇 在郷海軍大將
武井 武雄 童畫家
武島 羽衣 御歌所寄人
武富 時敏 貴族院議員
武富 敏彦 外務省通商局長
建川 美次 軍縮會議全權、陸軍少將
建島 大夢 彫刻家、東京美術學校教授、帝國美術院會員

立松 房子 ソプラノ歌手
棚橋 詢子 東京高女校長
棚橋源太郎 社會教育家
谷口 尚眞 軍事參議官、海軍大將、元海軍々令部長

鳥居 龍藏 文博、鳥居人類學研究所長、國學院大學教授、考古學の權威

ナ

奈良 武次 侍從武官長、陸軍大將
内藤 伸 彫刻家、帝國美術院會員
内藤虎次郎(湖南) 文博、帝國學士院會員

直木三十五 文士
中川 健藏 台灣總督
中里 介山 文士「大菩薩峠」著者
中澤 弘光 洋畫家、帝國美術院會員
中島久萬吉 商工大臣、貴族院議員
中島彌圓次 代議士、故濱口首相秘書
中野 正剛 代議士、國民同盟幹部
中橋徳五郎 代議士、政友會顧問、元内務大臣

中村歌右衛門 歌舞伎俳優
中村 岳陵 日本畫家
中村雁治郎 歌舞伎俳優
中村吉右衛門 歌舞伎俳優
中村 吉藏 早大教授、劇作家
中村 不折 洋畫家、帝國美術院會員
中村 福助 歌舞伎俳優
中山 晋平 作曲家

頼母木桂吉 代議士、民政黨顧問
玉錦三右衛門 大日本相撲協會大關
伊達 孫一 代議士、民政黨顧問
伊達源一郎 元ジヤパン・タイムス社長

チ

千葉 龜雄 評論家
千葉 胤明 宮内省御歌所寄人
津島 壽一 英佛兼米國駐劄財務官
塚本 清治 貴族院議員、元台灣總督
辻 順治 陸軍一等樂長、元陸軍戸山學校軍樂隊長、軍樂の權威

辻 善之助 文博、東京帝大教授
土田 夢遷 日本畫家
坪内 雄藏(道彦) 文博、早大名譽教授、劇作家、シエクスピア研究の權威
鶴田 義行 二百米平泳世界記録保持者
鶴見 祐輔 著述家、元代議士

出淵 勝次 米國駐劄全權大使
寺内 壽一(伯爵) 第四師團長、陸軍中將、故寺内元帥嗣子

寺内萬治郎 洋畫家
天龍 三郎 大日本相撲聯盟A級力士
土肥原賢二 歩兵第九旅團長、陸軍少將、滿洲事變に特務機關長として活躍
戸田 正三 醫博、京都帝大醫學部長
東郷平八郎(伯爵) 大勳位、元帥海軍大將、日本海大海戰の名將、帝國軍人の最高峰

頭山 滿 國士
堂本 印象 日本畫家、帝展審査員
常磐津文字太夫 常磐津家元
徳川 家達(公府) 貴族院議長、華族會館長、日本赤十字社長
徳川 家正 カナダ駐劄全權公使
徳川 好敏(男爵) 明野陸軍飛行學校長、陸軍少將、日本空軍建設の功勞者
徳川 義親(侯爵) 貴族院議員
徳富猪一郎(蘇峰) 貴族院議員、帝國學士院會員、著述家、愛國の熱血文豪

床次竹二郎 代議士、政友會顧問
富井 政章(男爵) 法博、樞密顧問官
帝國學士院第一部長
富田幸次郎 代議士、元民政黨幹事長

永井 郁子 ソプラノ歌手
永井 建子 在郷陸軍一等樂長、元戸山學校軍樂隊長、名軍歌「雪の進軍」の作者、日本軍樂建設の權威者
永井 亨 經濟博、日本大學教授
永井 潜 醫博、東京帝大教授
永井 松三 全權大使
永井柳太郎 拓務大臣、代議士、議會の雄辯家

永田秀次郎 貴族院議員、東京市長、拓殖大學長
永野 修身 海軍々令部出仕海軍中將
長尾 半平 日本國民禁酒同盟理事長
長岡 外史 在郷陸軍中將、國民飛行俱樂部理事長、航空界の功勞者
長岡 春一 法博、駐佛全權大使
長岡半太郎 理博、大阪帝大總長、帝國學士院會員

長岡隆一郎 貴族院議員
長田 幹彦 文士
長興 又郎 醫博、東京帝大教授兼傳染病研究所長
夏川 靜江 日活女優
南郷 忠平 三段跳世界記録保持者

二又ネ

ト

二階堂とくよ 日本女子体育學校校長
丹羽保次郎 工博、日本電氣技術部長
新渡戸稻造 法博、農博、貴族院議員
帝國學士院會員、大阪毎日新聞社顧問
額田 豊 醫博
沼田 頼輔 文博、紋章學研究家
根津嘉一郎 貴族院議員、實業家

野口 雨情 詩人
野口米次郎 慶大教授、詩人
野間 清治 大日本雄辯會講談社長、報知新聞社長
野村吉三郎 横須賀鎮守府司令長官、海軍中將、上海事變當時の第三艦隊司令長官
野村龍太郎 工博、錦鶏間祇候、東京地下鐵道社長
能代湯錦作 大日本相撲協會大關
昇 曙夢 著述家、ロシヤ文學者
乗杉 嘉壽 東京音楽學校長

ノ

羽仁もと子 自由學園長
橋本 關雪 日本畫家

ハ

橋本 獨山 臨濟宗相國寺派管長
 長谷川正五 工博、汽車製造社長
 長谷川如是閑 評論家
 秦 眞次 憲兵司令官、陸軍中將
 秦 豐助 代議士、政友會顧問
 八田 嘉明 貴族院議員、滿鐵副總裁
 蜂須賀正韶(侯爵) 貴族院議員
 服部宇之吉 文博、帝國學士院會員、
 國學院大學長
 服部金太郎 貴族院議員、服部時計店
 社長、時計王
 鳩山 一郎 文部大臣、代議士、政友
 會顧問
 鳩山 春子 共立女子專門學校長、一
 郎秀夫兩氏母堂
 鳩山 秀夫 法博、代議士、辯護士
 花柳 壽美 舞踊家
 花柳 珠實 舞踊家
 花柳 正直 元駐米全權大使
 演尾 四郎(子爵) 辯護士、著述家
 濱口儀兵衛 貴族院議員、ヤマサ醬油
 社長
 濱田 廣介 童話童謡作家
 早川 雪洲 俳優

林 歌子 大阪婦人ホーム理事長
 林 毅陸 法博、慶大總長
 林 權助(男爵) 式部長官
 林 銃十郎 教育總監兼軍事參議官、
 陸軍大將、滿洲事變突發當時の朝鮮軍
 司令官
 林 唯一 挿繪畫家
 林 博太郎(伯爵) 文博、貴族院議員
 滿鐵總裁、教育界の功勞者
 林 頼三郎 法博、檢事總長
 速水 御舟 日本畫家
 原 邦造 日本航空輸送社長
 原 脩次郎 民政黨顧問
 原 嘉道 法博、樞密顧問官、中央
 大學長
 馬場 鏗一 法博、貴族院議員、日本
 勸業銀行總裁
 馬場 恒吾 評論家、人物評論の第一
 人者
 阪東三津五郎 歌舞伎俳優
 阪東妻三郎 俳優、阪東プロダクショ
 ン主宰
 日高壯之丞(男爵) 在郷海軍大將

東伏見邦英(伯爵) 故久邇宮邦彦王第
 三子、皇后陛下の御弟、古美術研究家
 菱刈 隆 軍事參議官、陸軍大將
 土方 成美 經濟博、東京帝大教授
 土方 久徹 日本銀行總裁
 土方 寧 法博、貴族院議員、東京
 帝大名譽教授、帝國學士院會員
 百武 源吾 練習艦隊司令官海軍中將
 平井美奈子 ソプラノ歌手
 平田 晋策 軍事研究家、著述家
 平塚 廣義 台灣總督府總務長官
 平沼麒一郎(男爵) 法博、樞密院副議
 長、法制審議會總裁、日大總長
 平沼 淑郎 法博、早大商學部長
 平沼 亮三 大日本体育協會副會長、
 全日本陸上競技聯盟會長
 平福 百穂 日本畫家、東京美術學校
 教授、帝國學士院會員
 弘田龍太郎 作曲家
 廣田 弘毅 元駐露全權大使
 富士松加賀太夫 新内富士松正派家元
 富士松富士太夫 新内富士松東派家元
 深井 英五 日本銀行副總裁

福澤 桃介 實業家
 福永 恭助 著述家、在郷海軍少佐
 二木 謙三 醫博、東京帝大教授
 二荒 芳徳(伯爵) 貴族院議員、少年
 團日本聯盟理事長
 藤井 清水 作曲家
 藤井 浩祐 彫刻家
 藤澤幾之輔 貴族院議員
 藤澤利喜太郎 理博、貴族院議員、帝國
 學士院會員
 藤島 武二 洋畫家、東京美術學校教
 授、帝國美術院會員
 藤田 嗣治 洋畫家
 藤田 尚徳 海軍次官、海軍中將
 藤沼 庄平 警視總監
 藤原銀次郎 貴族院議員、王子製紙社
 長
 藤原 咲平 理博、中央氣象台技師兼
 東京帝大教授、お天氣博士といはる
 藤原 義江 テノール歌手
 藤村 作 文博、東京帝大教授
 藤村 義朗(男爵) 貴族院議員
 藤山 雷太 貴族院議員、實業家
 古市 公威(男爵) 工博、樞密顧問官
 東京帝大名譽教授、帝國學士院會員

古河虎之助(男爵) 實業家、古河合名社長
 ヘルトラメリ・能子 ソプラノ歌手
 帆足理一郎 早大教授
 穂積 重遠(男爵) 法博、東京帝大法
 學部長
 細川 護立(侯爵) 貴族院議員、國寶
 保存會々々長、國立公園協會長
 細木原青起 漫畫家
 細追 兼光 辯護士、社會運動家
 堀 七藏 東京女高師教授
 堀内 敏三 音樂批評家、東京中央放
 送局囑託
 堀内文治郎 帝國軍人後援會副會長、
 在郷陸軍中將
 堀切善次郎 法制局長官、元東京市長
 堀切善兵衛 大藏政務次官、代議士、
 政友會顧問、堀切法制局長官の兄
 堀田 正恒(伯爵) 海軍政務次官、貴
 族院議員
 本阿彌光遜 刀劍鑑定家
 本庄 繁 軍事參議官、陸軍中將、

滿洲事變當時の關東軍司令官、滿洲國
 の父と仰がる
 本多熊太郎 外交評論家、元全權大使
 本多光太郎 理博、東北帝大總長、金
 屬材料研究所長、帝國學士院會員
 本多 靜六 林博、東京帝大名譽教授
 帝國森林會長、日本庭園協會長
 本間 俊平 宗教家、著述家
 朴 春琴 代議士、相愛會副會長
 馬越 恭平 貴族院議員、大日本麥酒
 社長
 馬島 備 東京市會議員、社會民衆
 黨中央執行委員、労働者診療所長
 眞崎基三郎 參謀次長、陸軍中將
 米田 實 法博
 前川 千帆 漫畫家
 前田 利定(子爵) 貴族院議員、舊金
 澤藩主
 牧 逸馬(林不忘、谷讓次) 文士
 牧野 英一 法博、東京帝大教授、前
 大審院長
 牧野 伸顯(伯爵) 内大臣
 牧野元次郎 不動貯蓄銀行取締役頭取

橫 有恒 山岳研究家
正木 直彦 帝國美術院長、東京美術
學校名譽教授、元東京美術學校長
正木不如丘 醫博、富士見高原日光療
養所長、著述家

養所長、著述家

正富 汪洋 詩人

増田 義一 代議士、實業之日本社長

町田 經宇 在郷陸軍大將

町田 忠治 代議士、民政黨顧問、元
農林大臣

松井慶四郎(男爵) 貴族院議員

松居 松翁 劇作家

松岡 映丘 日本畫家、東京美術學校
教授、帝展審査員

松岡 洋右 代議士、國際聯盟派遣帝
國代表

松方幸次郎 日本毛織取締役

松田 源治 代議士、辯護士、民政黨
總務、元拓務大臣

松田 道一 法博、外務省條約局長

松平 恒雄 駐英全權大使

松平 賴壽(伯爵) 貴族院議員、帝國
馬匹協會會頭、本郷中學校長

松本幸四郎 歌舞伎俳優

松本 添治 法博、貴族院議員、帝國
學士院會員、辯護士、中央大學教授

丸山 鶴吉 貴族院議員、元警視總監

三浦謹之助 醫博、東京帝大名譽教授

三上 參次 文博、東京帝大名譽教授

三木 武吉 代議士、史學家

三木 露風 詩人

三島 邁陽(子爵) 貴族院議員、東京
聯合少年團理事長

三井源右衛門 三井銀行社長

三井八郎右衛門(男爵) 三井合名社長

三土 忠造 鐵道大臣、代議士、政友
會顧問

三宅雄二郎(雪嶺) 文博、文壇の元老

三輪田元道 三輪田高女校長

美濃部達吉 法博、貴族院議員、東京
帝大東京商大教授、帝國學士院會員

御木本幸吉 御木本眞珠店主、眞珠王

溝口 直亮(伯爵) 貴族院議員

道重 信教 淨土宗大本山増上寺住職
大僧正

水谷八重子 女優、藝術座主

水野 廣德 軍事評論家在郷海軍大佐

水野 鍊太郎 法博、貴族院議員、元文
部大臣

水町製袋六 法博、樞密顧問官

南 次郎 軍事參議官、陸軍大將、
元陸軍大臣

南 弘 遞信大臣、貴族院議員

南方 熊南 生物學土俗學研究者

宮尾しげを 漫畫家

宮川 美子 ソプラノ歌手

宮城 道雄 生田流箏曲家、新日本音
樂創始者

宮崎 輝子(柳原白蓮) 歌人

宮崎 龍介 辯護士、全國勞農大業黨
選舉部長

宮田 光雄 貴族院議員、元警視總監

武藏山 武 大日本相撲協會大關

武者小路公共(子爵) 瑞典駐劄全權公使
文士

武者小路實篤 實業家、時事新報社長

武藤 山治 滿洲國駐劄全權大使兼關
東軍司令官兼關東長官、陸軍大將

武藤 信義 滿洲國駐劄全權大使兼關
東軍司令官兼關東長官、陸軍大將

武藤 夜舟 軍事畫家、陸軍省新聞班
歩兵大尉

山梨 半造 在郷陸軍大將、元朝鮮總督

山室 軍平 救世軍日本司令官、救世
軍中將

山本 英輔 軍事參議官、海軍大將

山本 權兵衛(伯爵) 大勳位、在郷海軍
大將、海軍の元老

山本 条太郎 代議士、元滿鐵總裁

山本 忠興 工博、早大理工學部長、
運動界の世話役

山本 達雄(男爵) 內務大臣、貴族院
議員、民政黨顧問

山本 佛二郎 代議士、政友會顧問、元
農林大臣

山元 春舉 日本畫家、帝室技藝員、
帝國美術院會員

山脇 房子 山脇高女校長

湯淺 倉平 會計検査院長、元警視總監

遊佐 幸平 騎兵大佐、馬術の名手

結城 清太郎 滿洲國監察院總務處長

結城 素明 日本畫家、東京美術學校
教授、帝國美術院會員

結城 豐太郎 日本興業銀行總裁

八波 則吉 五高教授、作文家

矢澤 弦月 日本畫家

矢野 恒太 第一生命保險相互社長、
「國勢グラフ」主幹

安井 哲 東京女子大學長

安田善次郎 安田銀行頭取

柳澤 保惠(伯爵) 貴族院議員

柳家小さん 落語家

山岡萬之助 法博、元關東長官

山川 秀峰 日本畫家

山口 蓮春 日本畫家

山崎達之輔 代議士、政友會政務調査
會長

山崎 朝雲 彫刻家、帝國美術院會員

山下 理有 淨土宗管長、知恩院住職

大僧正

山田 耕祐 作曲家、日本交響樂協會
主宰

山田 わか 評論家

山邊 襄一 代議士

山中 峯太郎 著述家

山梨 勝之進 軍事參議官海軍大將

毛

村岡 花子 日本基督教婦人矯風會理
事、「家庭」主幹、ラヂオのおばさん

村上 潤六 文士

村山 龍平 貴族院議員、朝日新聞社
長

望月 圭介 代議士、政友會顧問、元
內務大臣

望月 日謙 日蓮宗總本山久遠寺法主

元田 肇 樞密顧問官、政友會顧問
元鐵道大臣

本居 長世 作曲家

本山 彦一 貴族院議員、大阪毎日東
京日日新聞社長、東亞調查會長

守屋 東 日本基督教婦人矯風會廢
酒部長

森 恪 代議士、政友會總務

森 卷吉 第一高等學校長

森 律子 女優

森下 博 仁丹本舖森下營業所主

森田 茂 京都市長

森田 草平 文士、法政大學教授

森永 太郎 森永製菓社長

門馬 直衛 音樂批評家

ヤ

八波 則吉 五高教授、作文家

矢澤 弦月 日本畫家

矢野 恒太 第一生命保險相互社長、
「國勢グラフ」主幹

安井 哲 東京女子大學長

安田善次郎 安田銀行頭取

柳澤 保惠(伯爵) 貴族院議員

柳家小さん 落語家

山岡萬之助 法博、元關東長官

山川 秀峰 日本畫家

山口 蓮春 日本畫家

山崎達之輔 代議士、政友會政務調査
會長

山崎 朝雲 彫刻家、帝國美術院會員

山下 理有 淨土宗管長、知恩院住職

大僧正

山田 耕祐 作曲家、日本交響樂協會
主宰

山田 わか 評論家

山邊 襄一 代議士

山中 峯太郎 著述家

山梨 勝之進 軍事參議官海軍大將

ユ

湯淺 倉平 會計検査院長、元警視總監

遊佐 幸平 騎兵大佐、馬術の名手

結城 清太郎 滿洲國監察院總務處長

結城 素明 日本畫家、東京美術學校
教授、帝國美術院會員

結城 豐太郎 日本興業銀行總裁

八波 則吉 五高教授、作文家

矢澤 弦月 日本畫家

矢野 恒太 第一生命保險相互社長、
「國勢グラフ」主幹

安井 哲 東京女子大學長

安田善次郎 安田銀行頭取

柳澤 保惠(伯爵) 貴族院議員

柳家小さん 落語家

山岡萬之助 法博、元關東長官

山川 秀峰 日本畫家

山口 蓮春 日本畫家

山崎達之輔 代議士、政友會政務調査
會長

山崎 朝雲 彫刻家、帝國美術院會員

山下 理有 淨土宗管長、知恩院住職

大僧正

山田 耕祐 作曲家、日本交響樂協會
主宰

山田 わか 評論家

山邊 襄一 代議士

山中 峯太郎 著述家

山梨 勝之進 軍事參議官海軍大將

水野 鍊太郎 法博、貴族院議員、元文
部大臣

水町製袋六 法博、樞密顧問官

南 次郎 軍事參議官、陸軍大將、
元陸軍大臣

南 弘 遞信大臣、貴族院議員

南方 熊南 生物學土俗學研究者

宮尾しげを 漫畫家

宮川 美子 ソプラノ歌手

宮城 道雄 生田流箏曲家、新日本音
樂創始者

宮崎 輝子(柳原白蓮) 歌人

三

四家 文字 聲樂家
興謝野昌子 歌人、文化學院女學部長
寛氏夫人
興謝野 寛(維幹) 歌人、慶大講師
横田 秀雄 法博、明治大學々長、帝國學士院會員、元大審院長
横山 大觀 日本畫家、日本美術院代表、帝室技藝員、日本畫の權威
吉岡 郷南 東京女高師校長
吉岡 彌生 東京女子醫專校長、日本女醫會長、至誠會病院長
吉川 英治 文士
吉田伊三郎 トルコ駐劄全權大使
吉田 茂 元駐伊全權大使
吉田 靜致 文博、東京帝大教授兼東京文理科大教授、帝國學士院會員
吉田 晴風 尺八指南
吉野 作造 法博、著述家
吉屋 信子 女流作家
芳澤 謙吉 貴族院議員、元外務大臣
米川 正夫 陸軍大學校教官、著述家

四

六角 紫水 工藝家、東京美術學校教授、帝展審査員
横山 政道 東京帝大教授
和田 英作 東京美術學校校長、帝國美術院會員

世界人名簿

(昭和七年十一月現在)

アインシュタイン(アルベルト) 獨逸生れ。相對性原理を完成。五十四歳
アダムス(チャールズ・フランシス) 米國海軍卿、六十七歳
アドルフ(グスタフ) 瑞典國皇太子考古學に御造詣深く曾て日本にも御來朝。御年五十一歳
アルフォンソ十三世 前西班牙國王一九三二年四月革命に亡命、現在佛蘭西に御滞在中。御年四十七歳
アルペール陛下 白耳義國王。世界大戰の難局に活躍。御年五十七歳

和田 三造 洋畫家、帝國美術院會員
和仁 貞吉 法博、大審院長
若尾 璋八 貴族院議員、實業家
若槻禮次郎(男爵) 貴族院議員、立憲民政黨總裁
渡邊 千冬(子爵) 貴族院議員、元司法大臣部長、陸軍大將
渡邊 千冬(子爵) 貴族院議員、元司法大臣部長、陸軍大將

エ

エッケナ博士(フリーゴ) 獨人。
イエーツ 英國詩人。六十八歳
ウエルズ(エイチ・チー) 英國文豪思想家、文明批評家。六十七歳
ウイルクンス大尉(ジョージ・ハーヴアード) 濠洲飛行家、探險家。一九三二年潜水艦ノーチラス號で北極探險を企てた。四十五歳

ケ

ケマル・パシヤ(ムスタファ) トルコ大統領。五十二歳
ケロツグ(フランク) 米國元國務卿不戰條約締結の功勞者。七十七歳
ゲーリング(ラインハルト) 獨逸劇作家。

コ

コツシエ 佛蘭西庭球選手。
コスト(ヂウドンネ) 佛國飛行家。直線無着陸記録(九〇五料)の保持者
コテイ(フランソワ) 佛國香水王五十九歳
コロンタイ(アレクサンドラ・ミハイロウイチ) ソヴィエト聯邦の女流外交官、現在駐瑞典公使。六十一歳
ゴリキ(マキシム) ソヴィエト聯邦の文豪。六十五歳。

キ

キユーリー夫人 波蘭生。一八九八年夫君と協力してラヂウムを發見。現在ワルソー大學理學部長。六十六歳。
照 治 滿洲事變直後吉林に獨立宣言滿洲建國の中心人物現在吉林省長兼軍政部長。四十九歳。

ク

クローデル將軍(アンリ・エドワール) 佛國の聯盟支那調査委員。現在最高軍事參議員。六十二歳。
克蘭チ 伊太利外相。

オ

オースチン(エイチ・ダブリユ) 英國第一流の庭球選手
王 正 廷 民國の外交部長として活躍したが滿洲事變後辭任。五十二歳
汪 兆 銘 民國建設の功勞者、廣東派の首領、五十二歳

カ

カイゼル(ウエルヘルム) 元獨帝
カーチス(グレン) 米人。カーチス水上飛行機の發明者。五十五歳
カーチス(チャールズ)
米國副大統領。七十三歳
カラハン(レフ・ミハイロウイチ) ソヴィエト聯邦外務人民委員長(外務大臣) 四十四歳

サ

サイモン(サー・ジョン) 英外相。
サモラ(アルカラ) スペイン初代
大統領。五十六歳。
サンガー(マーガレット) 米國産
兒制限運動者。五十歳。

シ

シユトラウス(リヒアルド) 獨乙
の音楽家。六十九歳。
シユネー博士(アルバート・ヘルマン
・ハインリヒ) 獨逸の聯盟支那調査
委員。六十二歳
シヨ(ジョージ・バーナード)
英國評論家、劇作家。七十七歳
シヨージ五世 英國々王。御年六十
八歳
シンクレア(アプトン) 米國社會
主義創作家。五十五歳
施 肇 基 日支事變當時國際聯盟
の支那代表として活躍。現在駐英公使。
五十六歳
謝 介 石 滿洲國外交部總長。昭
和七年十月滿洲國承認答禮專使として來

朝。五十四歳

蔣 介 石 中華民國事實上の獨裁
者。四十八歳
蔣 作 實 駐日中華民國公使。五
十二歳
徐 世 昌 清滅亡後宣統帝の師傅
となり一九一八年大總統に就任。四年後
引退。七十八歳

ス

スターリン(ヨシフ・ウイサリオノウ
イチ) 全聯邦共產黨中央委員會書記
長。ロシアの獨裁官。五十四歳
スチムソン(ヘンリ・ルイス)
米國々務卿(總理大臣)。六十六歳
スノーデン(フイリツプ) 英國前
藏相。名政治家。六十九歳
セシル子爵(ロバート) 英國政治
家國際聯盟代表。六十九歳
石 友 三 中華民國將軍の一人。
三十八歳

セ

ソ

チ 元ソ聯邦外務人民委員長。六十
一歳
チャップリン(チャールス・スベンサ)
ロンドン生れ。米國映畫俳優。喜劇王。
一九三二年來朝した。五十二歳
張 學 良 故張作霖の長子。滿洲
に君臨してゐたが滿洲事變により北平に
あり。三十三歳
張 群 上海市長。四十五歳
趙 欣 伯 滿洲國立法院長。日本
法學博士。四十六歳
陳 友 仁 廣東政府の外交部長。
五十三歳
チルデン 米國庭球界の元老。

ドラモンド(エリック) 前國際聯
盟事務總長。五十七歳
トロツキー(レフ・ダウイドウイツチ)
ロシア革命に功勞があつたが反幹部運動
を起して國外に追放された。五十四歳
ハウプトマン(ゲルハルト) 獨逸
詩人、劇作家。七十一歳
ハースト(ウイリアム・ランドルフ)
米國の新聞王。排日家。七十歳
パトナム(アメリカ・イヤハート)
米國女流飛行家。一九三二年六月婦人單
獨大西洋横断飛行に成功した。三十四歳
パーベン(フランツ・フォン)
元獨逸首相。

ハ

テ 滿洲國交通部總長。四
十七歳
鄭 孝 胥 滿洲國々務總理。清朝
の忠臣。溥儀氏師傅七十四歳

ト

トリス(チャールス・ゲイツ)
米國の財政家。トリス賠償案の立案者。
現在米國金融復興會社々長。六十八歳

ヒ

ヒツギンズ(エドワード・ジョン)
英國生。救世軍總司官。
ヒットラー(アドルフ) 獨逸國民
社會黨々首。一九三二年ヒンデンブルグ
元帥と大統領を争ひ敗れた。五十二歳
ヒューズ(チャールス・エヴァンズ)
米國大審院長。元國務卿。七十一歳

ゾルフ(ウイルヘルム) 元駐日獨
逸大使。親日家。七十一歳

宋 慶 齡 故孫文未亡人。蔣介石
夫人宋美齡の姉。四十四歳
宋 子 文 宋慶齡の弟。國民黨主
腦部。四十三歳
孫 科 孫文の長子。財政家。
元行政院々長。廣東派。四十六歳
歐 式 毅 滿洲國奉天省長兼民政
部總長。四十九歳。建國の中心人物。

タ

タゴール 印度文豪。七十二歳
ダヌンチオ 伊太利文豪。熱血詩人。
七十歳
タルチュ(アンドレ) 佛國政界の
重鎮。元首相。五十七歳

チ

チエンパレン(サー・オースチン)
英國政治家。國璽尙書、下院議長、保守
黨總裁、外相等に歴任。七十歳
チエンパレン(サー・ネヴィル)
英國藏相。七十七歳
チチエリン(ゲオルグ・ワシリエウイ
ヒンデンブルグ元帥(パウ・フォン
獨逸大統領。八十六歳
ピウス十一世 ローマ法王。廿ヶ語
に通じてる程の語學者。七十六歳
ビーティ元帥(デヴィッド) 英國
大艦隊司令長官として世界大戦に参加し
北海海戦に勇名を轟かせた。六十二歳
馮 玉 祥 支那軍閥の一頭目。現
在北方に機を窺つてゐる。五十四歳

フ

フーヴァ(ハーバート・クラーク)
米國大統領。元鑛山技術家。五十九歳
フォード(ヘンリー) 米國フォード
自動車會社々長。自動車王。七十歳
ブリーニング(ハインリヒ)
元獨逸首相。四十八歳

薄

薄 儀 滿洲國執政。醇親王の
長子。清朝最後の皇帝(宣統帝)革命に
より退位。一九三二年(滿洲國大同元年)
三月滿洲建國と共に執政に推される。二十
八歳

ヘ

ベタン元帥 佛國陸軍元帥。ヴェル

各種學校一覽

ダンの要塞戦に勇名を馳せた。
ベルグソン(アンリ) 佛國哲學者
生命の哲學で有名である。七十四歳
ヘンダーソン(アーサー) 英國元
外相、労働黨在野派の重鎮。七十歳

ホ

ポアンカレ(レモーン) 元佛國
大統領。大政治家。七十二歳
ボラー(ウイリアム・エドガー)
米國上院外交委員長、政界の重鎮。六十
八歳

ポールドウイン(スタンリー)
英國樞密院議長。大政治家。六十六歳
ボンドファイルド女史(マーガレット)
元英國労働相。英國最初の婦人大臣。

マ

マクドナルド(ジェームス・ラムゼー)
英國首相。六十七歳
マサリック博士(トーマス) チェッ
コ・スロヴァキヤ大統領。八十三歳
マッコイ將軍(フランク) 米國の
聯盟支那調査委員。關東大震災の時救護
委員長として來朝。五十九歳

マルコニー(ガグリエルモ) 伊人
無線電信發明者。六十歳
マレスコッチ伯(アルドブランチニ)
伊國の聯盟支那調査委員。

ム

ムツソリーニ(ベニトー) 伊國首
相。ファッシスト首領。伊太利の獨裁政
治家。五十歳

メ

メーテルリンク 白耳義の文豪。
「青い鳥」の作者。七十一歳
梅蘭芳 中華民國一流の俳優。
四十歳

モ

モルガン(ジョン・ピアメント)
米國モルガン商會主。大富豪。六十六歳
モロトフ(ウイヤチエスラウ・ミハイ
ロウイチ) ソ聯邦人民委員會議長
(首相に當る)。四十三歳
ライト兄弟として有名な弟の方。飛行機
製作に成功した。六十二歳

ラヴァル(ビエール) 佛國元首相
四十七歳

リ

リッケルト(ハインリッヒ) 獨逸
哲學者。七十歳

リットン卿 英國外交官、詩人。聯
盟支那調査委員長。五十七歳

リンドバーグ(チャールズ・オーガス
タス) 米國陸軍飛行大佐。一九二七
年始めて大西洋横断に成功。三十一歳

ル

ルーズヴェルト(フランクリン)
一九三二年十一月米國大統領改選に次期
大統領に當選三三年(昭和八年)三月第卅
二代合衆國大統領に就任する。五十二歳

ロ

ロイド・ジョージ(デヴィッド)
英國の大政治家。自由黨首領。七十歳
ロックフェラー(ジョン) 米國の大
富豪。學術を奨励してゐる。九十四歳
ロマン・ローラン 佛國文豪。現代一
流の思想家且文明批評家。六十七歳

帝國大學

東京帝國大學 東京市本郷區本富士町
總長 小野塚 喜平次
法學部 長 穂積 重遠
醫學部 長 林 春雄
工學部 長 田中 芳雄
文學部 長 宇野 哲人
理學部 長 松原 行人
農學部 長 麻生 慶次郎
(農學部—東京市目黒區)
經濟學部 長 森 莊三郎
京都帝國大學 京都市左京區吉田町
總長 新城 新藏
法學部 長 宮本 英雄
醫學部 長 戸田 正三
工學部 長 本野 亨
文學部 長 羽田 亨
理學部 長 西内 貞吉
經濟學部 長 佐藤 彌太郎
農學部 長 佐藤 彌太郎

東北帝國大學

仙臺市片平町
總長 本多 光太郎
理學部 長 小林 巖
醫學部 長 木村 男也
工學部 長 拔山 平一
法文學部 長 中村 善太郎
九州帝國大學 福岡縣糟屋郡新崎町
總長 松浦 鎮次郎
醫學部 長 板垣 政參
(醫學部—福岡市大字堅粕)

北海道帝國大學

札幌市北八條西五丁目
總長 南 鷹次郎
農學部 長 須田 金之助
醫學部 長 中村 豊
工學部 長 阿久津 國造
理學部 長 田所 哲太郎
大阪帝國大學 大阪府北區堂安町
總長 岡 半太郎

京城帝國大學

京城府東崇洞
總長 山田 三良
法文學部 長 高木 市之助
醫學部 長 高楠 榮
臺北帝國大學 臺北市富田町
總長 幣原 坦
文政學部 長 安藤 正次
理農學部 長 大島 金太郎

官立大學

東京商科大学 東京府北多摩郡谷保村
長 佐野 善作
神戸商業大學 神戸市舞谷區野崎通一
長 田崎 慎治
新潟醫科大學 新潟市旭町通一番町
長 富永 忠司
岡山醫科大學 岡山市岡一六四
長 田村 於兔
千葉醫科大學 千葉縣千葉郡都村

大學 長 高橋 信美
金澤市

長崎醫科大學 長 石坂 伸吉
長崎市山里町一六九九

熊本醫科大學 長 熊本市本庄町
熊本市本庄町

名古屋醫科大學 長 明石 眞隆
名古屋市千種區鶴舞町

東京工業大學 長 田村 春吉
東京市目黒區大岡山

大阪工業大學 長 中村 幸之助
大阪市北區東野田町九

東京文理科大學 長 堤 正義
東京市小石川區大塚窪町

廣島文理科大學 長 大瀨 甚太郎
廣島市千田町

旅順工科大学 長 吉田 賢龍
旅順市札幌町

公立大學

京都府立醫科大學 京都市河原町廣小路
大學長事務取扱 長 淺山 忠愛
名古屋市中區鶴舞町

愛知醫科大學 長 田村 春吉
大阪府天王寺區烏ヶ辻

大阪商科大学 長 阪谷 芳郎
京都市中區深澤町

立教大學 長 C.S.ライフルナイター
東京市豊島區池袋町

關西大學 長 杉浦 貞二郎
大阪府外千里山

法文學部 長 須賀 喜三郎
法學部 長 須賀 喜三郎
經濟學部 長 須賀 喜三郎
文學部 長 須賀 喜三郎
總長 須賀 喜三郎

拓殖大學 長 永田 秀次郎
東京市小石川區茗荷谷町

滿洲醫科大學 長 稻葉 逸好
滿洲國奉天市富士町

立命館大學 長 中川 小十郎
京都市廣小路通寺町東入

總長 田島 錦治
法律學部部長 田島 錦治
經濟學部部長 田島 錦治
商學部部長 小島 昌太郎
文學部部長 吉澤 義則

立正大學 長 吉澤 義則
東京市品川區大崎本町

私立大學

慶應義塾大學 長 林 毅陸
東京市芝區三田二

早稻田大學 長 田中 穂積
東京市淀橋區戸塚町

總長 川合 貞一
文學部部長 川合 貞一
經濟學部部長 三邊 金藏
法學部部長 西本 辰之助
醫學部部長 北島 多一

政治經濟學部部長 塩澤 昌貞
法學部部長 寺尾 元彦
文學部部長 吉江 喬松
商業部部長 平沼 淑郎
理工學部部長 山本 忠興

明治大學 長 横田 秀雄
東京市神田區駿河台甲賀町

法政大學 長 志田 鐵吉
東京市世田谷區深澤町

法學部部長 秋山 雅之助
文學部部長 松本 潤一郎

東京農工大學 長 吉川 祐輝
東京市澁谷區常盤松町

日本醫科大學 長 塩田 廣重
東京市本郷區駒込千駄木町

高野山大學 長 高岡 隆心
和歌山縣伊都郡高野町

大正大學 長 福田 堯顯
東京市豊島區西巢鴨四丁目

東洋大學 長 高楠 順次郎
東京市小石川區原町一七

上智大學 長 ヘルマン・ホフマン
東京市豊島區尾井町七

關西學院大學 長 C.J.L.ペーッ
兵庫縣武庫郡甲東村

東京高等師範學校 長 大瀨 甚太郎
東京市小石川區大塚窪町

廣島高等師範學校 長 吉田 賢龍
廣島市千田町

經濟學部部長 木村 增太郎
東京市神田區駿河台南甲賀町

中央大學 長 原 嘉道
東京市神田區駿河台南甲賀町

法學部部長 山崎 覺次郎
商學部部長 山崎 覺次郎
經濟學部部長 山崎 覺次郎

日本大學 長 平沼 騏一郎
東京市神田區三崎町三

總長 山岡 萬之助
法文學部部長 山岡 萬之助
商學部部長 松波 仁一郎
工學部部長 佐野 利器

國學院大學 長 服部 宇之吉
東京市澁谷區若木町

同志社大學 長 大工原 銀太郎
京都市上京區新北小路町

法學部部長 片桐 哲
文學部部長 林 要

東京慈惠會醫科大學 長 金杉 英五郎
東京市芝區愛宕町二

龍谷大學 長 花田 凌雲
京都市猪熊通七條角

大谷大學 長 上杉 文秀
京都市小石川區上杉町二二

專修大學 長 吉岡 郷甫
東京市神田區今川小路二

東京女子高等師範學校 長 吉岡 郷甫
東京市本郷區深澤町

奈良女子高等師範學校 長 稻葉 彦六
奈良市北魚屋町

第一高等學校 長 森 卷吉
東京市本郷區向ヶ岡彌生町

第二高等學校 長 阿刀田 令造
仙台市北六番町

第三高等學校 長 溝淵 進馬
京都市吉田二本松町

第四高等學校 長 小松 信一
金澤市仙石町

第五高等學校 長 十時 彌
熊本市黒髮町

第六高等學校 長 岡野 義三郎
岡山市國富

第七高等學校造士館 長 葉山 萬次郎
鹿兒島市山下町

第八高等學校 長 小松原 隆二
名古屋市南區瑞穂町

新潟高等學校 長 岡上 梁
新潟市西大畑町

松本高等學校 長 松本市縣町

官立高等學校

立教大學 長 C.S.ライフルナイター
東京市豊島區池袋町

關西大學 長 杉浦 貞二郎
大阪府外千里山

拓殖大學 長 永田 秀次郎
東京市小石川區茗荷谷町

滿洲醫科大學 長 稻葉 逸好
滿洲國奉天市富士町

立命館大學 長 中川 小十郎
京都市廣小路通寺町東入

立正大學 長 吉澤 義則
東京市品川區大崎本町

東京女子高等師範學校 長 吉岡 郷甫
東京市本郷區深澤町

奈良女子高等師範學校 長 稻葉 彦六
奈良市北魚屋町

第一高等學校 長 森 卷吉
東京市本郷區向ヶ岡彌生町

第二高等學校 長 阿刀田 令造
仙台市北六番町

第三高等學校 長 溝淵 進馬
京都市吉田二本松町

第四高等學校 長 小松 信一
金澤市仙石町

東京女子高等師範學校 長 吉岡 郷甫
東京市本郷區深澤町

奈良女子高等師範學校 長 稻葉 彦六
奈良市北魚屋町

第一高等學校 長 森 卷吉
東京市本郷區向ヶ岡彌生町

第二高等學校 長 阿刀田 令造
仙台市北六番町

第三高等學校 長 溝淵 進馬
京都市吉田二本松町

第四高等學校 長 小松 信一
金澤市仙石町

山口高等學校 校長 西川 順之
 山口市上宇野令
 松山高等學校 校長 岩田 博藏
 松山市湯渡町
 水戸高等學校 校長 金子 幹太
 茨城縣東茨城郡常磐村
 山形高等學校 校長 近澤 道元
 山形縣西山村郡東澤村
 佐賀高等學校 校長 久保 良澄
 佐賀縣佐賀郡東庄村
 弘前高等學校 校長 生駒 萬治
 弘前市富田町
 松江高等學校 校長 中山 文雄
 島根縣八束郡川津村
 東京高等學校 校長 藤田 萬一郎
 東京市中野區
 大阪高等學校 校長 塚原 政次
 大阪府住吉區王寺町
 浦和高等學校 校長 隈本 繁吉
 埼玉縣浦和町
 福岡高等學校 校長 茨木 清次郎
 福岡市島崎字大坪
 靜岡高等學校 校長 秋吉 音治
 靜岡市大岩町一

高知高等學校 高知市江ノ口
 姫路高等學校 兵庫縣飾磨郡安室村
 廣島高等學校 廣島市皆實町
 台北高等學校 台北市古亭町
 公立高等學校 校長 谷本 清心
 富山高等學校 富山縣大田村蓮田
 浪速高等學校 大阪府豐能郡櫻井谷
 東京府立高等學校 東京市麹町區永田町
 武藏高等學校 東京市板橋區
 甲南高等學校 兵庫縣武庫郡本山村
 成溪高等學校 東京市外武藏野町
 成城高等學校 東京市外砧村
 私立高等學校 校長 小原 國芳

官立專門學校
 富山藥學專門學校 富山縣上野川郡奥田
 熊本藥學專門學校 熊本市大江町
 東京外國語學校 東京市麩町區竹平町
 大阪外國語學校 大阪府上本町八丁目
 東京高等齒科醫學校 東京市本郷區湯島
 東京美術學校 東京市上野公園
 東京音樂學校 東京市上野公園
 測候技術官養成所 東京市中央區象台內
 京城醫學專門學校 京城府蓮建洞
 台北醫學專門學校 台北市東門町
 京城法學專門學校 京城府光化門通
 公立專門學校 校長 鷹松 龍種

京都市立繪畫專門學校 京都市今川町新日吉町
 福岡縣女子專門學校 福岡市須崎裏町
 大阪府女子專門學校 大阪府住吉區住吉町
 宮城縣女子專門學校 仙台市連坊小路
 京都府立女子專門學校 京都市寺町荒神口下
 廣島女子專門學校 廣島市下中町
 長野縣女子專門學校 長野市箱清水
 岐阜藥學專門學校 岐阜市假九重町
 大阪商科大學高等商業部 大阪府天王寺區島ヶ辻
 官立實業專門學校 校長 河田 嗣郎

東京高等工藝學校 東京市芝區新芝町
 米澤高等工業學校 米澤市馬口旁町
 桐生高等工業學校 桐生市天神町
 橫濱高等工業學校 橫濱市中區大岡町
 廣島高等工業學校 廣島市千田町
 金澤高等工業學校 石川縣石川郡崎浦
 仙台高等工業學校 仙台市南六軒町
 神戶高等工業學校 神戶市水笠通一丁目
 濱松高等工業學校 濱松市廣澤町
 德島高等工業學校 德島市常三島町
 長岡高等工業學校 長岡市學校町三丁目
 福井高等工業學校 福井縣吉田郡西藤島
 校長 前田 復三

山梨高等工業學校 甲府市吉柳町
 明治專門學校 戶畑市中原
 秋田鑛山專門學校 秋田市手形
 盛岡高等農林學校 盛岡市上田
 鹿兒島高等農林學校 鹿兒島市上荒田町
 三重高等農林學校 津市上濱町
 宇都宮高等農林學校 栃木縣河內郡平石村
 岐阜高等農林學校 岐阜縣稻葉郡加村
 宮崎高等農林學校 宮崎市船塚町
 上田蠶絲專門學校 上田市常入
 東京高等蠶絲學校 東京市澁野川區西ヶ原町
 京都高等蠶絲學校 京都市大將軍阪田町
 鳥取高等農業學校 鳥取市吉方村

校長 山田 玄太郎
 千葉高等園藝學校 千葉縣東葛飾郡松戸
 校長 松井 謙吉
 長崎高等商業學校 長崎市片淵町
 校長 只見 徹
 山口高等商業學校 山口市
 校長 岡本 一郎
 小樽高等商業學校 小樽市緑町五丁目
 校長 伴 房次郎
 名古屋高等商業學校 名古屋市南區瑞穂町
 校長 渡邊 龍聖
 福島高等商業學校 福島縣信夫郡清水村
 校長 伊藤 仁吉
 大分高等商業學校 大分市上野
 校長 添野 信
 彦根高等商業學校 滋賀縣犬上郡彦根町
 校長 矢野 貫城
 和歌山高等商業學校 和歌山市關戸
 校長 花田 大五郎
 横濱高等商業學校 横濱市中區南太田町
 校長 田尻 常雄
 高松高等商業學校 高松市宮脇町
 校長 澤田 源一
 高岡高等商業學校 高岡市古定塚
 校長 鈴木 彌

東京高等商船學校 東京市深川區越中島
 校長 島谷 敏郎
 神戸高等商船學校 兵庫縣武庫郡本庄村
 校長 小關 三平
 水原高等農林學校 朝鮮京畿道水原郡日蔭面
 京城高等工業學校 京城府東崇洞
 校長 三山 喜三郎
 台南高等工業學校 台南市旭町
 校長 若槻 道隆
 台北高等商業學校 台北市幸町
 校長 切田 太郎
 京城高等商業學校 京城府崇二洞
 校長 岩佐 重一

公立實業專門學校

高千穂高等商業學校 東京市杉並區
 校長 川田 鐵彌
 大倉高等商業學校 東京市赤坂區表町三
 校長 川口 西藏
 松山高等商業學校 松山市清水町二二八
 校長 加藤 彰廉
 巢鴨高等商業學校 東京市豊島區
 校長 遠藤 隆吉
 日本女子高等商業學校 東京市豊島區五番町
 校長 嘉悦 孝
 同志社高等商業學校 京都市外岩倉村
 校長 鷲尾 健治

私立實業專門學校

部長 原 嘉道
 東京農業大學專門部 東京市澁谷區常盤松町
 部長 石波 繁胤
 立命館大學專門部 京都市上京區廣小路
 部長 中川 小十郎
 東洋大學專門部 東京市小石川區原町
 部長 高楠 順次郎
 專修大學專門部 東京市神田區今川小路
 部長 道家 齊一郎
 明治學院 東京市芝區白金今里町
 部長 田川 大吉郎
 關西大學專門部 大阪市長柄中道二
 部長 武田 藏之助
 慶應義塾高等部 東京市芝區三田二
 部長 榎 智雄
 東北學院 仙台市南町通
 院長 シュネーダ
 日本女子大學校 東京市小石川區豐川町
 校長 井上 秀
 日本大學專門部 東京市神田區三崎町
 部長 川口 義久
 青山學院專門部 東京市澁谷區綠岡町
 部長 石坂 正信
 早稻田大學專門部 東京市澁谷區戶塚町
 部長 田中 穂積

早稻田大學高等師範部 東京市澁谷區戶塚町
 部長 牧野 謙次郎
 眞宗勸學院高等科 三重縣河藝郡一身田
 科長 栗原 廣廓
 同志社專門學校 京都市上京區新北小路
 校長 大工原 銀太郎
 駒澤大學專門部 東京市世田谷區深澤町
 部長 岡田 宜法
 女子英學塾 東京府北多摩郡小平村
 塾長 星野 アイ
 國學院大學高等師範部 東京市澁谷區若木町
 部長 堀江 秀雄
 國學院大學附屬神道部 東京市澁谷區若木町
 部長 河野 省三
 拓殖大學專門部 東京市小石川區若荷谷
 部長 永田 秀次郎
 立正大學專門部 東京市品川區大崎本町
 部長 望月 日謙
 京都專門學校 京都市九條東寺町四一
 部長 松永 昇道
 關東學院 横濱市中區南太田町
 院長 テンネー
 聖公會神學院 東京市豊島區池袋
 院長 落合 吉之助
 東京齒科醫學專門學校 東京市神田區三崎町

臨濟宗大學 京都市右京區花園
 校長 後藤 瑞巖
 帝國女子專門學校 東京市小石川區大塚町
 校長 平山 洋三郎
 日本齒科醫學專門學校 東京市豊島區高島土見町
 校長 中原 市五郎
 神戸女子學院專門部 神戸市神戶區山本通
 校長 デフォレスト
 日本神學校 東京市澁谷區
 校長 川添 萬壽得
 大日本武徳會武道專門學校 京都市岡崎區西天王町
 校長 根岸 和一郎
 同志社女子專門學校 京都市今出川區丸東入
 校長 松田 道
 東京女子醫學專門學校 東京市牛込區河田町
 校長 吉岡 彌生
 佛教專門學校 京都市鹿ヶ谷區御所ノ段
 校長 小林 瑞淨
 上智大學專門部 東京市豊島區尾井町
 部長 ホイヴエルス
 智山專門學校 東京市板橋區
 校長 高井 觀海
 聖心女子學院高等專門學校 東京市芝區
 校長 メレ・シエルドン

日本ルーテル神學專門學校 東京市牛込區靈宮
 校長 ホー ルン
 東京藥學專門學校 東京市淀橋區柏木
 校長 池口慶三
 大阪藥學專門學校 大阪府豐能郡櫻井谷村
 校長 大槻 弍
 東京物理學校 東京市牛込區神樂町
 校長 中村 恭平
 大阪齒科醫專門學校 大阪府北河内郡牧野村
 校長 朝比奈 藤太郎
 東京女子大學 東京市杉並區上井草町
 學長 安井 哲
 東京醫學專門學校 東京市淀橋區東大久保町
 校長 佐藤 達次郎
 京都藥學專門學校 京都市左京區秋葉町
 校長 藤井 勝也
 活水女子專門學校 長崎市東山手町一三
 西山專門學校 京都府乙訓郡粟生
 校長 小早川 隨康
 京都女子高等專門學校 京都市東山七條
 校長 朝倉 曉瑞
 西南學院高等學部 福岡市西新町
 部長 ポールデン
 眞宗專門學校 名古屋市中區下茶屋町
 校長 一柳 知成

九州齒科醫學專門學校 福岡市今泉七〇
 校長 永松 勝海
 東洋女子齒科醫學專門學校 東京市本郷區元町
 校長 宇田 尙
 東京女子專門學校 東京市本郷區湯島町
 校長 渡邊 滋
 梅花女子專門學校 大阪府豐中町
 校長 伊庭 菊次郎
 大谷大學專門部 京都市小山上總町二一
 部長 上杉 文秀
 龍谷大學專門部 京都市猪熊通七條
 部長 花田 凌雲
 東京女子齒科醫學專門學校 東京市品川區大井
 校長 中村 五六
 明治藥學專門學校 東京市世田谷區
 校長 高橋 三郎
 大東文化學院 東京市豊島區富士見町
 早稻田大學附屬早稻田專門學校 淀橋區戸塚町
 校長 平沼 淑郎
 帝國女子藥學專門學校 大阪府守口町土居
 校長 野崎 仙太郎
 帝國婦人協會實踐女學校專門部 東京市澁谷區
 部長 下田 歌子
 帝國女子醫學專門學校 東京市大森區
 校長 額田 晋

日本大學專門學校 大阪府彌刀村小若江
 校長 菅原 春二
 共立女子專門學校 東京市神田區一ツ橋通
 校長 鳩山 春子
 樟蔭女子專門學校 大阪府外布施町菱屋
 校長 伊賀 駒吉郎
 日本女子體育專門學校 東京市世田谷區
 校長 二階堂 トクヨ
 大正大學專門部 東京市豊島區西巢鴨町
 部長 福田 堯顯
 千代田女子專門學校 東京市豊島區中六番町
 校長 泉 道雄
 關西學院專門部 兵庫縣武庫郡甲東村
 部長 C.J.L. ベーツ
 大阪醫學專門學校 大阪府高槻町古曾部
 校長 戸田 正三
 金城女子專門學校 名古屋市中區白壁町
 校長 市村 與市
 東京家政專門學校 東京市豊島區三番町
 校長 大江 スミ
 聖路加女子專門學校 東京市京橋區明石町
 校長 R.B. トイスラー
 天理外國語學校 奈良縣山邊郡丹波市
 校長 中山 爲信
 二松學舍專門學校 東京市豊島區一番町

九州醫學專門學校 久留米市小森野町
 校長 伊東 祐彦
 岩手醫學專門學校 盛岡市内丸
 校長 三田 俊次郎
 昭和醫學專門學校 東京市荏原區中延町
 校長 岡田 和一郎
 女子經濟專門學校 東京市本郷區元町一
 校長 新渡戸 稻造
 相愛女子專門學校 大阪府東區本町四
 校長 大野 開藏
 大阪女子高等醫學專門學校 大阪府北河内郡牧野村
 校長 前田 鼎
 和洋女子專門學校 東京市豊島區飯田町
 校長 堀越 千代
 横濱專門學校 横濱市神奈川區六角橋
 校長 林 頼三郎
 國士館專門學校 東京市世田谷區
 校長 水野 練太郎
 相山女子專門學校 名古屋市中區東區田代町
 校長 相山 正式
 女子美術專門學校 東京市本郷區菊坂町
 校長 佐藤 達次郎
 大谷女子專門學校 大阪府住吉區共立通
 校長 佐藤 了秀

安城女子專門學校 愛知縣碧海郡安城町
 校長 山崎 延吉
 東京藥學專門學校女子部 東京市上野櫻木町
 東京女子藥學專門學校 東京市澁谷區
 昭和女子藥學專門學校 東京市荏原區戸越町
 共立女子藥學專門學校 東京市芝公園六號地
 校長 長田 捷二
 京城齒科醫學專門學校 京都市南大門通三
 校長 柳 樂達見
 崇實專門學校 平壤府新陽里
 校長 マツキユン
 延禧專門學校 朝鮮京畿道延禧面
 校長 エビソン
 セブランス聯合醫學專門學校 京都市南大門通
 校長 OR・エビソン
 日露協會學校 滿洲國哈爾濱市外馬家溝
 校長 高田 富藏
 東亞同文書院 支那上海虹橋路第一〇〇號
 校長 大内 暢三

その他の學校
 東京市豊島區目白町
 女子學習院 院長 荒木 寅三郎
 東京市赤坂區青山北町
 女子學習院 院長 長屋 順耳

神宮皇學館 三重縣度會郡濱郷村
 館長 平田 貫一
 水産講習所 東京市深川區越中島
 所長 杉浦 保吉

陸海軍の學校
 所澤陸軍飛行學校 埼玉縣入間郡所澤町
 下志津陸軍飛行學校 千葉縣千葉郡都村
 明野陸軍飛行學校 三重縣度會郡北濱村
 陸軍工科學校 東京市小石川區小石川町
 陸軍經理學校 東京市牛込區若松町
 陸軍軍醫學校 東京市牛込區戸山町
 陸軍獸醫學校 東京市世田谷區
 陸軍大學校 東京市赤坂區青山北町
 陸軍砲工學校 東京市牛込區若松町
 陸軍歩兵學校 千葉縣千葉郡都賀村
 陸軍騎兵學校 千葉縣千葉郡二宮町
 陸軍野戰砲兵學校 千葉縣印旛郡千代田村
 陸軍重砲兵學校 千葉縣東葛飾郡明村
 陸軍工兵學校 千葉縣東葛飾郡明村
 陸軍通信學校 東京市杉並區
 陸軍自動車學校 東京市世田谷區
 陸軍戸山學校 東京市牛込區戸山町
 陸軍士官學校 東京市牛込區區谷本町
 東京陸軍幼年學校 東京市牛込區戸山町

仙台陸軍教導學校 仙台市川内大橋通
 豐橋陸軍教導學校 愛知縣瀧美郡高師村
 熊本陸軍教導學校 熊本市熊本城内
 憲兵練習所 東京市丸ノ内一丁目
 海軍大學校 東京市京橋區築地五
 海軍兵學校 廣島縣安藝郡江田島村
 海軍軍醫學校 東京市京橋區築地五

海軍機關學校 京都府加佐郡中舞鶴町
 海軍經理學校 東京市京橋區築地五
 海軍砲術學校 橫須賀市楠ヶ浦町
 海軍水雷學校 神奈川縣三浦郡田浦町
 海軍工機學校 橫須賀市
 海軍通信學校 神奈川縣三浦郡田浦町
 海軍潜水學校 吳市吉浦町

全國主要中等學校一覽

東京府 (東京市及府下)

府立豐島師範學校 豐島區池袋
 府立青山師範學校 赤坂區青山北町
 府立第一中學校 麴町區永田町
 府立第二中學校 北多摩郡立川町
 府立第三中學校 本所區江東橋
 府立第四中學校 牛込區市ヶ谷加賀町
 府立第五中學校 小石川區駕籠町
 府立第六中學校 四谷區内藤町
 府立第七中學校 向島區寺島町
 府立第八中學校 荏原區小山町
 府立第九中學校 板橋區板橋町
 第一東京市立中學校 麴町區富士見町

第二東京市立中學校 下谷區上野公園内
 學習院中等科 豐島區
 私立曉星中學校 麴町區飯田町
 錦城中學校 神田區錦町
 東京中學校 神田區小川町
 順天中學校 神田區表猿樂町
 私立大成中學校 神田區三崎町
 私立明治中學校 神田區裏猿樂町
 私立文化學院 神田區駿河台袋町
 明治學院中學校 芝區白金今里町
 私立正則中學校 芝區芝公園内
 私立慶應義塾普通部 芝區三田綱町

芝區芝公園内
 私立高輪中學校 芝區芝車町
 麻布中學校 麻布區本村町
 日本大學附屬赤坂中學校 赤坂區中ノ町
 私立成城中學校 牛込區原町
 早稻田中學校 牛込區早稻田
 京華中學校 小石川區原町
 京北中學校 小石川區原町
 私立豐山中學校 小石川區大塚坂下町
 私立獨逸學協會學校中學 小石川區關口台町
 財團法人駒込中學校 本鄉區駒込林町
 郁文館中學校 本鄉區駒込蓬萊町
 日本大學中學校 本所區橫綱
 東京殖民留易語學校 本所區橫綱
 財團法人攻玉社中學校 品川區
 世田谷中學校 世田谷區
 私立立正中學校 品川區
 私立日本體育會荏原中學校 品川區
 私立國士館中學校 世田谷區
 日本體育會操學校 品川區
 財團法人海城中學校 澁谷區
 私立青山學院中學校 澁谷區
 私立日本中學校 澁谷區
 私立高千穂中學校 澁谷區
 名教中學校 澁谷區代々木

日本大學第二中學校 杉並區
 中野中學校 中野區
 私立東京開城中學校 荒川區
 私立立教中學校 豐島區池袋
 私立聖學院中學校 澁谷區川中里町
 私立目白中學校 板橋區練馬
 樂鳴中學校 豐島區
 私立成溪高等學校尋常科 北多摩郡武藏野村
 私立本郷中學校 豐島區駒込
 私立成城高等學校尋常科 北多摩郡砧村
 私立智山中學校 板橋區石神井
 私立玉川學園中學校 南多摩郡町田町
 府立第一商業學校 澁谷區
 府立第二商業學校 八王子市上野町
 府立第三商業學校 深川區越中島町
 私立東洋商業學校 神田區三崎町
 關東商業學校 神田區錦町
 私立成立商業學校 神田區駿河台鈴木町
 錦城商業學校 神田區錦町
 中央商業學校 京橋區越前堀
 私立慶應義塾商工學校 芝區三田
 私立東京主計學校 牛込區市ヶ谷河田町
 早稻田實業學校 牛込區早稻田鶴卷町
 私立京北實業學校 小石川區原町
 東京保養商業學校 本所區橫綱町

日本大學商業學校 本所區橫綱町
 專修大學實業學校 神田區今川小路
 財團法人京王商業學校 杉並區
 目白商業學校 澁谷區落合
 府立瀧野川商工學校 澁谷區落合
 樂鳴商業學校 澁谷區落合
 府立化學工業學校 深川區千田町
 財團法人電氣學校 神田區錦町
 東京保養工業學校 本所區橫綱町
 府立工藝學校 本鄉區元町
 財團法人岩倉鐵道學校 下谷區車坂町
 東京鐵道局講習所 豐島區池袋
 府立園藝學校 世田谷區深澤町
 府立第一高等女學校 淺草區七軒町
 府立第二高等女學校 小石川區竹早町
 府立第三高等女學校 麻布區北日ヶ窪町
 府立第四高等女學校 八王子市神明町
 府立第五高等女學校 澁谷區
 府立第六高等女學校 芝區赤羽町
 府立第七高等女學校 江戶川區
 府立第八高等女學校 品川區品川町
 府立女子師範學校 小石川區竹早町
 共立女子職業學校 神田區一ツ橋通町
 三輪田高等女學校 麴町區四番町
 私立九段精華高等女學校 麴町區飯田町

私立双葉高等女學校 麴町區下六番町
 日本女子商業學校 麴町區土手三番町
 私立大妻高等女學校 麴町區上六番町
 私立大妻技藝學校 麴町區上六番町
 私立聖心女學院高等女學校 芝區白金三光町
 私立女子學院 麴町區上二番町
 私立順心高等女學校 麻布區廣尾町
 和洋裁縫女學校 麴町區飯田町
 私立東洋英和女學校 麻布區東鳥居坂町
 私立東洋家政女學校 神田區北神保町
 財團法人山脇高等女學校 赤坂區榎町
 東京女子基督教青年會駿河台女學院 神田區
 私立淑德高等女學校 小石川區表町
 濱田產婆學院 神田區駿河台
 跡見女學校 小石川區柳町
 私立頌榮高等女學校 芝區白金猿町
 第一東京市立高等女學校 深川區本村町
 三田高等女學校 芝區三田四國町
 日本女子文化學院 芝區荏原町
 私立普連土女學校 芝區香蓮町
 私立精華高等女學校 澁谷區
 私立成女高等女學校 牛込區富久町
 私立岩佐高等女學校 牛込區天神町
 日本女子大學附屬高等女學校 小石川區高田
 東洋高等女學校 小石川區丸山町

私立京華高等女學校 小石川區原町
社団法人錦秋高等女學校 本郷區眞砂町
私立佐藤高等女學校 本郷區南坂町
社団法人櫻蔭高等女學校 本郷區元町
日出高等女學校 目黒區下目黒
青山學院高等女學部 澁谷區練岡町
私立成美高等女學校 中野區
昭和高等女學校 中野區
私立豐島高等女學校 豐島區
私立成蹊高等女學校 豐島區
私立文華高等女學校 豐島區巢鴨
武藏野高等女學校 澁野川區
私立富士見高等女學校板橋區
市立牛込實務女學校 牛込區市ヶ谷山伏町
私立女子聖學院 澁野川區中里町
私立潤德高等女學校 足立區千住
私立千代田高等女學校 龜町區中六番町
私立帝國女子專門學校附屬日本高等女學校 小石川區
私立小石川高等女學校 小石川區小日向台町
市立忍岡高等女學校 下谷區茅町
上野高等女學校 淺草區神吉町
私立中村高等女學校 深川區西大工町
町立目黒高等女學校 目黒區
私立杉立高等女學校 荏原區上神明町
私立大森高等女學校 大森區大森

私立洗足高等女學校 目黒區
調布高等女學校 世田谷區玉川
駒澤高等女學校 世田谷區鶴卷町
財團法人品川高等女學校 品川區北品川
府立高等家政女學校 中野區
府立青梅實科高等女學校 西多摩郡青梅町
私立川村女學院 豐島區
神奈川師範學校 鎌倉郡鎌倉町
縣立橫濱第一中學校 橫濱市中區西戸部町
縣立縣濱第二中學校 橫濱市神奈川區青木町
縣立橫濱第三中學校 橫濱市本牧町
縣立小田原中學校 足柄下郡小田原町
縣立厚木中學校 愛甲郡南毛利村
縣立橫須賀中學校 橫須賀市公卿町
縣立湘南中學校 高座郡藤澤町
縣立川崎中學校 川崎市渡田
逗子開成中學校 三浦郡逗子町
關東學院中學校 橫濱市中區南太田町
藤澤中學校 高座郡藤澤町
淺野綜合中學校 橫濱市神奈川區子安町
鎌倉中學校 鎌倉郡小牧村
私立本牧中學校 橫濱市本牧町
縣立商工實習學校 橫濱市中區大岡町

神奈川縣

市立橫濱商業學校 橫濱市中區南太田町
縣立工業學校 橫濱市神奈川町
縣立農業學校 中郡平塚町
縣立農蠶學校 高座郡相原村
神奈川縣女子師範學校 橫濱市中區根岸町
縣立橫濱第一高等女學校 橫濱市神奈川區岡野町
縣立厚木高等女學校 愛甲郡厚木町
縣立平塚高等女學校 中郡平塚町
市立橫須賀高等女學校 橫須賀市深田町
市立川崎高等女學校 川崎市榎町
町立小田原高等女學校 足柄下郡小田原町
鎌倉高等女學校 鎌倉郡鎌倉町
町立逗子實科高等女學校 三浦郡逗子町
橫濱女子商業學校 橫濱市中區宮川町
田浦實科高等女學校 三浦郡田浦町
秦野實科高等女學校 中郡秦野町
大磯實科高等女學校 中郡大磯町
戶塚實科高等女學校 鎌倉郡戶塚町
湘南實科高等女學校 高座郡藤澤町
埼玉縣師範學校 北足立郡浦和町
縣立不動岡中學校 北埼玉郡不動岡町
縣立浦和中學校 北足立郡浦和町
縣立熊谷中學校 大里郡熊谷町

埼玉縣

縣立川越中學校 川越市川市
縣立柏壁中學校 南埼玉郡柏壁町
縣立本庄中學校 兒玉郡本庄町
縣立松山中學校 比企郡松山町
縣立商業學校 大里郡幡羅村
埼玉縣川越商業學校 川越市郭町
浦和商業學校 北足立郡浦和町
縣立工業學校 川越市大字川越
縣立秩父農林學校 秩父郡秩父町
組合立豐岡實業學校 入間郡豐岡町
私立所澤實業學校 入間郡所澤町
埼玉縣女子師範學校 北足立郡六辻村
縣立浦和高等女學校 北足立郡浦和町
縣立川越高等女學校 川越市東六軒町
縣立熊谷高等女學校 大里郡熊谷町
縣立忍谷高等女學校 北埼玉郡忍町
縣立久喜高等女學校 南埼玉郡久喜町
縣立小川高等女學校 比企郡小川町
縣立飯能高等女學校 入間郡飯能町
縣立柏壁高等女學校 南埼玉郡柏壁町
縣立兒玉高等女學校 兒玉郡兒玉町
縣立秩父高等女學校 秩父郡秩父町
縣立越ヶ谷高等女學校 越ヶ谷町
本庄高等女學校 兒玉郡本庄町
成均學園高等女學校 北足立郡大宮町

松山實科女學校 比企郡松山町
所澤實科女學校 入間郡所澤町
鴻巣實科高等女學校 北足立郡鴻巣町
川口實科高等女學校 北足立郡川口町
群馬縣師範學校 前橋市清王寺町
縣立前橋中學校 前橋市紅雲町
縣立高崎中學校 高崎市上和田町
縣立太田中學校 新田郡太田町
縣立富岡中學校 北甘樂郡富岡町
縣立沼田中學校 利根郡沼田町
縣立藤岡中學校 多野郡藤岡町
縣立桐生中學校 桐生市小曾根町
縣立澁川中學校 群馬郡澁川町
縣立館林中學校 邑樂郡六郷町
縣立高崎商業學校 高崎市臺町
市立前橋商業學校 前橋市市之坪
伊勢崎商業學校 佐波郡伊勢崎町
縣立工業學校 佐原郡伊勢崎町
市立前橋工業學校 前橋市岩上町
縣立中之條農業學校 吾妻郡中之條町
縣立勢多農林學校 勢多郡桂葉村
縣立蠶絲學校 碓氷郡安中町
群馬縣女子師範學校 前橋市清王寺町

群馬縣

縣立高崎高等女學校 高崎市末廣町
縣立桐生高等女學校 桐生市東町
縣立前橋高等女學校 前橋市紅雲町
縣立伊勢崎高等女學校 佐波郡伊勢崎町
縣立富岡高等女學校 北甘樂郡富岡町
縣立館林高等女學校 邑樂郡館林町
縣立安中高等女學校 碓氷郡安中町
縣立太田高等女學校 新田郡太田町
縣立澁川高等女學校 群馬郡澁川町
前橋市立高等家政女學校 前橋市芳町
千葉縣師範學校 千葉市場西亥ノ森
縣立千葉中學校 千葉市千葉寺
縣立佐倉中學校 印旛郡佐倉町
縣立木更津中學校 君津郡真舟町
縣立佐原中學校 夷隅郡大多喜町
縣立成東中學校 山武郡成東町
縣立安房中學校 安房郡北條町
縣立長生中學校 長生郡茂原町
縣立匝瑳中學校 匝瑳郡八日市場町
財團法人關東中學校 千葉市
財團法人船橋中學校 東葛飾郡船橋町
私立成田中學校 印旛郡成田町
縣立銚子商業學校 海上郡銚子町

千葉縣

縣立千葉商業學校 千葉市寒川
 縣立茂原農林學校 長生郡茂原町
 縣立君津農林學校 君津郡中村
 縣立野田農學校 東葛飾郡野田町
 縣立安房農學校 安房郡南三原村
 縣立安房水產學校 安房郡館山町
 千葉縣女子師範學校 千葉市千葉新町
 縣立千葉高等女學校 千葉市
 縣立安房高等女學校 安房郡北條町
 縣立佐原高等女學校 香取郡佐原町
 縣立木更津高等女學校 君津郡木更津町
 縣立銚子高等女學校 海上郡銚子町
 縣立松戸高等女學校 東葛飾郡松戸町
 町立野田高等女學校 東葛飾郡野田町
 私立成田高等女學校 印旛郡成田町
 成田實科高等女學校 印旛郡成田町
 船橋高等女學校 東葛飾郡船橋町

茨城縣
 茨城縣師範學校 水戸市上市二ノ丸
 縣立水戸中學校 水戸市舊城内
 縣立土浦中學校 新治郡眞鍋町
 縣立下妻中學校 眞壁郡下妻町
 縣立太田中學校 久慈郡太田町
 縣立水海道中學校 結城郡水海道町

縣立龍ヶ崎中學校 稻敷郡龍ヶ崎町
 縣立日立中學校 多賀郡日立町
 茨城中學校 東茨城郡常盤村
 常總中學校 新治郡土浦町
 縣立商業學校 水戸市上市柳小路
 縣立下館商業學校 眞壁郡下館町
 町立古河商業學校 眞壁郡古河町
 湊商業學校 那賀郡湊町
 縣立工業學校 東茨城郡吉田村
 縣立農業學校 東茨城郡常盤村
 縣立江戶崎農學校 稻敷郡江戶崎町
 縣立眞壁農學校 眞壁郡眞壁町
 縣立結城農學校 結城郡結城町
 茨城縣女子師範學校 水戸市上市寺町
 縣立水戸高等女學校 水戸市上市大町
 縣立土浦高等女學校 新治郡土浦町
 縣立太田高等女學校 久慈郡譽田村新宿
 縣立下館高等女學校 眞壁郡伊讚村岡芹
 縣立龍ヶ崎高等女學校 稻敷郡龍ヶ崎町
 縣立水海道高等女學校 結城郡水海道町
 東海高等女學校 多賀郡日立町
 縣立古河實科高等女學校 猿島郡古賀町
 縣立下妻實科高等女學校 眞壁郡下妻町
 縣立鉦田實科高等女學校 鹿島郡鉦田町
 縣立取手實科高等女學校 北相馬郡取手町

縣立結城女學校 結城郡結城町
 栃木縣師範學校 河内郡國本村
 縣立宇都宮中學校 河内郡委川村
 縣立栃木中學校 下都賀郡栃木町
 縣立眞岡中學校 芳賀郡眞岡町
 縣立佐野中學校 安蘇郡佐野町
 縣立大田原中學校 須賀郡大田原町
 縣立鳥山中學校 那須郡鳥山町
 縣立足利中學校 足利市本城一丁目
 縣立石橋中學校 下都賀郡石橋町
 財團法人下野中學校 宇都宮市塙田町
 縣立宇都宮商業學校 宇都宮市今泉町
 栃木商業學校 下都賀郡栃木町
 佐野商業學校 安蘇郡佐野町
 縣立足利工業學校 足利市西ノ宮町
 縣立宇都宮工業學校 宇都宮市西原町
 縣立宇都宮農學校 宇都宮市今泉町
 縣立栃木農學校 下都賀郡栃木町
 縣立矢板農學校 塩谷郡矢板町
 縣立鹿沼農學校 上都賀郡鹿沼町
 私立宇都宮實業學校 宇都宮市戸祭町
 古河足尾銅山實業學校 上都賀郡足尾町
 小山公民實業學校 下都賀郡小山町

栃木縣女子師範學校 宇都宮市戸祭町
 縣立宇都宮第一高等女學校 宇都宮市西大寬町
 縣立宇都宮第二高等女學校 宇都宮市塙田町
 縣立栃木高等女學校 下都賀郡栃木町
 縣立佐野高等女學校 安蘇郡佐野町
 縣立足利高等女學校 足利市有樂町
 縣立大田原高等女學校 那須郡大田原町
 縣立鹿沼高等女學校 上都賀郡鹿沼町
 日光高等女學校 上都賀郡日光町
 栃木縣足尾實科高等女學校 上都賀郡足尾町
 町立鹿沼實科高等女學校 下都賀郡鹿沼町
 栃木縣小山實踐女學校 上都賀郡小山町
 栃木實業女學校 下都賀郡栃木町
 宇都宮女子實業學校 宇都宮市塙田町

宮城縣
 宮城縣師範學校 仙台市北七番町
 縣立第一中學校 仙台市元茶畑町
 縣立第二中學校 仙台市北六番町
 縣立古川中學校 志田郡古川町
 縣立角田中學校 伊具郡角田町
 縣立白石中學校 刈田郡白石町
 縣立築館中學校 栗原郡築館町
 縣立石卷中學校 牡鹿郡石卷町
 縣立佐沼中學校 登米郡佐沼町

縣立氣仙沼中學校 本吉郡氣仙沼町
 財團法人東北中學校 仙台市北一番町
 財團法人仙台育英中學校 仙台市外記町
 私立東北學院中學校 仙台市東二番町
 私立梅檀中學校 仙台市伊勢堂山
 仙台商業學校 仙台市上杉山通
 石卷商業學校 牡鹿郡石卷町
 宮城縣工業學校 仙台市米ヶ袋廣町
 市立仙台工業學校 仙台市北一番丁
 宮城縣農學校 仙台市長町
 宮城縣小牛田農林學校 遠田郡小牛田町
 宮城縣加美農蠶學校 加美郡中新田町
 宮城縣巨理蠶業學校 巨理郡巨理町
 宮城縣水產學校 牡鹿郡渡波町
 宮城縣女子師範學校 仙台市中島町
 宮城縣第一高等女學校 仙台市元寺小路
 宮城縣第二高等女學校 仙台市東九番丁
 宮城縣第三高等女學校 仙台市中島町
 宮城縣角田高等女學校 伊具郡角田町
 宮城縣白石高等女學校 刈田郡白石町
 宮城縣涌谷高等女學校 遠田郡涌谷町
 宮城縣石卷高等女學校 牡鹿郡石卷町
 宮城縣古川高等女學校 志田郡古川町
 宮城縣氣仙沼實科高等女學校 本吉郡氣仙沼町
 市立五橋實科高等女學校 仙台市五橋通

町立宮城縣壺實科高等女學校 宮城郡壺蓋町
福島縣
 福島縣師範學校 福島市腰ノ濱
 縣立安積中學校 郡山市南町
 縣立會津中學校 若松市榮町
 縣立磐城中學校 石城郡平町
 縣立福島中學校 福島市森合
 縣立雙葉中學校 双葉郡新山町
 縣立相馬中學校 相馬郡中村町
 縣立喜多方中學校 耶麻郡喜多方町
 縣立白河中學校 西白河郡白河町
 縣立保原中學校 伊達郡保原町
 縣立田村中學校 田村郡三春町
 縣立安達中學校 安達郡二本松町
 縣立福島商業學校 福島市腰ノ濱
 縣立若松商業學校 若松市榮町
 市立商工實務學校 福島市
 福島縣郡山商工學校 郡山市
 福島縣平商業學校 石城郡平町
 福島縣白河商業學校 西白河郡白河町
 縣立會津工業學校 若松市榮町
 縣立蠶業學校 信夫郡渡利村
 縣立相馬農蠶學校 相馬郡原町
 縣立岩瀨農學校 岩瀨郡須賀川町

縣立會津農林學校 河沼郡坂下町
縣立女子師範學校 福島市舟場町
縣立福島高等女學校 福島市腰ノ濱
縣立相馬郡高等女學校 相馬郡中村町
縣立會津高等女學校 若松市榮町
縣立安積高等女學校 郡山市長者町
縣立磐城高等女學校 石城郡平町
縣立白河高等女學校 西白河郡白河町
福島縣三春實科高等女學校 田村郡三春町
福島縣富岡實科高等女學校 双葉郡富岡町
福島縣原町實科高等女學校 相馬郡原町

岩手縣

岩手縣師範學校 盛岡市上田
縣立盛岡中學校 盛岡市上田
縣立一關中學校 西磐井郡一關町
縣立福岡中學校 二戸郡福岡町
縣立黑澤尻中學校 和賀郡黑澤尻町
縣立遠野中學校 上閉伊郡遠野町
岩手中學校 盛岡市大澤河原小路
縣立商業學校 盛岡市新庄
水澤商業學校 贈澤郡水澤町
縣立工業學校 盛岡市内丸
縣立盛岡農學校 紫波郡見前村
縣立盛岡農學校 東磐井郡下麻町

青森縣

縣立水澤農學校 贈澤郡水澤町
縣立久慈農學校 九戸郡久慈町
縣立花卷農學校 神貫郡花卷町
縣立水產學校 下閉伊郡宮古町
岩手縣女子師範學校 盛岡市内丸
縣立盛岡高等女學校 盛岡市新庄
縣立水澤高等女學校 贈澤郡水澤町
縣立一關高等女學校 西磐井郡山目村
縣立花卷高等女學校 神貫郡花卷町
縣立黑澤尻高等女學校 和賀郡黑澤尻町
縣立宮古高等女學校 下閉伊郡宮古村
岩手高等女學校 盛岡市内丸
釜石實科高等女學校 上閉伊郡釜石町
盛岡實科高等女學校 盛岡市内丸
大槌實科高等女學校 上閉伊郡大槌町
青森縣師範學校 青森市造道
縣立弘前中學校 弘前市新寺町
縣立八戸中學校 八戸市糠塚
縣立木造中學校 西津輕郡木造町
縣立青森中學校 青森市造道
縣立野邊地中學校 上北郡野邊地町
東奧義塾 弘前市下白銀町
私立協成中學校 青森市

秋田縣

縣立青森商業學校 青森市造道
縣立工業學校 弘前市馬屋町
青森市立工藝學校 青森市浦町
縣立三本木農學校 上北郡三本木町
縣立五所川原農學校 北津輕郡五所川原町
縣立水產學校 八戸市湊町
縣立女子師範學校 青森市浦町
縣立弘前高等女學校 弘前市藏主町
縣立八戸高等女學校 八戸市類家
縣立青森高等女學校 青森市浦町
私立協成高等女學校 青森市浪打
七戸町立實科高等女學校 上北郡七戸町
三本木實科高等女學校 上北郡三本木町
町立野邊地實科高等女學校 上北郡野邊地町
市立女子實業補習女學校 青森市古川町
秋田縣師範學校 秋田市手形
縣立秋田中學校 秋田市東根小屋町
縣立橫手中學校 平鹿郡御倉村
縣立大館中學校 北秋田郡大館町
縣立本莊中學校 由利郡本莊町
縣立角館中學校 仙北郡角館町
縣立能代中學校 山本郡能代港町
秋田市商業學校 秋田市龜ノ上東上手町
土崎商業學校 南秋田郡土崎港町

土崎商業學校 南秋田郡土崎港町
縣立秋田工業學校 秋田市金砂町
縣立能代工業學校 山本郡能代港町
縣立秋田農學校 仙台郡大曲町
縣立農林學校 北秋田郡鷹巣町
秋田縣女子師範學校 秋田市東根小屋町
縣立秋田高等女學校 秋田市中島本町
縣立橫手高等女學校 平鹿郡橫手町
縣立大館高等女學校 北秋田郡大館町
縣立能代高等女學校 山本郡能代港町
縣立花輪高等女學校 鹿角郡花輪町
町立小坂實科高等女學校 鹿角郡小坂町
土崎實科高等女學校 南秋田郡土崎港町
橫手實科高等女學校 平鹿郡橫手町

山形縣

山形縣師範學校 山形市旅籠町
縣立山形中學校 山形市六日町
縣立米澤中學校 米澤市關東町
縣立鶴岡中學校 鶴岡市若葉町
縣立新庄中學校 最上郡新庄町
縣立酒田中學校 飽海郡鶴渡川原村
縣立米澤商業學校 米澤市清水町
市立山形商業學校 山形市小荷駄町
町立酒田商業學校 飽海郡酒田町

新潟縣

縣立米澤工業學校 米澤市南堀端町
縣立山形工業學校 山形市六日町
縣立鶴岡工業學校 鶴岡市鷹匠町
縣立庄内農學校 東田川郡藤島町
山形縣女子師範學校 山形市香澄町
縣立鶴岡高等女學校 鶴岡市若葉町
縣立酒田高等女學校 飽海郡酒田町
縣立山形高等女學校 山形市香澄町
縣立山形第二高等女學校 山形市香澄町
縣立米澤高等女學校 米澤市元龍町
縣立新庄高等女學校 最上郡新庄町
縣立谷地高等女學校 西村山郡谷地町
米澤高等家政女學校 米澤市明神堂町
新潟縣新潟師範學校 新潟市旭町通
新潟縣高田師範學校 高田市西城町
縣立長岡中學校 長岡市四郎丸町
縣立高田中學校 高田市南城町三丁目
縣立新潟中學校 新潟市關屋
縣立卷中學校 西蒲原郡卷町
縣立新發田中學校 北蒲原郡五十公野村
縣立六日町中學校 南魚沼郡六日町
縣立佐渡中學校 南佐渡郡二宮村
縣立十日町中學校 中魚沼郡十日町

縣立柏崎中學校 刈羽郡柏崎町
縣立村上中學校 岩船郡村上本町
縣立三條中學校 南蒲原郡三條町
縣立小千谷中學校 北魚沼郡小千谷町
縣立糸魚川中學校 西頸城郡糸魚川町
縣立村松中學校 中蒲原郡村松町
相川中學校 佐渡郡相川町
縣立新潟商業學校 新潟市白山浦
縣立長岡商業學校 長岡市中島町
縣立柏崎商業學校 刈羽郡柏崎町
縣立三條商工學校 南蒲原郡三條町
縣立高田商工學校 高田市南城町
縣立新發田商業學校 北蒲原郡新發田町
縣立長岡工業學校 長岡市東千手町
縣立高田農學校 高田市東城町
縣立加茂農林學校 西蒲原郡加茂町
縣立新發田農學校 北蒲原郡新發田町
縣立直江津農商學校 中頸城郡新發田町
縣立柏崎農學校 刈羽郡柏崎町
新潟縣長岡女子師範學校 高田市西城町
縣立新潟高等女學校 新潟市學校町
縣立高田高等女學校 高田市北條町
縣立柏崎高等女學校 刈羽郡柏崎町
縣立新發田高等女學校 北蒲原郡新發田町
縣立長岡高等女學校 長岡市東新町

縣立糸魚川高等女學校 西頸城郡糸魚川町
縣立三條高等女學校 南頸城郡三條町
縣立新津高等女學校 中頸城郡新津町
縣立小千谷高等女學校 北頸城郡小千谷町
新湯市立高等女學校 新湯市沼垂町
町立直江津實科高等女學校 中頸城郡直江津町
町立相川實科高等女學校 佐渡郡相川町

長野縣

長野縣師範學校 長野市西長野
縣立松本中學校 松本市深志地蔵清水
縣立松本第二中學校 松本市筑摩四ッ谷
縣立上田中學校 上田市新夢町
縣立飯田中學校 下伊那郡上郷村
縣立諏訪中學校 諏訪郡上諏訪町
縣立屋代中學校 埴科郡屋代町
縣立長野中學校 長野市西長野町
縣立野澤中學校 南佐久郡野澤町
縣立大町中學校 北安曇郡大町
縣立飯山中學校 下水内郡飯山町
縣立伊那中學校 上伊那郡伊那町
縣立須坂中學校 上高井郡須坂町
縣立木曾中學校 西筑摩郡福島町
縣立岩村田中學校 北佐久郡岩村田町
長野縣長野商業學校 長野市妻科

長野縣小諸商業學校 北佐久郡小諸町
飯田商業學校 下伊那郡飯田町
財團法人松本商業學校 松本市筑摩
縣立長野工業學校 長野市下岡田
縣立小諸蠶業學校 上田市常入新町
長野縣下伊那農學校 下伊那郡鼎村
縣立下高井農林學校 下高井郡穂高村
縣立上水内農學校 長野市吉田
縣立東築摩農學校 東筑摩郡塩尻町
縣立丸子農商學校 小縣郡丸子町
縣立諏訪蠶業學校 諏訪郡平野町
長野縣伊北農商學校 上伊那郡伊那富村
長野縣松本女子師範學校 松本市元原町
縣立長野高等女學校 長野市箱清水
縣立松本高等女學校 松本市蟻ヶ崎
縣立松本第二高等女學校 松本市元原町
縣立上田高等女學校 上田市常入殿泊町
縣立飯田高等女學校 下伊那郡飯田町
縣立諏訪高等女學校 諏訪郡上諏訪町
縣立諏訪第二高等女學校 諏訪郡平野町
縣立大町高等女學校 北安曇郡大町
縣立小諸高等女學校 北佐久郡小諸町
縣立平野高等女學校 諏訪郡平野町
縣立木曾高等女學校 西筑摩郡福島町
縣立篠ノ井高等女學校 更級郡篠ノ井町

山梨縣

縣立長野實科高等女學校 長野縣市西後町
縣立上田實科高等女學校 上田市新夢町
縣立飯田實科高等女學校 下伊那郡飯田町
下諏訪實科高等女學校 諏訪郡下諏訪町
長野縣塩尻實科高等女學校 東筑摩郡塩尻町
長野縣松本女子職業學校 松本市北深志大柳町

山梨縣師範學校 西山梨郡相川村
縣立甲府中學校 甲府市御崎町
縣立日川中學校 東山梨郡日川村
縣立都留中學校 北都留郡廣里村
縣立韮崎中學校 北巨摩郡韮崎町
縣立身延中學校 南巨摩郡身延村
市立甲府商業學校 甲府市湯田町
市立甲府工業學校 南都留郡谷村町
縣立工商業學校 西山梨郡千塚村
市立甲府工藝學校 東八代郡石和町
縣立蠶業學校 甲府市伊勢町
縣立農林學校 南都留郡瑞穂村
瑞穂實業學校 南都留郡瑞穂村
山梨縣女子師範學校 東山梨郡加納岩村
縣立甲府高等女學校 甲府市壽町
縣立山梨高等女學校 東山梨郡加納岩村
縣立都留高等女學校 北都留郡廣里村
縣立巨摩高等女學校 中巨摩郡明穂村

縣立韮崎實科高等女學校 北巨摩郡韮崎町
山梨縣身延實科高等女學校 南巨摩郡身延村
甲府女子商業學校 甲府市湯田町
山梨實踐高等女學校 甲府市愛宕町

靜岡縣

靜岡縣靜岡師範學校 靜岡市追手町
縣岡縣濱松師範學校 濱松市名殘町
縣立靜岡中學校 靜岡市安東
縣立濱松第一中學校 濱松市名殘町
縣立濱松第二中學校 濱松市西伊場町
縣立韮山中學校 田方郡韮山村
縣立沼津中學校 沼津市上香貫
縣立榛原中學校 榛原郡川崎町
縣立掛川中學校 小笠郡掛川町
縣立豆陽中學校 賀茂郡稻生澤村
縣立見付中學校 磐田郡見付町
縣立富士中學校 富士郡富士町
縣立志太中學校 志太郡藤枝町
縣立庵原中學校 清水市江尻
縣立靜岡商業學校 靜岡市追手町
縣立濱松商業學校 濱松市三組
縣立濱松第二商業學校 濱松市高町
縣立沼津商業學校 沼津市本字九子前
縣立島田商業學校 志太郡島田町

市立駿府商業學校 靜岡市東草深町
靜岡縣三島商業學校 田方郡三島町
靜岡縣清見湯商業學校 清水市入江町
縣立遠江商業學校 濱松市外曳馬村
縣立靜岡工業學校 靜岡市東鷹匠町
縣立濱松工業學校 濱松市北寺島町
縣立中泉農學校 磐田郡中泉町
縣立蠶業學校 濱名郡曳馬村
縣立大宮農學校 富士郡大宮町
縣立御殿場實業學校 駿東郡御殿場町
縣立周智農林學校 周智郡森町
縣立安倍農學校 靜岡市曲金
縣立燒津水產學校 志太郡燒津
靜岡女子師範學校 安部郡千代田村
縣立沼津高等女學校 沼津市三枚橋
縣立三島高等女學校 田方郡三島町
縣立靜岡高等女學校 靜岡市末廣町
縣立見付高等女學校 磐田郡見付町
縣立巴高等女學校 清水市上清水
縣立大宮高等女學校 富士郡大宮町
縣立榛原高等女學校 榛原郡川崎町
縣立藤枝高等女學校 志太郡藤枝町
縣立下田高等女學校 賀茂郡下田町
縣立掛川高等女學校 小笠郡掛川町
市立濱松高等女學校 濱松市松城町

靜岡縣北濱高等女學校 濱名郡北濱村
靜岡縣島田高等女學校 志太郡島田町
私立靜岡精華高等女學校 靜岡市鷹匠町
私立誠心高等女學校 濱松市松城町
私立濱松淑德高等女學校 濱松市平田町
沼津精華高等女學校 沼津市三枚橋

愛知縣

愛知縣第一師範學校 名古屋市東區東芳野町
愛知縣岡崎師範學校 岡崎市六供町
縣立第一中學校 名古屋市東區西二葉町
縣立豐橋中學校 豐橋市中柴町
縣立豐橋第二中學校 八名郡下川村
縣立岡崎中學校 岡崎市明大寺町
縣立明倫中學校 名古屋市東區白壁町
縣立津島中學校 海部郡津島町
縣立熱田中學校 名古屋市南區瑞穂町
縣立成章中學校 渥美郡田原町
縣立一宮中學校 一宮市一宮
縣立半田中學校 知多郡半田町
愛知縣刈谷中學校 碧海郡刈谷町
愛知縣惟信中學校 名古屋市南區惟信町
愛知縣小牧中學校 東春日井郡小牧町
愛知縣西尾中學校 幡豆郡西尾町
私立名古屋中學校 名古屋市東區長久寺町

私立尾張中學校 名古屋市中茶屋町
 東海中學校 名古屋市東區車道町
 愛知中學校 名古屋市東區田代町
 愛知縣商業學校 名古屋市南區瑞穂町
 市立名古屋商業學校 名古屋市中區御器所町
 名古屋市立第一商業學校 名古屋市西區兒主町
 名古屋市立第二商業學校 名古屋市南區呼続町
 豐橋市立商業學校 豐橋市東田
 私立享榮商業學校 名古屋市南區瑞穂町
 中京商業學校 名古屋市中區御器所町
 尾張商業學校 名古屋市中區御器所町
 東邦商業學校 名古屋市西區千種町
 愛知縣工業學校 名古屋市中區御器所町
 愛知縣西尾蠶糸學校 幡豆郡西尾町
 愛知縣女子師範學校 名古屋市西區北押切町
 愛知縣第一高等女學校 名古屋市東區武平町
 愛知縣第二高等女學校 名古屋市西區北押切町
 愛知縣津島高等女學校 海部郡津島町
 愛知縣西尾高等女學校 幡豆郡西尾町
 愛知縣刈谷高等女學校 碧海郡刈谷町
 愛知縣瀨戶高等女學校 東春井郡水野村
 縣立犬山高等女學校 丹羽郡犬山町
 名古屋市立第一高等女學校 名古屋市中區奧田町
 名古屋市立第二高等女學校 名古屋市南區熱田東町
 名古屋市立第三高等女學校 名古屋市東區東片端町

豐橋市立高等女學校 豐橋市旭町
 岡崎市立高等女學校 岡崎市六供町
 市立一宮高等女學校 一宮市九品寺村
 愛知縣淑徳高等女學校 名古屋市東區千種町
 私立福山第一高等女學校 名古屋市東區富士塚
 私立福山第二高等女學校 名古屋市東區田代町
 中京高等女學校 名古屋市中區南新町
 私立名古屋高等女學校 名古屋市東區葵町

岐阜縣
 岐阜縣師範學校 稻葉郡加納村
 岐阜縣岐阜中學校 岐阜市京町
 岐阜縣岐阜第二中學校 稻葉郡加納町
 岐阜縣岐阜太中學校 大野郡大八賀村
 岐阜縣東濃中學校 大垣市市町
 岐阜縣本巢中學校 可兒郡御嵩町
 岐阜縣武儀中學校 本巢郡席田村
 岐阜縣海津中學校 武儀郡美濃町
 岐阜縣大垣商業學校 海津郡今尾町
 縣立中津商業學校 安八郡安井村
 市立岐阜商業學校 惠那郡中津町
 縣立多治見工業學校 土岐郡多治見町
 縣立第一工業學校 羽島郡笠松町
 縣立第二工業學校 安八郡南抗瀨村

岐阜縣岐阜農林學校 稻葉郡加納町
 岐阜縣女子師範學校 稻葉郡加納町
 岐阜縣大垣高等女學校 大垣市郭町
 岐阜縣岐阜高等女學校 岐阜市西野町
 岐阜縣中津高等女學校 惠那郡中津町
 岐阜縣加納高等女學校 稻葉郡加納町
 岐阜縣本巢高等女學校 本巢郡北方町
 岐阜縣多治見高等女學校 土岐郡多治見町
 岐阜縣武儀高等女學校 武儀郡關町
 大垣市立高等女學校 大垣市藤枝
 私立佐々木高等女學校 岐阜市鶯谷

福井縣
 福井縣福井師範學校 福井市豐島中町
 縣立福井中學校 福井市城町
 縣立小濱中學校 遠敷郡雲濱村
 縣立武生中學校 南條郡武生町
 縣立大野中學校 大野郡大野町
 縣立三國中學校 坂井郡三國町
 北陸中學校 福井市江戶上町
 縣立敦賀商業學校 敦賀郡松原村
 福井市立福井商業學校 福井市寶水上町
 縣立工業學校 吉田郡丸山西村
 福井縣鯖江女子師範學校 今立郡舟津町
 福井福井高等女學校 福井市寶水上町

縣立武生高等女學校 南條郡武生町
 縣立大野高等女學校 大野郡大野町
 縣立敦賀高等女學校 敦賀郡敦賀町
 縣立小濱高等女學校 遠敷郡雲濱村
 縣立小濱高等女學校 今立郡舟津村

石川縣
 石川縣師範學校 金澤市彌生町
 縣立金澤第一中學校 金澤市下本多町
 縣立金澤第二中學校 金澤市飛梅町
 縣立金澤第三中學校 河北郡小坂村
 縣立七尾中學校 鹿島郡矢田鄉村
 縣立小松中學校 能美郡小松町
 縣立大聖寺中學校 江沼郡大聖寺町
 縣立輪島中學校 鳳至郡輪島町
 縣立羽咋中學校 羽咋郡羽咋町
 金澤中學校 石川郡三馬村
 縣立七尾商業學校 鹿島郡七尾町
 縣立金澤商業學校 金澤市上弓ノ町
 縣立小松商業學校 能美郡小松町
 縣立工業學校 金澤市中本多町
 石川縣女子師範學校 金澤市彌生町
 縣立金澤第一高等女學校 金澤市穴水町
 縣立金澤第二高等女學校 金澤市廣坂通
 縣立七尾高等女學校 鹿島郡西湊村

縣立羽咋高等女學校 羽咋郡羽咋町
 縣立小松高等女學校 能美郡小松町
 縣立松任高等女學校 石川郡松任町
 縣立輪島高等女學校 鳳至郡輪島町
 藤花高等女學校 金澤市西町一番丁
 小松實科高等女學校 能美郡小松町

富山縣
 富山縣師範學校 富山市西田地方町
 縣立富山中學校 上新川郡堀川村
 縣立高岡中學校 高岡市中川
 縣立魚津中學校 下新川郡加積村
 縣立礪波中學校 西礪波郡鷹栖村
 縣立神通中學校 富山市古手傳町
 縣立氷見中學校 氷見郡氷見町
 縣立射水中學校 射水郡新湊町
 縣立富山商業學校 富山市總曲輪
 縣立高岡商業學校 高岡市市原町
 縣立滑川商業學校 中新川郡滑川町
 富山縣伏木商業學校 射水郡伏木町
 縣立商船學校 射水郡新湊町
 縣立工業學校 高岡市中川
 市立富山工業學校 上新川郡堀川村
 縣立人善農學校 下新川郡人善町
 富山女子師範學校 下新川郡人善町

縣立富山高等女學校 上新川郡堀川村
 縣立高岡高等女學校 高岡市横田
 縣立滑川高等女學校 中新川郡滑川町
 縣立氷見高等女學校 氷見郡加納村
 縣立魚津高等女學校 下新川郡魚津町
 縣立礪波高等女學校 西礪波郡津澤町
 市立高岡高等女學校 高岡市松吟野
 市立富山高等女學校 富山市外西中野

京都府
 京都府師範學校 京都市上京區小山大野町
 府立京都第一中學校 京都市左京區下鴨北園町
 府立京都第二中學校 京都市下京區四塚千本東入
 府立京都第三中學校 葛野郡花園村
 府立福知山中學校 天田郡室津村
 府立宮津中學校 與謝郡宮津町
 府立桃山中學校 京都市伏見區堀内町
 府立園部中學校 船井郡園部町
 府立舞鶴中學校 加佐郡中筋村
 財團法人立命館中學校 京都市頭小山上總町
 財團法人東山中學校 京都市左京區永觀堂町
 私立平安中學校 京都市大宮七條ビル
 兩洋中學校 京都市三條通千本西入大竹
 大谷中學校 京都市東山區今熊野町
 聖峰中學校 京都市永觀堂町

縣立武生高等女學校 南條郡武生町
 縣立大野高等女學校 大野郡大野町
 縣立敦賀高等女學校 敦賀郡敦賀町
 縣立小濱高等女學校 遠敷郡雲濱村
 縣立小濱高等女學校 今立郡舟津村

石川縣
 石川縣師範學校 金澤市彌生町
 縣立金澤第一中學校 金澤市下本多町
 縣立金澤第二中學校 金澤市飛梅町
 縣立金澤第三中學校 河北郡小坂村
 縣立七尾中學校 鹿島郡矢田鄉村
 縣立小松中學校 能美郡小松町
 縣立大聖寺中學校 江沼郡大聖寺町
 縣立輪島中學校 鳳至郡輪島町
 縣立羽咋中學校 羽咋郡羽咋町
 金澤中學校 石川郡三馬村
 縣立七尾商業學校 鹿島郡七尾町
 縣立金澤商業學校 金澤市上弓ノ町
 縣立小松商業學校 能美郡小松町
 縣立工業學校 金澤市中本多町
 石川縣女子師範學校 金澤市彌生町
 縣立金澤第一高等女學校 金澤市穴水町
 縣立金澤第二高等女學校 金澤市廣坂通
 縣立七尾高等女學校 鹿島郡西湊村

縣立羽咋高等女學校 羽咋郡羽咋町
 縣立小松高等女學校 能美郡小松町
 縣立松任高等女學校 石川郡松任町
 縣立輪島高等女學校 鳳至郡輪島町
 藤花高等女學校 金澤市西町一番丁
 小松實科高等女學校 能美郡小松町

富山縣
 富山縣師範學校 富山市西田地方町
 縣立富山中學校 上新川郡堀川村
 縣立高岡中學校 高岡市中川
 縣立魚津中學校 下新川郡加積村
 縣立礪波中學校 西礪波郡鷹栖村
 縣立神通中學校 富山市古手傳町
 縣立氷見中學校 氷見郡氷見町
 縣立射水中學校 射水郡新湊町
 縣立富山商業學校 富山市總曲輪
 縣立高岡商業學校 高岡市市原町
 縣立滑川商業學校 中新川郡滑川町
 富山縣伏木商業學校 射水郡伏木町
 縣立商船學校 射水郡新湊町
 縣立工業學校 高岡市中川
 市立富山工業學校 上新川郡堀川村
 縣立人善農學校 下新川郡人善町
 富山女子師範學校 下新川郡人善町

縣立富山高等女學校 上新川郡堀川村
 縣立高岡高等女學校 高岡市横田
 縣立滑川高等女學校 中新川郡滑川町
 縣立氷見高等女學校 氷見郡加納村
 縣立魚津高等女學校 下新川郡魚津町
 縣立礪波高等女學校 西礪波郡津澤町
 市立高岡高等女學校 高岡市松吟野
 市立富山高等女學校 富山市外西中野

京都府
 京都府師範學校 京都市上京區小山大野町
 府立京都第一中學校 京都市左京區下鴨北園町
 府立京都第二中學校 京都市下京區四塚千本東入
 府立京都第三中學校 葛野郡花園村
 府立福知山中學校 天田郡室津村
 府立宮津中學校 與謝郡宮津町
 府立桃山中學校 京都市伏見區堀内町
 府立園部中學校 船井郡園部町
 府立舞鶴中學校 加佐郡中筋村
 財團法人立命館中學校 京都市頭小山上總町
 財團法人東山中學校 京都市左京區永觀堂町
 私立平安中學校 京都市大宮七條ビル
 兩洋中學校 京都市三條通千本西入大竹
 大谷中學校 京都市東山區今熊野町
 聖峰中學校 京都市永觀堂町

同志社中學校 京都市上京區烏丸通今出川
 京都中學校 京都市左京區岡崎東福之川町
 花園中學校 萬野郡花園村
 府立工業學校 中郡吉原村
 市立美術工藝學校 京都市今熊野町日吉町
 市立第一工業學校 京都市上京區烏丸通
 市立第二工業學校 上京區五辻通
 市立第一商業學校 京都市中京區松原通
 市立第二商業學校 京都市中京區中保町
 社団法人伏見商業學校 紀伊郡堀内村
 市立商業實修學校 京都市上京區富小路通
 立命館商業學校 京都市室町頭小山上總町
 私立福知山商業學校 天田郡福知山町
 京都商業學校 萬野郡花園村
 府立京都農林學校 京都市左京區上鴨半木町
 府立木津農學校 相樂郡木津町
 京都府女子師範學校 京都市伏見區堀内町
 府立京都第一高等女學校 京都市上京區寺町通
 府立京都第二高等女學校 京都市中京區西ノ原式部町
 府立宮津高等女學校 與謝郡宮津町
 府立舞鶴高等女學校 加佐郡舞鶴町
 府立福知山高等女學校 天田郡福知山町
 府立綾部高等女學校 何鹿郡綾部町
 府立桃山高等女學校 京都市伏見區桃山町
 市立堀川高等女學校 京都市中京區堀川通

市立同志社女學校 京都市上京區今出川通
 市立二條高等女學校 京都市上京區二條離宮西北
 京都淑德高等女學校 京都市上京區大宮通
 京都市立實科高等女學校 京都市伏見區御駕籠町
 京都高等女學校 京都市東上七條

私立浪速中學校 大阪市住吉區山之内町
 市立天王寺商業學校 大阪市北區西扇町
 市立扇町商業學校 大阪市港區西市岡町
 市立市岡商業學校 大阪市東區廣小路町
 市立東商業學校 大阪市天王寺區烏ヶ辻町
 財團法人大阪城東商業學校 中河内郡意岐郡村
 明星商業學校 大阪市東區御堂町
 成器商業學校 大阪市浪速區馬淵町
 關西甲種商業學校 大阪市東區長柄
 私立福島商業學校 大阪市西區川區浦江上
 私立京阪商業學校 北河内郡守口町
 私立日新商業學校 中河内郡布施町
 浪華商業學校 大阪市東區川區
 北陽商業學校 大阪市東區川區下新庄町
 興國商業學校 大阪市東區勝山通
 私立此花商業學校 大阪市東區長柄中道
 市立堺商業學校 堺市番ヶ丘町
 市立今宮職工學校 大阪市西區西四條
 市立都島工業學校 大阪市北區善源寺町
 市立泉尾工業學校 大阪市港區泉尾松ノ町
 大阪府女子師範學校 大阪市住吉區平野流町
 府立堺高等女學校 堺市車之町
 府立清水谷高等女學校 大阪市東區清水谷東町
 府立大手前高等女學校 大阪市東區大手前之町
 府立夕陽丘高等女學校 大阪市天王寺區夕陽丘町

大阪府

府立茨木高等女學校 三島郡春日村
 府立市岡高等女學校 大阪市港區市岡町
 府立泉尾高等女學校 大阪市港區泉尾松ノ町
 府立阿部野高等女學校 大阪市住吉區天王寺町
 府立生野高等女學校 大阪市東區勝山通
 府立八尾高等女學校 大阪府外大軌沿線山本
 市立高等女學校 大阪市北區北扇町
 堺市立高等女學校 堺市軸松町
 大谷高等女學校 大阪府住吉區天王寺町
 淀之水高等女學校 大阪市此花區西島町
 市立實科高等女學校 大阪市北區新川崎町
 私立帝塚山學院高等女學校 大阪府住吉區住吉町

縣立伊丹中學校 川邊郡伊丹町
 縣立小野中學校 加東郡小野町
 縣立明石中學校 明石市大藏谷村
 縣立加古川中學校 加古郡加古川町
 縣立赤穂中學校 赤穂郡赤穂町
 縣立尼崎中學校 尼ヶ崎市大物村
 財團法人辰馬學院甲陽中學校 武庫郡今津町
 神港中學校 神戶市神戶區元町通
 私立關西學院中學部 武庫郡甲東村
 私立三田中學校 有馬郡三田町
 瀧川中學校 神戶市須磨區板宿六田町
 灘中學校 武庫郡魚崎町
 縣立第一神戶商業學校 神戶市灘區西灘村
 縣立第二神戶商業學校 神戶市灘區西灘村
 神戶市立第一神港商業學校 神戶市湊西區會山下町
 神戶市立第二神港商業學校 神戶市湊西區會山下町
 神戶市立第三神港商業學校 神戶市須磨區西代柳谷
 私立育英商業學校 神戶市須磨區西代柳谷
 私立北神商業學校 武庫郡山田村
 縣立工業學校 神戶市湊西區兵庫大開通
 神戶村野工業學校 神戶市林田區長田町
 縣立農學校 加口郡平岡村
 明石女子師範學校 明石市山下町
 縣立第一神戶高等女學校 神戶市下山手通
 縣立第二神戶高等女學校 神戶市長田釜ヶ谷

縣立淡路高等女學校 津名郡洲本町
 縣立北條高等女學校 加西郡北條町
 縣立豐岡高等女學校 城崎郡豐岡町
 縣立姫路高等女學校 姫路市國府寺町
 縣立篠山高等女學校 多紀郡篠山町
 縣立伊丹高等女學校 川邊郡伊丹町
 縣立山崎高等女學校 六栗郡山崎町
 縣立生野高等女學校 朝來郡生野町
 市立第一高等女學校 神戶市灘區本通一丁目
 市立第二高等女學校 神戶市湊東區桶町六丁目
 市立西宮高等女學校 尼崎市尼崎町
 市立西宮高等女學校 西宮市染殿町
 姫路市立高等女學校 姫路市大藏前町
 兵庫縣明石高等女學校 明石市大藏谷
 財團法人松蔭高等女學校 神戶市灘區西灘
 財團法人甲南高等女學校 武庫郡本山村
 私立神戶成德高等女學校 神戶市葺合區葺合町
 神戶野田高等女學校 神戶市林田區海運町

兵庫縣

兵庫縣御影師範學校 武庫郡御影町
 兵庫縣姫路師範學校 姫路市伊傳居
 縣立第一中學校 神戶市葺合區葺合一宮町
 縣立第二中學校 神戶市林田區長田町
 縣立第三中學校 神戶市林田區池田
 縣立鳳中學校 多紀郡篠山町
 縣立姫路中學校 姫路市伊傳居
 縣立豐岡中學校 城崎郡豐岡町
 縣立龍野中學校 損保郡龍野町
 縣立洲本中學校 津名郡洲本町
 縣立柏原中學校 水上郡柏原町

和歌山縣
 和歌山縣師範學校 和歌山市真砂町
 縣立耐久中學校 有田郡廣村
 縣立和歌山中學校 和歌山市豐原町
 縣立田邊中學校 西牟婁郡田邊町
 縣立粉河中學校 那賀郡粉河町

和歌山縣

縣立新宮中學校 東牟婁郡新宮町
縣立海南中學校 海草郡大野村
縣立海草中學校 和歌山市宮町
縣立伊都中學校 伊都郡應其村
縣立日高中學校 日高郡御坊町
高野山中學校 伊都郡高野町
縣立和歌山商業學校 和歌山市西濱
縣立新宮商業學校 東牟婁郡新宮町
串本實業學校 西牟婁郡串本町
縣立箕島商業學校 有田郡箕島町
町立田邊商業學校 西牟婁郡田邊町
縣立工業學校 和歌山市撞木町
縣立紀南農業學校 日高郡南都町
縣立紀北農業學校 那賀郡岩出町
和歌山縣女子師範學校 海草郡日方町
縣立和歌山高等女學校 和歌山市湊通町
縣立新宮高等女學校 東牟婁郡新宮町
縣立田邊高等女學校 西牟婁郡田邊町
縣立橋本高等女學校 伊都郡橋本町
縣立日高高等女學校 日高郡御坊町
縣立粉河高等女學校 那賀郡粉河町
縣立有田高等女學校 有田郡湯淺町
縣立日方高等女學校 海草郡日方町
市立第一高等女學校 和歌山市九番丁
市立第二高等女學校 和歌山市秋月

和歌山縣箕島高等女學校 有田郡箕島町
串本家政女學校 西牟婁郡串本町
奈良縣師範學校 奈良市登大路町
縣立郡山中學校 生駒郡郡山町
縣立欽傍中學校 高田郡八木町
縣立五條中學校 宇智郡五條町
縣立宇陀中學校 宇陀郡神戶村
縣立奈良中學校 奈良市法蓮町
十津川中學文武館 吉野郡十津川村
天理中學校 山邊郡丹波市町
縣立育英學校 奈良市法蓮町
縣立商業學校 奈良市船橋町
縣立御所工業學校 南葛城郡御所町
縣立吉野工業學校 吉野郡吉野町
縣立南葛城農學校 南葛城郡御所町
縣立磯城農學校 磯城郡原田本町
縣立生駒農學校 生駒郡郡山町
奈良女高師附屬高等女學校 奈良市北魚屋西町
奈良女高師附屬實科高等女學校 奈良市北魚屋西町
縣立櫻井高等女學校 磯城郡櫻井町
縣立五條高等女學校 宇智郡五條町
縣立御所高等女學校 南葛城郡御所町
郡山高等女學校 生駒郡郡山町

奈良縣

三重縣

奈良育英高等女學校 奈良市法蓮町
天理高等女學校 山邊郡丹波市町
奈良縣高田實科女學校 北葛城郡高田町
三重縣師範學校 津市九ノ内殿町
縣立津中學校 安濃郡新町
縣立富田中學校 三重郡富田町
縣立山田中學校 宇治山田市船江町
縣立上野中學校 阿山郡上野町
縣立木本中學校 南牟婁郡木本町
縣立神戶中學校 河藝郡神戶町
縣立桑名中學校 桑名郡西桑名町
縣立尾鷲中學校 北牟婁郡尾鷲村
財團法人勸精中學校 安濃郡神戶村
眞宗勸學院 河藝郡一身町
縣立四日市商業學校 四日市市濱一色町
縣立松阪商業學校 飯南郡松阪町
縣立山田商業學校 度會郡濱鄉村
縣立鳥羽商船學校 志摩郡鳥羽町
縣立工業學校 飯南郡松阪町
市立工業學校 津市愛宕町
縣立農林學校 一志郡久居町
三重縣女子師範學校 鈴鹿郡龜山町
縣立津高等女學校 津市與柳山

縣立桑名高等女學校 桑名郡桑名町
縣立阿山高等女學校 阿山郡上野町
縣立飯南高等女學校 飯南郡松阪町
縣立南牟婁高等女學校 南牟婁郡木本
縣立鈴鹿高等女學校 鈴鹿郡龜山町
縣立尾鷲高等女學校 北牟婁郡尾鷲町
市立四日市高等女學校 四日市市四日市
三重縣宇治山田高等女學校 宇治山田市八日市場町
津市立高等女學校 津市九ノ内本町
鳥羽町立實科高等女學校 志摩郡鳥羽町

滋賀縣

岡山縣

滋賀縣師範學校 滋賀郡膳所町
縣立彦根中學校 犬上郡彦根町金龜
縣立膳所中學校 滋賀縣膳所町
縣立水口中學校 甲賀郡水口町
縣立八日市中學校 神崎郡八日市町
縣立今津中學校 高島郡今津町
縣立虎姬中學校 東淺井郡虎姬村
天台宗比叡山中學校 滋賀郡坂本町
縣立八幡商業學校 蒲生郡宇津屋村
縣立大津商業學校 大津市別所
縣立神崎商業學校 神崎郡北五箇莊村
縣立彦根商業學校 犬上郡彦根町
縣立長濱商業學校 坂田郡六莊村
縣立彦根工商學校 犬上郡千本村

岡山縣師範學校 岡山市門田
岡山縣第一岡山中學校 岡山市山下
岡山縣第二岡山中學校 岡山市網濱
岡山縣高梁中學校 上房郡高梁町
岡山縣津山中學校 津山市橋南町
岡山縣矢掛中學校 小田郡矢掛町
岡山縣閉谷中學校 和氣郡伊里村
縣立勝山中學校 眞庭郡勝山町
天城中學校 兒島郡藤戶町
關西中學校 岡山市巖井
金川中學校 御津郡金川町
中學岡山費 上道郡字野村
縣立第一岡山商業學校 岡山市門田
縣立第二岡山商業學校 岡山市門田

廣島縣

縣立笠岡商業學校 小田郡笠岡町
縣立倉敷商業學校 倉敷市倉敷新川
縣立津山商業學校 津山市山北
縣立玉島商業學校 淺口郡玉島町
市立岡山商業學校 岡山市內山下
吉備商業學校 岡山市廣瀬町
岡山縣兒島商船學校 兒島郡味野町
岡山縣工業學校 岡山市南方町
岡山縣女子師範學校 岡山市西中山下
縣立順正高等女學校 上房郡高梁町
縣立岡山高等女學校 岡山市大供
縣立笠岡高等女學校 小田郡笠岡町
縣立津山高等女學校 津山市山下
縣立倉敷高等女學校 倉敷市旭町
縣立玉島高等女學校 淺口郡玉島町
縣立勝山高等女學校 眞庭郡勝山町
縣立矢掛高等女學校 小田郡矢掛町
山陽高等女學校 岡山市門田
私立津山實科高等女學校 津山市山北
廣島縣廣島師範學校 廣島市皆實町
廣島縣福山師範學校 福山市三吉町
縣立廣島第一中學校 廣島市國泰寺町

縣立廣島第二中學校 廣島市觀音町
縣立福山誠之館中學校 福山市東霞町
縣立忠海中學校 豐田郡忠海町
縣立三次中學校 雙三郡三次村
縣立吳第一中學校 吳市東三津田町
縣立吳第二中學校 吳市宮原通三丁目
縣立格致中學校 比婆郡山内東村
縣立府中中學校 蘆品郡府中町
縣立世羅中學校 世羅郡東郡犬田村
廣島縣尾道中學校 尾道市長江町
財團法人興文中學校 吳市平原町
財團法人廣陵中學校 廣島市宇品町
崇德中學校 廣島市三篠町
濟美學校 廣島市基町
財團法人大正中學校 吳市長之木町
私立修道中學校 廣島市千田
縣立尾道商業學校 尾道市十四日町
縣立廣島商業學校 廣島市南竹屋町
私立盈進商業學校 福山市寺町
私立廣島縣松本商業學校 廣島市尾長町
廣島縣三原女子師範學校 御調郡三原町
縣立廣島高等女學校 廣島市下中町
縣立吳高等女學校 吳市二河通
縣立福山高等女學校 福山市三ノ丸町
縣立尾道高等女學校 尾道市久保町

縣立忠海高等女學校 豐日郡忠海町
縣立三原高等女學校 御調郡三原町
縣立柄高等女學校 沼隈郡柄町
吳市立高等女學校 吳市公園通五丁目
廣島市高等女學校 廣島市船入町
私立山中等高等女學校 廣島市千田町
進德高等女學校 廣島市千田町
私立吳精華高等女學校 吳市岩方通

鳥取縣

市立淑德高等女學校 米子市大工町
島根縣師範學校 松江市中原町
縣立松江中學校 松江市北堀町
縣立濱田中學校 那賀郡濱田町
縣立大社中學校 濱川郡大社町
縣立太田中學校 安濃郡太田町
縣立津和野中學校 鹿足郡津和野町
縣立商業學校 八東郡津田村
松江商工學校 松江市北堀町
縣立商船水產學校 周吉郡東郷村
縣立商工學校修道館 堀江市大正町
縣立松江農林學校 八東郡乃木村
縣立太田農學校 安濃郡太田町
縣立今市農商學校 濱川郡今市町
縣立川本農蠶學校 邑智郡川本町
縣立大社實業學校 濱川郡大社町
島根縣女子師範學校 那賀郡濱田町
縣立松江高等女學校 松江市母衣町
縣立濱田高等女學校 那賀郡濱田町
縣立津和野高等女學校 鹿足郡津和野町
縣立今市高等女學校 濱川郡今市町
縣立隱岐高等女學校 周吉郡西郷町
財團法人松操高等女學校 松江市中原町

島根縣

松江市立高等家政女學校 松江市母衣町
縣立大社高等實業學校 濱川郡大社町

山口縣

山口縣師範學校 山口市
縣立山口中學校 吉敷郡小郡町
縣立萩中學校 阿武郡萩町
縣立長府中學校 豐浦郡長府町
縣立德山中學校 都濃郡德山町
縣立岩國中學校 玖珂郡岩國町
縣立防府中學校 佐波郡防府町
縣立宇部中學校 宇部市山門
縣立下關中學校 下關市後田
縣立柳井中學校 玖珂郡柳井町
山口縣多々良中學校 佐波郡防府町
私立鴻城中學校 山口市中河原
市立下關商業學校 下關市後田
町立萩商業學校 阿武郡萩町
町立柳井商業學校 玖珂郡柳井町
德山商業學校 都濃郡德山町
防府商業學校 佐波郡防府町
縣立下松工業學校 都濃郡末武南村
縣立宇部工業學校 宇部市樋之口
縣立大島商船學校 大島郡小松町
山口縣女子師範學校 熊毛郡室積町

縣立山口高等女學校 山口市上宇野
縣立下關高等女學校 下關市後田
縣立岩國高等女學校 玖珂郡岩國町
縣立防府高等女學校 佐波郡防府町
縣立柳井高等女學校 玖珂郡柳井町
縣立德山高等女學校 都濃郡德山町
縣立萩高等女學校 阿武郡萩町
縣立長府高等女學校 豐浦郡長府町
縣立宇部高等女學校 宇部市中宇部安養寺
山口縣三田尻高等女學校 佐波郡防府町

德島縣

德島縣師範學校 德島市常三島町
縣立德島中學校 德島市富田浦町
縣立富岡中學校 那賀郡富岡町
縣立脇町中學校 美馬郡脇町
縣立撫養中學校 板野郡撫養町
縣立池田中學校 三好郡池田町
縣立阿波中學校 阿波郡神島村
麻植中學校 麻植郡川島町
縣立商業學校 德島市前川町
縣立工業學校 德島市前川町
縣立農業學校 名東郡賀茂名町
縣立板西農蠶學校 板野郡板西町
德島女子師範學校 德島市德島町

香川縣

縣立德島高等女學校 德島市德島町
縣立富岡高等女學校 那賀郡富岡町
縣立撫養高等女學校 板野郡撫養町
縣立三好高等女學校 三好郡辻町
縣立美馬高等女學校 美馬郡穴吹町
縣立名西高等女學校 名西郡高川原村
德島香蘭高等女學校 德島市富田浦町
板西高等實業女學校 板野郡板西町
香川縣師範學校 高松市西濱新町
縣立高松中學校 高松市五番町
縣立丸龜中學校 丸龜市番町
縣立大川中學校 大川郡三本松町
縣立三豐中學校 三豐郡觀音寺町
縣立多度津中學校 仲多度郡多度津町
縣立小豆島中學校 小豆郡草壁町
縣立高松第一中學校 高松市櫻町
盡誠中學校 仲多度郡善通寺町
縣立高松商業學校 高松市宮脇町
縣立坂出商業學校 綾歌郡坂出町
縣立志度商業學校 大川郡志度町
市立香川縣九龜商業學校 丸龜市地方船頭町
觀音寺商業學校 三豐郡觀音寺町
縣立工藝學校 高松市幸町
縣立木田農業學校 木田郡平井町

香川縣女子師範學校 綾部郡坂出町
縣立高松高等女學校 高松市五番丁
縣立丸龜高等女學校 丸龜市中府
縣立三豐高等女學校 三豐郡觀音寺町
縣立木田高等女學校 木田郡前田
縣立大川高等女學校 大川郡石田村
縣立坂出高等女學校 綾部郡坂出町
縣立小豆島高等女學校 小豆郡草壁町
普通寺高等女學校 伊多度郡普通寺町
私立明善高等女學校 高松市天神町
香川縣高松實科高等女學校 高松市五番丁

愛媛縣

愛媛縣師範學校 松山市木屋町
縣立松山中學校 松山市持田
縣立宇和島中學校 宇和島市御殿町
縣立西條中學校 新居郡西條町
縣立大洲中學校 喜多郡大洲町
縣立今治中學校 今治市日吉
縣立三島中學校 宇摩郡三島町
愛媛縣越智中學校 今治市日吉
北條中學校 松山市鐵砲町
愛媛縣吉田中學校 北字和郡吉田町
縣立八幡濱商業學校 西字和郡千條村
縣立松山商業學校 松山市水木町

高知縣

市立宇和島商業學校 宇和島市天神町
愛媛縣松山工業學校 松山市南味酒町
縣立松山農學校 温泉郡桑原村
縣立西條農學校 新居郡西條町
愛媛縣女子師範學校 温泉郡三津濱町
縣立松山高等女學校 松山市末廣町
縣立今治高等女學校 今治市大字今治村
縣立宇和島高等女學校 宇和島市櫻町
縣立大洲高等女學校 喜多郡大洲町
縣立西條高等女學校 新居郡西條町
縣立八幡濱高等女學校 西字和郡矢野崎村
縣立松山城北高等女學校 松山市大字味酒
愛媛縣新居濱高等女學校 新居郡新居濱町
私立濟美高等女學校 松山市湊町
今治精華高等女學校 今治市常盤町
縣立宇和島高等家政女學校 宇和島市妙典寺前

福岡縣

高知縣師範學校 高知市小高坂
縣立中學海南學校 高知市九段田
縣立高知城東中學校 高知市追手筋
縣立高知城北中學校 高知市小高坂
縣立中村中學校 幡多郡中村町
縣立安藝中學校 安藝郡安藝町
市立高知商業學校 高知市潮江町

福岡縣三池中學校 三池郡銀水村
福岡縣糸島中學校 糸島郡富山村
福岡縣福岡中學校 福岡市堅粕町
福岡縣若松中學校 若松市小石
福岡縣築上中學校 築上郡千束村
福岡縣鞍手中學校 直方市直方町
福岡縣八幡中學校 八幡市大藏
福岡縣浮羽中學校 浮羽郡江南村
福岡縣門司中學校 門司市丸山町
福岡縣三浦中學校 三浦郡城島町
福岡縣筑紫中學校 福岡市外塩原
財團法人南筑中學校 三井郡御井町
私立豐國中學校 門司市大里
福岡縣福岡工業學校 福岡市東湊町
福岡縣小倉工業學校 小倉市板櫃町
福岡縣八女工業學校 八女郡羽犬塚町
財團法人三井工業學校 大牟田市
市立大牟田商業學校 大牟田市川尻明治町
福岡縣飯塚商業學校 嘉穂郡飯塚町芳雄
久留米商業學校 久留米市東橋原町
市立福岡商業學校 福岡市堅粕町
市立小倉商業學校 小倉市富野
門司商業學校 門司市小森江
福岡縣嘉穂農學校 嘉穂郡飯塚町
福岡縣八女農學校 八女郡福島町宮ノ河

佐賀縣

福岡縣遠賀農學校 遠賀郡折尾町
福岡縣女子師範學校 福岡市鳥飼
福岡縣福岡高等女學校 福岡市因幡町
福岡縣久留米高等女學校 久留米市篠山町
福岡縣小倉高等女學校 小倉市砂津
福岡縣門司高等女學校 門司市谷町
福岡縣直方高等女學校 直方市直方町
福岡縣嘉穂高等女學校 嘉穂郡飯塚町
福岡縣若松高等女學校 若松市修多羅
福岡縣大牟田高等女學校 大牟田市日出町
福岡縣八幡高等女學校 八幡市鐵町
福岡縣筑紫高等女學校 福岡市下警
福岡縣折尾高等女學校 遠賀郡折尾町
福岡縣早良高等女學校 福岡市大字有田
福岡縣戶畑高等女學校 戶畑市大字戶畑
財團法人鶴城高等女學校 福岡市本社
財團法人九州高等女學校 福岡市荒戸町
私立筑紫高等女學校 福岡市下警固
私立久留米昭和高等女學校 築上郡椎田町
福岡縣宗像高等實業學校 宗像郡東郷町

長崎縣

私立城東商業學校 高知市北新町
縣立高知工業學校 高知市北門筋町
縣立農學校 長岡郡長岡村
高知縣女子師範學校 高知市潮江町
縣立高知第一高等女學校 高知市北門筋町
縣立第二高等女學校 高知市潮江町
縣立中村高等女學校 幡多郡中村町
縣立佐川高等女學校 高岡郡佐川町
私立土佐高等女學校 高知市追手筋
高坂高等女學校 高知市北與力町

縣立大村中學校 東彼杵郡大村町
縣立中學校猶興館 北松浦郡平戸町
縣立五島中學校 南松浦郡福江町
縣立島原中學校 南高來郡島原町
縣立壹岐中學校 壹岐郡武生水町
縣立對島中學校 下縣郡嚴原町
縣立佐世保中學校 佐世保市保立町
縣立諫早中學校 北高來郡諫早町
縣立瓊浦中學校 長崎市竹之久保町
鎮西學院中學校 長崎市竹之久保町
私立中學東山學院 長崎市竹之久保町
海星中學校 長崎市東山手町
縣立佐世保商業學校 佐世保市保立町
長崎市立商業學校 長崎市新中川町
長崎市立第二商業學校 長崎市新中川町
縣立農學校 北高來郡諫早町
長崎縣女子師範學校 長崎市櫻馬場町
縣立長崎高等女學校 長崎市西山町
縣立對島高等女學校 下縣郡嚴原町
縣立諫早高等女學校 北高來郡諫早町
縣立大村高等女學校 東彼杵郡大村町
縣立佐世保高等女學校 佐世保市八幡町
縣立五島高等女學校 南松浦郡福江町
縣立平戸高等女學校 北松浦郡平戸町
縣立島原高等女學校 南高來郡島原町

縣立壹岐高等女學校 壹岐郡武生水町
縣立口加高等女學校 南高來郡口之津町
市立成德高等女學校 佐世保市八幡町
市立高等女學校 長崎市下西山町

熊本縣
熊本縣第一師範學校 熊本市京町本町
熊本縣第二師範學校 熊本市健軍町
縣立中學濟々費 熊本市黒髮町
縣立八代中學校 八代郡八代町
縣立大津中學校 菊池郡大津町
縣立天草中學校 天草郡本渡町
縣立鹿本中學校 鹿本郡來民町
縣立熊本中學校 熊本市大江町
縣立玉名中學校 玉名郡彌富村
縣立宇土中學校 宇土郡宇土町
縣立御船中學校 上益城郡木倉村
縣立人吉中學校 球磨郡大村
鎮西中學校 熊本市大江町
縣立商業學校 熊本市京町
縣立第二商業學校 熊本市大江町
市立商業學校 熊本市新町
縣立工業學校 熊本市大江町
縣立熊本農業學校 熊本市出水町
縣立阿蘇農業學校 阿蘇郡宮地村

縣立菊池農蠶學校 菊池郡限府町
縣立天草農業學校 天草郡本渡町
熊本縣女子師範學校 熊本市内坪井町
縣立八代高等女學校 八代郡八代町
縣立第一高等女學校 熊本市藏内町
縣立第二高等女學校 熊本市内坪井町
縣立松橋高等女學校 下益城郡松橋町
縣立限府高等女學校 菊池郡限府町
縣立甲佐高等女學校 上益城郡甲佐町
縣立高瀬高等女學校 玉名郡彌富村
縣立本渡高等女學校 天草郡本渡町
縣立人吉高等女學校 球磨郡藍田村
縣立阿蘇高等女學校 阿蘇郡宮地町
市立高等女學校 熊本市手取本町
熊本縣尚絨高等女學校 熊本市大江町

大分縣
大分縣師範學校 大分市賦原
縣立大分中學校 大分市上野
縣立中津中學校 中津市榮町
縣立杵築中學校 速見郡杵築町
縣立臼杵中學校 北海部郡舊杵町
縣立竹田中學校 直入郡竹田町
縣立宇佐中學校 宇佐郡宇佐町
縣立佐伯中學校 南海部郡佐伯町

縣立日田中學校 日田郡日田町
縣立國東中學校 東國東郡國東町
縣立大野中學校 大野郡大野町
私立扶桑中學校 中津市牛神
市立中津商業學校 中津市大塚町
市立大分商業學校 大分市長濱通
町立舊杵商業學校 北海部郡舊杵町
縣立工業學校 大分市勢家町
日田工業學校 日田郡日田町
縣立四日市農學校 宇佐郡四日市町
縣立日田山林學校 日田郡日田町
縣立國東農學校 東國東郡國東町
大分縣女子師範學校 大分市長濱町
縣立大分高等女學校 大分市大分
縣立中津高等女學校 中津市二ノ丁
縣立竹田高等女學校 直入郡竹田町
縣立舊杵高等女學校 北海部郡舊杵町
縣立杵築高等女學校 速見郡杵築町
縣立四日市高等女學校 宇佐郡四日市町
縣立佐伯高等女學校 南海部郡佐伯町
縣立日田高等女學校 日田郡日田町
縣立國東高等女學校 東國東郡國東町
縣立別府高等女學校 別府市字別府
扇城高等女學校 中津市中殿町
岩田實科高等女學校 宇佐郡長洲町

宮崎縣
宮崎縣師範學校 宮崎市西丸山町
縣立宮崎中學校 宮崎市神宮町
縣立都城中學校 都城市中河原
縣立延岡中學校 東舊杵郡延岡町
縣立延岡商業學校 南那珂郡吾田村
縣立延岡小學 西諸縣郡小林町
縣立小心中學校 兒湯郡妻町
縣立妻中學校 都城市一萬城町
縣立慎修中學校 都城市中河原
縣立都城商業學校 東舊杵郡延岡町
市立宮崎商業學校 宮崎市霧島町
縣立宮崎工業學校 宮崎市宮田町
縣立宮崎農學校 宮崎市赤江町
縣立依肥農學校 南那珂郡吾田村
縣立都城農學校 北諸縣郡沖水町
縣立依肥農學校 東舊杵郡延岡町
宮崎縣女子師範學校 宮崎市西丸山町
縣立宮崎高等女學校 宮崎市上別府
縣立都城高等女學校 都城市姬城町
縣立依肥高等女學校 南那珂郡依肥町
縣立小林高等女學校 西諸縣郡小林町
縣立延岡高等女學校 東舊杵郡延岡町
縣立高鍋高等女學校 兒湯郡高鍋町

鹿兒島縣
鹿兒島縣第一師範學校 鹿兒島市武町
鹿兒島縣第二師範學校 日置郡西市來村
縣立第一鹿兒島中學校 鹿兒島市藥師町
縣立第二鹿兒島中學校 鹿毛郡上ノ園町
縣立志布志中學校 嚙吟郡志布志町
縣立川内中學校 薩摩郡川内町
縣立大口中學校 伊佐郡大口町
縣立加治木中學校 給良郡加治木町
縣立鹿屋中學校 肝屬郡鹿屋町中名
縣立川邊中學校 川邊郡川邊町
縣立牧ノ原中學校 給良郡數根村
縣立大島中學校 大島郡名瀬町
縣立出水中學校 出水郡出水町
縣立指宿中學校 指宿郡指宿村
縣立伊集院中學校 日置郡伊集院町
私立福山中學校 給良郡福山村
鹿兒島中學校 鹿兒島市藥師町
市立鹿兒島商業學校 鹿兒島市下荒田町
川內商業學校 薩摩郡川内町
私立鹿兒島實業學校 鹿兒島市藥師町
縣立薩南工業學校 川邊郡知覽村
縣立鹿兒島工業學校 鹿兒島市草牟田町
鹿兒島縣女子師範學校 鹿兒島市山下町

縣立第一高等女學校 鹿兒島市加治屋町
縣立第二高等女學校 鹿兒島市山下町
縣立國分高等女學校 始良郡國分町
縣立川内高等女學校 薩摩郡川内町
縣立出水高等女學校 出水郡出水町
縣立指宿高等女學校 指宿郡指宿村
鹿兒島縣枕崎高等女學校 川邊郡枕崎町

沖繩縣

沖繩縣師範學校 首里市當藏町
縣立第一中學校 首里市眞和志町
縣立第二中學校 島尻郡眞和志村
縣立第三中學校 國頭郡名護町
縣立宮古中學校 宮古郡平良町
市立商業學校 那覇市若狹町
縣立工業學校 首里市當藏町
縣立農林學校 中頭郡北谷村
縣立水產學校 那覇市住吉町
縣立第一高等女學校 島尻郡眞和志村
縣立第二高等女學校 那覇市久米町
國頭高等女學校 國頭郡名護町
首里市立女子工藝學校 首里市當藏町

北海道

北海道廳立札幌師範學校 札幌市南廿一條西十二丁目
北海道廳立函館師範學校 函館市龜田
北海道廳立旭川師範學校 旭川市北門町十二丁目
北海道廳立札幌第一中學校 札幌市南十八條西六丁目
北海道廳立札幌第二中學校 札幌市北三條西十九丁目
函館市龜田
小樽市沙見堂町
旭川市六條通十一丁目
釧路市春採町
室蘭市榮町
空知郡瀧川町
空知郡岩見澤町
虻田郡俱知安町
網走郡網走町
常呂郡野付牛町
上川郡名寄町
河西郡帶廣町
山越郡八雲町
宗谷郡稚內町
余市郡余市町
留萌郡留萌町
龜田郡七飯村
小樽市坂本町
札幌市豐平八條六丁目
函館市五稜廓通
根室郡根室町

朝鮮

私立小樽嶺丘高等女學校 小樽市綠町
函館大谷高等女學校 函館市千代ヶ丘町
町立稚內實科高等女學校 宗谷郡稚內町
余市實科高等女學校 余市郡余市町
俱知安實科高等女學校 虻田郡俱知安町

官立京城師範學校 京城府黃金町
公立京畿道師範學校 京畿道高陽郡阿峴里
公立忠清北道師範學校 忠清北道清州郡清州面
公立忠清南道師範學校 忠清南道公州郡公州面
公立全羅北道師範學校 全羅北道全州郡全州面
公立全羅南道師範學校 全羅南道光州郡光州面
官立大邱師範學校 大邱府大鳳町
公立慶尙北道師範學校 大邱府大鳳町
公立慶尙南道師範學校 慶尙南道晉州郡晉州面
公立黃海道師範學校 黃海道海州郡海州面
官立平壤師範學校 平壤府山手町
公立平安北道師範學校 平安北道義州郡義州面
公立江原道師範學校 江原道春川郡春川面
公立咸鏡北道師範學校 咸鏡北道鏡城郡羅南面
公立咸鏡南道師範學校 咸鏡南道咸興郡咸興面
公立京城師範學校 京城府西大門町
公立龍山中學校 京城府漢江通
公立大田中學校 忠清南道大田郡大田面

公立群山中學校 群山府新豐洞
公立光州中學校 全羅南道光州郡瑞坊面
公立大邱中學校 大邱府大鳳町
公立釜山中學校 釜山府草梁町
公立平壤中學校 平壤府南山町
公立新義州中學校 平安北道義州郡光城面
公立元山中學校 元山府陽池洞
公立羅南中學校 咸鏡北道鏡城郡
京城公立商業學校 京畿道高陽郡漢芝面
京城公立商業學校 京城府清雲洞
仁川公立商業學校 仁川府栗木里
京城公立商業學校 京城道開城郡
木浦公立商業學校 木浦府大成洞
大邱公立商業學校 大邱府大鳳町
釜山公立商業學校 釜山府大新町
慶尙南道商業學校 慶尙南道東萊郡
馬山公立商業學校 馬山府石町
新義州公立商業學校 新義州府本町
咸興公立商業學校 咸鏡南道咸鏡郡
會寧公立商業學校 咸鏡北道會寧郡
善隣商業學校 京城府青葉町
鎮南浦公立商工學校 鎮南浦府明峙町
京城鐵道學校 平壤府東漢江通
京城工業學校 平壤府東山崇洞
京城第一高等女學校 京城府貞洞

道立京城第二高等女學校 京城府貞洞
道立仁川高等女學校 仁川府山根町
道立清州高等女學校 忠清北道清州郡清州面
道立大田高等女學校 忠清南道大田郡大田面
道立群山高等女學校 群山府新興洞
道立全州高等女學校 全羅北道全州郡伊東面
道立木浦高等女學校 木浦府山手町
道立光州高等女學校 全羅南道光州郡光州面
道立大邱高等女學校 大邱府東雲町
道立釜山高等女學校 釜山府土城町
道立馬山高等女學校 馬山府都町
道立鎮海高等女學校 慶尙南道昌原郡鎮海面
道立黃海高等女學校 黃海道海州郡海州面
道立平壤高等女學校 平壤府若松町
道立鎮南浦高等女學校 鎮南浦府龍井町
道立元山高等女學校 元山府飯橋洞
道立咸興高等女學校 咸鏡南道咸興郡咸興面
道立羅南高等女學校 咸鏡北道鏡城郡羅南面
新義州公立高等女學校 新義州府本町
京城女子公立實業學校 京城府壽松洞
公州公立高等女學校 忠清南道光州郡州外面
清津公立高等女學校 清津府福泉町

樺太廳大泊中學校 大泊郡大泊町

樺太廳豊原中學校 豊原郡豊原町東九條
 樺太廳眞岡中學校 眞岡郡眞岡町
 樺太廳大泊高等女學校 大泊郡大泊町
 樺太廳豊原高等女學校 豊原郡豊原町
 廳立眞岡高等女學校 眞岡郡眞岡町北濱町
 公立泊居高等女學校 泊居郡泊居町
 私立大泊實科女學校 大泊郡大泊町
 私立藤川實科女學校 豊原郡豊原町

關東洲

官立旅順師範學堂 旅順市松村町
 官立旅順第一中學校 旅順市大迫町
 官立旅順第二中學校 旅順市明治町
 官立大連第一中學校 大連市博文町
 官立大連第二中學校 大連市水仙町
 官立大連商學堂 大連市橋立町
 大連市立商工學校 大連市柳町
 官立金州農業學堂 金州城外屯
 旅順師範學堂附屬女學堂 旅順市松村町
 官立旅順高等女學校 旅順市松村町
 官立大連神明高等女學校 大連市神明町
 大連彌生高等女學校 大連市彌生町
 大連羽衣高等女學校 大連市羽衣町

奉天中學校 奉天新高町
 新京商業學校 新京常盤町
 開原縣立師範學校 遼寧省開原
 遼陽商業學校 遼寧省遼陽月見町
 南滿中學校 奉天桂町
 撫順中學校 奉天西十條通
 安東中學校 遼寧省六道溝
 鞍山中學校 遼寧省鞍山
 新京高等女學校 新京遼寧町
 撫順高等女學校 奉天東七條通
 鐵嶺高等女學校 遼寧省六道溝

台灣

新語辭典

ア

アイス 氷△アイス・ウオーター 氷水
 △アイス・ホッケイ 氷上で行ふホッケー。
 アイディアル 理想的な。
 アイボリー ●象牙●象牙色の西洋紙。
 アウト ●外に△アウト・カーブ 打者に對して外に曲る球(野球)△アウト・ドロップ 打者に對して外に曲り急に落ちる球(野球)●死(野球)、線外球(庭球)

アウト・ライン ●輪廓●梗概。
 赤行囊 大切な郵便物を入れた赤い布袋
 赤字 簿記で収入不足の金額を赤インクで書く所から、収入不足を「赤字」が出て書く所から、収入不足を「赤字」が出たと云ふ。
 アクセント 言葉の調子。發音の音調。
 アジ アジテーションの畧。煽動する事
 △アジる 煽動する。△アジ・ピラ 煽動的な事を書いた宣傳ピラ。
 アース ●地球。●ラヂオ等の地下線。
 アンシエーション ●ア式蹴球。サッカー。●協會。

アップビル 訴へる。強く働きかける事。
 アップ・ツー・デート 現代式。最新式。
 アドミラル 海軍大將。水師提督。
 アトリエ 美術家の製作場。畫室。工房
 アナ ●アナキズム(無政府主義)又はアナキスト(無政府主義者)の畧。
 ●アナウンサー(放送辯士)の畧。
 アパート アパートメント・ハウスの畧、文化式共同住宅。洋館の各室を仕切つて多数の家族が住めるやうにした家。
 アベニュー 並樹路。大通。
 アマチュア 素人。本職でない人。
 アメリカニズム 米國流の實利輕便主義。
 ア・ラ・モード 最新流行の。最新型の。
 アルト ●中音部(音樂)●その歌手。

自動車馬車 (米) ドーオフ



(米) スタツセエ



(米) レボシ



州立嘉義中學校 嘉義市山子頂
 州立高雄中學校 高雄市三塊厝
 州立台北商業學校 台北市幸町
 州立台中商業學校 台中市新高町
 台南商業學校 台南市末廣町二丁目
 州立台北市工業學校 台北市大安
 宜蘭農林學校 台北州宜蘭郡礁溪庄
 州立嘉義農林學校 嘉義市山子頂
 州立台北第一高等女學校 台北市文武町
 州立台北第二高等女學校 台北市幸町
 州立台北第三高等女學校 台北市西門町
 州立基隆高等女學校 基隆市田寮港
 州立新竹高等女學校 新竹市新竹
 州立台中高等女學校 台中市幸町
 州立彰化高等女學校 台中州彰化郡彰化東門
 州立台南第一高等女學校 台南市綠町
 州立台南第二高等女學校 台南市南門町
 州立嘉義高等女學校 嘉義市下路頭
 州立高雄高等女學校 高雄市苓寮雅
 花蓮港高等女學校 花蓮港蘭花港街朝日通

アルバム 寫眞帖。繪端書帖。畫帖。

アルピニスト アルプス登山家。

アレグロ 快い急調子(音楽)。

アンコール 再演を望む拍手、歡聲など。

アンダー 下の△アンダー・スロー 下

から投げる球(野球)△アンダー・ラ

イン 書物の要點の下に引く線。

アンジ 「反対」「反抗」の意味。

アンバイア 競技の審判官。

イ

移出入 内地、朝鮮、台灣、樺太、南洋

諸島の相互の間の貿易を云ふ。

イズム 「主義」「説」の意。

イニシアル 姓名等個有名詞の頭字。

委任統治 世界大戦に於ける聯合國側の

占領地を國際聯盟の依頼で統治する事

イン ●中に△イン・カーブ 打者の方に急

に曲る球(野球)●線内に入る事(庭球)

インタカレッツジ 對校の。對校競技。

インタナショナル ●國際的の△インタ

ナショナル・リーグ ●國際労働者同盟。

インタフェア 他の選手を邪魔する(競技)

インテリ インテリゲンチヤの略、知識。

の比較的高い階級。知識階級。

印度民族革命運動 印度民族が英國の支

配から脱して獨立しようとする運動。

インニング 回(野球)。

インフィールド 内野(野球)

インフレーション 通貨が増えるとその

價值が下つて物價が高くなる現象。此

の反対はデフレーションで「通貨收縮」

いんちき 「擬ひもの」「いかさまもの」

「ごまかし」等の意。

ウ

ウィーク・エンド 週末。土曜又は金曜

の午后から次週の月曜の朝までを云ふ。

ウィンター・スポーツ 冬季競技。スキ

ー・スケート・蹴球等を云ふ。

ウインドー 窓△ショー・ウインドー。

ウエスト・ボール 釣り球(野球)。

ウエーヴ 毛髪を焼錢で波形に縮らす術

ウエルカム 歡迎(WELCOME)

ウォーター 水△ウォーター・シュー

ト 舟△ウォーター・ポロ 水球(競技)

ウォーミングアップ 競技前の準備運動

ウオッチ 懐中時計。

右傾 保守的・反動的な事。此の反対は左

傾て急進的な事。

ウラー 萬歳!

ウルトラ 「超」「極端」△ウルトラ・

モダン 非常に近代的な事。超近代的

エ

エア ●空氣。●空。

エアシップ 飛行船。航空船。△エアロ

ブレイン 飛行機。△エア・ポート

飛行機發着所。空港。△エア・ポケツ

ト 氣流の關係で飛行機が急に上へ上

るか又は下に落ちる所。△エア・ライ

ン 航空路。△エア・ガール 飛行機

の奉仕女

エキストラ ●臨時の。余計の。△エキ

ストラ・インニング 延長戦、補回戦

(野球) ●臨時雇の素人の俳優(映

畫)

エース ●骨牌の一。●妙手。

エス・オ・エス(S・O・S) ●難破

船が救助を求め、無電信號。

エスカレーター 自動的に人の上に運ぶ

階段のやうな形の装置。自動階梯。

エスケープ 學生が授業を受けずに遊び

に出る事。脱出、逃走。

エスペラント 萬國共通語の一つ。

エックス(X) 正体の解らぬ事又は物

未知數。エツキス。

エッセンス 食品の素。要素、本質。

エトセトラ(ETC.) 等々。其の他。

エナメル 金屬・陶器の釉藥。珐瑯。

エヌ・ワイ・ケイ(N・Y・K) 日本

郵船會社(NIPPONYUSENKAI

SHA)の頭字。

エネルギー 仕事をする力。元氣。

エピソード 本題の小話。挿話。

エピローグ 終曲。結末。

エープリル・フル 四月馬鹿。四月一

日にはどんな嘘を吐いても構はないと

云ふ西洋の戲。

エプロン 胸から下を蔽ふ前掛。

エポック 新時代。△エポック・メイキ

ング 劃期的。新時代を開く程の。

エポナイト 護謨・硫黄で作つた硬化ゴ

ム。萬年筆の軸・レコード等に用ふ。

エラー あやまり、過失、失策、失敗。

エール 應援の叫聲。應援歌。

エレベーター 網て人や荷物を上下しする機械。自動昇降機。

エレキ 電気。

エンサイクロペディア 百科大辞典。殆ど總ゆる方面の事を書いてある辞書。

エンジン 發動機、機關。△エンジン技師。機關手。

圓卓會議 席順等に關係なく懇談的にする會議。有名なものには英印圓卓會議太平洋會議、上海圓卓會議等。

還洋漁業 數ヶ月の食料を用意して海上遠く出かける漁業。

オ

オアシス ●沙漠の中の泉の湧いてゐる草地。●休息・慰安を興へる場所。

オリエンタル 東洋風の△オリエンタルホテル 神戸にある國際的ホテル。

オリンピック 國際競技會。

オール 全。全部の△全横濱全神戸、等△オール・スター・キャスト 人氣俳優總出演(映畫)。△オール・トーキョー 俳優の聲・擬音等全部入つてゐる映畫。

オレンジ ●柑橘(蜜柑の類) ●橙黄色

オーロラ 極地に現れる美しい光。極光

オン・ザ・マーク 位置に着け!(競走)

オン・パレード 「總出演」「大行列」の意。

おんち 「薄のろ」。少し抜けてゐる人

オイル 油△オリヴ・オイル 橄欖油

オー・エス・ケー(O.S.K) 大阪商船會社(OSAKASHOSENKAI)

SHAの頭字。

オクターブ ドからシ迄(音楽)

オー・ケー(O.K) 「承知した」「結構」「オーライ」等の意味。

オーケストラ ●多數の樂器で演奏する音楽●管絃樂團。合奏團。

オンリテイー ●權威。大家 ●當局

オーダー ●順序●命令。注文。

オーバー ●越える事 △オーバーンスロー上から投下す球(野球) ●オーバ

ー・コート)の略、外套。

オフィス ●事務所、役所 ●職務。

オヴザヴァー 利害關係の多い國際的

カー 車。△モーター・カー 自動車。

海關 支那及び滿洲國の税關て必ずしも海路にある譯ではない。

階級 身分又は經濟上等の地位の同じ人の集り。上流(資本家)階級・中流(俸給生活者・中小工業者)階級。(一般労働者・プロレタリア)階級に分れる。

解禁 禁止してゐた事柄の禁を解く事△鮎解禁 鮎釣許可。△金輸出解禁。

海軍休日案 或期間中軍艦や其他の兵器の製造を止めようと云ふ案。

外債 國家が外國から借りた金。日本の外債は約二十億圓ある。

解消 内部の原因から團體が解散する事

ガイド 案内者。△ガイド・ブック 案内

會議に出席の權利なくとも傍聴者として代表者を出席させる。其の代表者を云ふ。發言出来るが投票は出来ない。

オフセット 印刷術の一種。此「兒童年鑑」はオフセット印刷である。

オブラート 散薬を飲みよくする包紙。

オープン ●公開の。△オープン・レース 誰でも出場出来る公開競技 ●幌の無い △オープン・カー 幌無自動車

オペラ 臺詞が歌の劇。歌劇。

オペラ・バググ 婦人用の手提袋。

オミット ●省略。●選手を除外する(競技)

オーライ 宜しい。承知した。合點。

オリヴ ●橄欖。橄欖の實 ●濃綠色

内書。

ガウン 寛かな上衣。教授・僧侶の制服

カウント ●計算△カウンター 帳場係

●得點勘定△カウンター 點取(撞球)革命 ●政体又は主權者を變へる事●經濟組織の急劇な變化。

華僑 支那商人の海外移民。多く南洋方面に居て經濟上の勢力が大きい。

ガソリン 發動機用の燃料で揮發油の一種。日本は多く米國から輸入してゐる

がロシアからも買ふ事となつた△ガソリン・スタンド 自動車にガソリンを賣る所△ガソリン・ガール 其女賣子

ガーター ●靴下留●英國の最高勳章。

カタパルト 飛行機が滑走せずに飛べるやう射出す機械。飛行機射出機。

カ

ガイド 案内者。△ガイド・ブック 案内

カタル(加答兒) 諸器管の粘膜に起る

炎症△咽喉カタル△腸カタル

カタログ(型録) 商品の目録。營業案内がつちり

カッター ●頑丈。●抜目のない。

カッター ●艦載の小艇。●裁断器。

カッター ●新聞雑誌等の小挿繪。●削る

△カツティング フィルムの余分な所を切る事(映畫)。●球をきる(庭球・卓球)。

カップ ●西洋盃。●賞杯。

カーテン 窓掛け。幕、帳。

カード ●かるた。骨牌●名刺。小紙片

ガード ●護衛。見張番。ゴールを守る

選手(籠球)。●街路上の鐵橋。

カトリック(加特力) 基督教の一派天主教

カンバス 油繪を描くツツクの布、畫布

キ

キー ●樂器の鍵盤。●手引、要訣。

機會均等 政治、經濟、教育等に携はる

機會を誰に同じに與へる事。門戸開放も殆ど同じ意味に用ひられる。

歸化 他國民が或る國に國籍を定めてその國民となる事。

キック 蹴る。△キック・オフ蹴球開始

キネマ 活動寫眞、シネマ。

キヤステイング・ヴォート 決裁投票、

裁決權。賛否が略同数の時、賛否何れかに決める投票。其の投票權を持つ事を「キヤステイング・ヴォートを握る」と云ふ。

蟹工船 鐵詰作業の設備のある蟹漁船。

カパー ●蔽ひ。本の表紙包み ●後逸した球を取る爲後に廻る事(庭球・野球)

カーブ ●曲線。●曲曲 ●打者の直前で急に内外に方向を變へる球、曲球(野球)。

カフェー 喫茶店。小さな料理屋。

カーベット 毛氈、絨毯 敷物にする。

カーボン 炭素。△カーボン紙 炭酸紙

カムフラージュ 敵軍を欺く爲の彩色。迷彩、擬裝。軍用列車等に用ひる。

カメラ 寫眞機。暗箱。△カメラ・マン 撮影技師(映畫)。素人寫眞家。

カラー ●洋服の襟 ●色。繪具。

ガール 少女。

ガレージ 自動車車庫。飛行機格納庫。

キヤスト 俳優の配役・役割。△モデル

スター・キヤスト 人氣俳優總出演。

キヤツシユ 現金、貨幣、紙幣を云ふ。

キヤツチ 捕へる。△キヤツチボール 捕球、捕球 △キヤツチャー 捕手(野球)。

キヤビン 船室。△キヤビン・ボイ 室附給仕

キヤブテン ●艦長、船長。●主將。

キヤラバン ●沙漠を隊を組んで旅行する商人の群。●行商人を云ふ。

キヤング 誘拐・脅迫・強盜・殺人等を常習とする悪漢の群。米國が本家本元で最近東京にも現れて世人を驚かせた。

キャンブ 天幕生活、野營。△キャンピング は天幕を張つて野宿する事。

カレッジ 専門學校。一つの課目から成る大學、單科大學、醫科・農科大學等

カレンダー 曆、柱よみ。

關稅 一種の租稅で貿易品に課するもの

△通過稅 稅關を伸繼所とする品に課する關稅。△關稅自主權 他國によらず自國の法律で關稅率を定め得る權利

△關稅戰爭 甲乙兩國が互ひに他國品に課する關稅率を高くする事。△關稅障壁 自國の産業を保護する爲に定めた高率の關稅。△關稅同盟 甲乙兩國が相互の利益を増し、他國にそれを侵されない爲特別に關稅の協定を行ふ事

ガンヂー主義 印度のガンヂーの主張する無抵抗不服從主義を云ふ。

カンニング 學生が試験に不正をする事

支那労働者の自衛團 罷業の裏切・官憲の妨害等を防ぐ。

共產黨 第三インタナショナルに加つてある政黨。本部はロシアにある。

金本位制度 貨幣の根本を金とする制度

日本では金〇・二匁を一回としてゐる

ギロチン ●断頭臺 ●断裁機

キング ●王。●骨牌のK。

クイーン ●皇后、女王。●骨牌のQ。

クツシヨン 椅子蒲團、羽蒲團。枕。

クー・デ・ター 武力で反對派を追拂ひ國家の權力を握る非常手段、武斷政治

グッド 良い△グッドバイ「さようなら」

クーポン 切抜品券・割引券。

ク

クライマックス 最も調子の出た時、最高潮、絶頂、頂点。

グラウンド 運動場、競技場。△グラウンド・ルール 競技場に關する協定。

クラス 級、組。△クラスメート 同級生。

グラビヤ 印刷で寫真凹版。

クノブ ●俱樂部。●骨牌の三葉札。

グラフ ●圖表、表解。●畫報、寫真畫報。

マランド 偉大な△グラウンド・オペラ

大歌劇△グラウンド・ピアノ 大型ピアノ。

クリー(苦力) 支那の人力、人足。

クリーク 自然に出来た小さな川や支流

クリスチヤン 基督教信者、耶穌教徒。

鋼索電車 ●海底電線 ●架空線。

ゲー・ペー・ウー(G・P・U) ロシヤの國家保安部の頭字。政府に反對する者を引捕へて處分する權力を持つてゐる。

ゲーム 競技、勝負事。勝負の點數。△ゲーム・セット 試合終了(競技)

工業動員 戦時に國內の工業を強制的に軍用品製造に従はさせる事を云ふ。

公債 國家や自治團體などの借金。

五・一五事件 昭和七年五月十五日の帝都不穩事件。警視廳、首相官邸等の要處が襲はれ、犬養首相は射殺された。

五ヶ年計畫 ロシヤの五ヶ年間に生産力

クリスマス 基督の誕生記念日(十二月廿五日) △クリスマス・イーヴ 降誕祭の前夜 △クリスマス・カード 降誕祭の祝狀 △クリスマス・ツリー 飾り木

クリーン・ヒット 絶好な安打、快打

(野球)

グループ 仲間、一群。

クローズアップ 大寫し(映画)

クロール クロール・ストロークの略。

水泳法の一つで、抜手に似てゐる。

黒シャツ黨 伊太利ムツソリニの率ゐる

ファシスト黨(黨員は皆黒襦袢を着る)

クロス・ゲーム 接戦、緊張した試合。

軍事費 陸海空軍の費用。日本の軍事費は約五億圓、米國は約十五億圓である。

軍備會議 軍備減少會議の略、同時に共

を數倍にしようとする大計畫を云ふ。

國際聯盟 世界大戰後米大統領ウィルソンの提唱に干り國際紛争を平和的手段で解決するのを目的とする。加盟國五十七ヶ國。本部を瑞西の壽府に置く

米國にロシヤは加入してゐない △國際聯盟理事會 日・英・佛・伊・獨五ヶ國の常任理事國と八ヶ國の非常任理事國とによつて開かれる。聯盟の大綱は此の會議で定まる △國際聯盟總會 毎年九月全加盟國出席の下に開かれるが臨時に開く事も出来る。△國際聯盟支那調査委員 支那及滿洲を視察して日支問題解決の參考資料を作成する爲め、國際聯盟から派遣されたもの。委員は英・米・佛・伊・獨五ヶ國から選ばれ、

の費用を節約する目的で開かれる國際的會議。大正八年の華府會議、昭和二年の壽府會議、昭和五年の倫敦會議は其の主なもの、昭和十一年には又開催されることになつてゐる。

軍需工業 國防に必要な物を造る工業。

經濟封鎖 又は經濟斷交 諸國が聯合して或國を全ての經濟的關係、交渉を絶つ事。世界大戰の時獨逸に對し行つた。

ケース ●箱。●彈丸の裝藥管 ●活字架

ゲツツ 二人を同時にアウトにする事。

ダブル・プレー、併殺、重殺(野球)

ゲット・セット 用意(競走)。

ケーブル ●大綱、鐵索 △ケーブルカー

英のリットン卿が委員長となつた。その報告書は昭和七年十月二日發表された。

小作人 人の土地を借りて耕作する人。

ゴシツク 肉の太い活字の一つの型。

ゴシツク 肉の太い活字の一つの型。

コース ●進路。●競走路。●課程。●經過

コーチ 競技の指導、訓練。△コーチヤ

訓練者(競技)。走者の指導者

(野球)

コート ●庭球場。●外套、上衣。

國家總動員 戦時に國家の總ゆる産業。資源を人と共に動員すること。

コテイー ●佛蘭西の香水王の名。●ユ

テイー會社の香水をも云ふ。

コーナー ●曲り角 ●隅。

コ

ケ

コイラス 合唱。合唱曲。合唱隊。
ゴール 決勝点、壘門(競技) △ゴール
・キーパー 壘門を守る人、壘守(職球)

コールド・ゲーム 途中切上試合(野球)
コメディイ 喜劇、おどけ芝居。
コンサート 演奏會。△レコード・コンサート レコードを聞く會。
コンダクター 音楽の指揮者。
コンディション ●状態、境遇、●條件。
ゴンドラ 伊太利ベニスの半月形の舟
コントラスト 対照、對比、較べ物。
コントロール 操縦、調節。制球(野球)
コンパ コンパニーの略、阿彌陀籤。
コンパス ●分廻し。●兩脚。
コンパニー ●仲間 ●會社 ●阿彌陀籤。

サ

コンビーフ 鹽漬にした牛肉。
コンミツシオン ●手数料。●賄賂。
コンミュニケ 聲明書。

サイエンス 科學。
財源 財政の費用の源となるもの。
サイズ ●型、大きい。●製紙用の膠水
サイド 横。△サイドスローク 側泳
(水泳) △サイドスロー 横手投げ
(野球) △サイドライン 側界線
(庭球、排球)。
財閥 親戚、同業、同郷等の關係の者が一團となり、大金を以て多くの事業を獨占して産業界に巾をきかせてゐるもの

サイレン 號笛、警笛。
サイレント 沈黙の、無音の。△サイレント・ピクチュア 無聲映畫。
サイン ●署名、捺印。●合圖、信號。
サウスポー 左利投手(野球)
サウンド・ピクチュア 音響映畫。
サーカス ●興行團。●曲馬團。
サークル ●團、環。●仲間。
サーチライト 探照燈、探海燈。
サービス ●庭球の打初め。●奉仕。△サーバント 下男、下女、雇人。
サーブ 球の打始め(庭球)
サブタイトル 各場面の説明文字(映畫)
サポータージュ ●仕事又は課業を怠ける事△サボる。●業務妨害の爲の怠業、左翼 急進思想を持つ人、過激派。

サラリー 月給、俸給。△サラリー・マン 月給取り、俸給生活者。
サロン ●美術展覽會。●客間。
サンプル 見本、雛型。

シ

自衛權 個人、國家の生命財産は憲法、國際公法で保障されてゐるから、生命財産を破壊される危険がある時には之を防ぐ権利がある之を自衛權と云ふ。
シエスチュア 演説の時などにする身振
シグナル 信號。合圖。
自作農 自分の土地を自分で耕す農民。
指数 或時の物價賃金等を一〇〇とした時、他の時のそれに對する比の價。正月に砂糖一斤廿錢の指數を一〇〇とす

れば六月に廿五錢なら其指數は一二五
シーズン 季節。好い時△野球シーズン
シーズン 上りつこ下りつこ(遊戯)△シーズンゲーム 追ひつ追はれつと勝負。失業者 働く氣があつても職のない人。
△失業問題 不景氣の爲に失業者が増えたのをどう仕末するかと云ふ問題。
シート 席、位置。△シート・ノック 位置に就いてやる守備練習(野球)。
シナリオ 映畫脚本、臺本。
ジブシー 西洋の放浪生活をする種族。
ジャズ 取止のない賑やかな音楽。△ジャズ・バンド ジャズを演奏する樂隊。
ジャック ●骨牌のJ。●水夫。△ジャックナイフ 大形ナイフ、海軍ナイフ。
シャッター ●寫真機の開閉器。●錠戸

ジャーナル 新聞雜誌。△ジャーナリスト 新聞雜誌等の記者。△ジャーナリズム 新聞式、雜誌風、新聞向き。
シャワー 夕立、驟雨。△シャワーバス 頭から水を浴びるやうにした装置。
ジャンク 支那の平底の帆船、戎克。
シャンデリア 枝形の裝飾花電燈。
ジャンツエ スキーの跳躍臺。
ジャンプ 跳ぶ。△ジャムピング 跳躍
ジャンボリー 少年團の遊戯的競技。
十三對一 昭和六年十月廿五日、滿洲問題を國際聯盟に委せようと支那が提案した時、日本を除く他の十三ヶ國が賛成し、日本が孤立に陥つた事件。
重工業 採鐵、冶金、採炭、製鐵、造船等、産業の根本となる工業を云ふ。

自由港 關税を課さない港。香港等。

自由貿易 特別な品(酒、煙草等)を除く外は關税を課さない貿易。

自由市 國家と同じ權力を持つ都市。

自由労働者 労働の種類、場所、雇主の一定してゐない日傭ひ人足。

出超 輸出金高が輸入金高より多い事。

又其の差の金額。此の反對は入超。

ジュニア 年少選手、年少者。

ジュラルミン 銀色の非常に軽い合金。

飛行機等に多く用ひられる。

シヨウウインドー 商品を陳列した飾窓

シヨート ●短い。●遊撃手(野球)。

殖民 内國人を外國の地へ移住させる事

△殖民地 殖民の移住した土地。又は

本國外の特別の統治を受けてゐる地方

印度・濠洲等は英國の殖民地である。

シヨック 心の激動、衝動。

シヨップ 店。△シヨップガール 女店員。

自力更生 他人に頼らず自分自身の力で生活を立直す事。

ジレンマ 板挟み、進退兩難、窮境。

シーン 光景、情景、場面。

シングル ●單獨。●單試合(庭球)。

シンバ シンバサイザーの略、同情者。

労働運動に種々の援助を與へる人。

シンフォニー 交響樂、宏壯な管絃樂。

シンボル 象徴。或事柄を形に現した物

ス

スイート ●甘い。△スイートポテト

甘藷 ●氣持のよい、愛らしい。△スイート ホーム 楽しい家庭。

スカイ 空。△スカイ サイン 屋上

燈上に電燈で表す文字、電光ニュース

等。△スカイ スクレイパー 摩天樓

スカール 細長い形の一人乗の端艇。

スクイズ 打者が三塁の走者と膝し合せ

て生還させる方法(野球)。

スクラム ラグビーで敵味方の前衛が肩

を組み合つて真中の球を蹴り出す事。

スクリーン 幕、映寫幕、銀幕。

スケジユール 時間表、日割、豫定表。

スケッチ ●寫生、下繪。●小品、小曲

スケール 規模、構へ、割合。

スコア 得点。△スコアボード 得点

揭示板。△スコアラ― 得点記入者

スコンク 零敗(競技)

スター ●星。●花形、人氣者

スタイル 様子、風采、恰好。

スタadium 運動競技場。

スタディオ 映寫撮影所。ラヂオ放送室。

スタート 出發。出發點。

スタンド ●觀覽席。●臺。

スチーム 蒸氣。蒸氣を通した暖房装置。

スチール 盜塁(野球)

ステージ 舞臺。

ステップ ●足どり。●踏段。

ステートメント 覺書。聲明書。

ストア 店、倉庫。△チエイン・ストア

連鎖店。△デパートメント・ストア

百貨店。

ストック 仕入品、在品、在庫品。

ストライキ ●同盟休業 同盟休校 同盟

して仕事、課業を休む事 ●好球(野球)

ストーリー 物語。小説、劇等の筋書。

ストリート 大通り、街路。

ストレート ●真直な、●連勝(競技)

スパイ 間諜、密偵、犬(俗語)

スパート 急に速力を出す事(競技)

スピーチ 演説。△テーブル・スピーチ

宴會等でする短い演説、卓上演説。

スピード 速力。△スピード・アップ

速力を早める事 △フル・スピード 全

速力。

スフィンクス 埃及にある巨像。頭は人

て体は獅子の形をしてゐる。

スプリング ●春。●ばね。△スプリン

ボード 飛込板。△スプリンター 短

距離選手。

スベード 骨牌の樹形札の札。

スマッシング 球を強く打込む事(庭球)

スライディング 送り込み(野球)

スランプ 調子の出ない事、不振(競技)

スローガン 目的を簡單明瞭に現した言

葉、標語、宣傳標語。

スロー 遅い。△スロー・モーション

高速度撮影。緩り動作する事。

セ

成帯圍 地上一萬米一六萬米の層。温度

は攝氏零下五十度位で雲霧が全くない

生命線 生活最低線、飢饉線。「滿蒙は

日本の生命線だ」とは、滿蒙を失へば

日本の破滅だといふ意。

セカンド ●第二。●時計の秒針。●古

手●二壘、二壘手(野球)

セツト ●一組。●舞臺装置。●一回の

勝負(庭球)。

セニア 年長者、年長選手。

ゼネラル ●陸軍大將、將軍。●全ての

△ゼネラル・ストライキ 略してゼネ

・スト、總罷業

セーフ ●安全。●打者又は走者が安全

に塁に入る事。△セーフテイ・バンド

軽く打つてセーフとなる法(野球)△

セーフ・ヒット 略してヒット、安打

(野球)

セーラー 水夫、水兵、船乗。△セーラ

ー・パンツ 水兵等の穿く幅廣の下袴

セレナーデ 夜の調、夕の歌小夜曲。

ゼロ 零。一つもない事

セロファン 食料品等を包む透明な紙。

センセーション 感動。人氣。評判。

センター ●中央。中堅(競技)。

センチ センチメンタルの略、感傷的、

多情多感な、涙っぽい。

争議團 同盟罷業の時の労働者の團體。

宗主權 附屬國を支配する權利。

租界 支那の主要都市にある列國の居留

地で、租界内は支那の支配を受けない

△租界工部局 租界の行政權を握り、

強力な警察で治安を保つてゐる。

ソーセージ 豚の腸に挽肉を詰めた腸詰

ソウエイット 又はサヴェイト、ロシア

労働會。委員會の意。△ソウエイット

社會主義共和國聯邦(略稱ソ聯邦)

ロシアの本名である。

ソフト 柔い。中折帽子△ソフトカラー

ソプラノ 女聲最高音。

ソロ 獨唱、獨奏。△ピアノ・ソロ

ゾーン 地帯△セフテイ・ゾーン

タ

だあー 「参つた」「やられた」等の意。

タイ 同等の△タイ・レコード 前のと

同じ記録

タイトル ●表題。肩書。●字幕(映畫)

ダイビング 飛び込み、曲跳び(水泳)

タイプ ●型、様子。●印字機の略。

タイプライター 印字機。△タイプリスト

タイプライターを打つ人、印字生。

太平洋問題調査會 太平洋沿岸の諸國が

太平洋の門戸開放、軍備制限、人口問

題、移民問題を討議する。

タイム ●時。●試合一時中止(野球)

△タイム・アップ 時間が切れる事

(競技)。△タイムリー・ヒット 適

時安打(野球)。

ダイヤ ●ダイヤモンドの略、金剛石

内野(野球)。●骨牌の菱形。●ダイ

ヤグラムの略、豫定表、表、列車運轉表。

タクシー 自由に客を乗せる自動車。△

圓タク 一圓均一のタクシー

タクト ●拍子(音楽)。●指揮棒(音楽)

ダーク・ホース 番狂はせの競争者。

タツクル 球を持つてゐる者を抱き止め

る事(ラグビー)

タツチ ●觸る事。●筆觸(繪畫)。●

球をつける事(野球等)。△タツチ

ライン 側界線(蹴球、ホッケー等)

ダブル ●二倍、二度。△ダブル・カラ

ー 二重に折返したカラー。△ダブル

・プレー 併殺(野球)△ダブル

・ヘッダー 一日二回の連続試合。●

復試合(庭球)。

ダブる 二重になる、重なる。

ターン 折返し。

だんち 段違ひの略、非常に差がある事

ダンピング 投げ賣。不當廉賣。大廉賣

チ

チエック チツキ、荷物引換券。小切手

チエンジ ●變更。●守備交替(野球)

チエーン 鎖。△チエーンストア 同業

者が同一組織の下に助け合つて行く店

治外法權 外國の領土にゐながら其の國

の法律を適用されない權利。

チーズ 牛酪に似た食料品。乾酪。

チーム 競走の組。△チーム・ワーク

組としせの共同動作、連絡。技で

チャレンジ 挑戦、戦を申し込む事(競

技)

チャン チャンピオンの略、選手、優勝

者者。

チャンス 機會、をり、好機。

チューブ 管。絞り出し管。

ツ

通貨 貨幣を云ふ。日本銀行發行の通貨

は約十億圓に上る。

運賃 毎年十二月に召集される議會
ツンドラ 寒帯にある氷結地帯、凍原。
スト・ビュロー 旅客案内所。

テ

テート 日、△安全デー、安賣デー、等。
テイー 茶。△テイー・タイム お茶時
△テイー・パーティー お茶の會。
定期航路 香港地、發着期日、航海數
等の一定した航路。此に就航するのが
定期船である△定期航空路 發着時刻
進路、發着數の一定した航空路。
テイクント 切符、入場券。チケット。
ディーゼルエンジン 内燃機関、石油の
燃焼機を動力とした機関。△ディー

ゼル船 内燃機関船、モーター船。
テキサス・リーガー 内野外野の中間に
落ちた小飛球の安打(野球)
テキスト 原文△テキストブック 教科
書。
テクシー 徒歩、タクシーをもちつた語
テクニク ●手法、技巧。●術語。
デコレション 飾り。△デコレシヨ
ン・デー 米國の獨立記念日、五月三
日。

デザイン ●立案、圖案、意匠●下繪。
テスト 試験、検査、ためし。
ランサン 素描、下繪、畫稿(繪畫)
ホール ●投手の投げた球が打
たぬ事、死球(野球)。●遊戯の

種。
テナー 又はテノール。男子の最高音。
又その歌ひ手。
デパート デパートメント・ストアの略
百貨店。三越・松屋・松坂屋・白木屋
高島屋等は日本の代表的なものである
デビュー 初舞臺、初演奏。
デマ デマゴギーの略、逆宣傳、惡煽動
テーマ 主題、小説、脚本等の狙ひ所。
デモクラシー 民主政治、民本主義。
デモ デモレンストレーシヨンの略、示
威運動。

テレビジョン 無電放送映畫。英米には
此の放送局があるがまだ完全でない。
テロ テロリズムの時、暗殺主義、狂暴
主義、暴力を用ひる直接行動を云ふ。

テンポ 樂曲進行の速度、調子。

ト

ドア 扉、戸。△ドア・エンジン 自動
開閉装置を施した扉。
トーカー 發聲映畫。
獨裁政治 一人又は一黨が、實力で政治
を行なふ事。伊太利はムッソリニの獨
裁。ロシアはプロレタリアの獨裁である。
トータル 總計、合計。
トッス ●球を上投する事(籠球)。
●短距離から手首と手先での投球(野
球)

トップ 先頭。尖端。頂上。
トーナメント 勝繼勝負(殊に庭球)
土匪 日本人の所謂馬賊。支那、滿洲の

掠奪を事とする賊、匪賊。

トビツク 話題。△カレント・トビツク
ス 時事問題の英語解説(放送)
トライ 敵陣に球をつける事(ラグビー)
ドライ 乾燥した。△ドライ・アイス
乾燥氷、融けると氣體になる。△ドラ
イクリーニング 揮發油でする乾燥洗
濯。
ドライブ 自動車の遠乗。
トラクター 耕作用の索引自動車。
トラック ●貨物自動車。●競走路(競
走)

ドラッグ 薬、藥品、藥劑。
ドラマ 戲曲、脚本、劇、芝居。△ドラ
マティック 劇的な。
トリオ ●三重奏、三重唱。●同じ關係

にある三つの物又は人。

トリツク ごまかし、詭計。危険な場面
等で人の目を瞞して實物のやうに見せ
る技巧(映畫)
ドリブル 球を轉して進む事(蹴球)
トレード・マアク 商標。
トレモロ 微かに顛へる音、顛音(音樂)
トロフィー 優勝盃(運動)
トロール船 長い網で深海の魚を獲る船
ドロンゲーム 無勝負試合(競技)。

ナニヌ

ナイン ●九。●野球チーム。
ナッシング 何も無い。無一物。
ナンセンス 無意味、馬鹿げた事。
ナンバー 數。番號。△ナンバーワン

第一番、第二人者。

二十一ヶ條約 大正四年五月支那と締結した條約。關東州、滿鐵附屬地の租借期限延長、滿蒙に於ける土地租借權等
ニュース 報導、新事件、放送時事。
認識不足 正確な知識を持たない事。
ヌーボー ●新築の、新調の。●要領を得ないポットした人。

ネ

ネオン・サイン ネオン瓦斯を入れた硝子管に電氣を通した色彩の美しい看板
ネット ●網。△ヘア・ネット 髪を覆ふ網。●正味。
ノー いや、さうでない。△ノー・ゲム 無試合(五回以前中止の野球戦)。

△ノーカウント 計算しない事(競技)
△ノーダウン 無死(野球)

ノック ●扉を叩く事。●練習の爲の打球(野球) △ノック・アウト 投手を打ちまわつて退かす事(野球)。△ノック・ダウン 投手を撃ち倒す事(拳闘)
ノーベル賞 瑞典人ノーベルの遺言で、世界の文化に盡した者に與へる賞金。
印度の詩聖 タゴールは東洋人唯一の賞金受領者である。

ハ

排日 日本人或は日本商品を排斥する事
米國及び支那に於て甚だしい。
ハイ 高い △ハイ・ハードル 高障礙物

バトゲン 買物。△バトゲン・デー 賣日。△バトゲン・セール 大安賣。
バザー 慈善市、廉賣市。

バス ●低音(音楽)。●乗合自動車 △バス、青バス等。●浴場、風呂。湯槽。バス ●無賃乗車券、無料入場券。定期券。●通過、及第、合格。●球を後逸する(野球)。球を他に投度す(蹴球)。バスケット 籠△バスケットボール 籠球。競走。△ボトル・ハイ 高い球(野球)。
バック ●背景(繪畫・寫眞等)。●後衛(蹴球、庭球等)。●後退する。●背。△バック・ストローク 背泳(水泳) △バツテリ 投手と捕手(野球)。
ハッピー 幸福な。△ハッピー・エンド 目出度し目出度し。

ハート ●心、心臟。●骨牌の心臟形。

パートナー 相手、相棒。

パラダイス 天国、樂園、極樂。

バランス ●平均 ●收支

バリトン ●男聲中音部 ●その歌手。

バレー・ボール 排球

バロメーター 晴雨計、標準

ハン・スト ハンガー・ストライキの略。

絶食同盟 飢餓同盟 絶食して相手を困らし要求を貰かうとする手段

ハンディキャップ 強い方に加へる不利な條件。又は劣者の優者に對する不利

バント 軽く球を打つ法(野球)

ハンマー ●鐵槌。●鐵槌投げ(競技)

ヒ

ファイナル ●最後の、●決勝戦(競技)

フ

フラン 計畫、工夫、立案。

ピオニール ロシヤの共產黨少年團。

ピクニック 郊外散歩。

ビジネス 事務、職業、商業、實業。△ビジネスマン 事務家、實業家。

ヒーター 室を暖める装置。暖房装置。

ピック・アップ 選抜く。△ピック・アップ・チーム 良い選手を選り集めた組(競技)

ピッチ ●音調。●進節(漕艇)。●打球。△ピッチャー 投手(野球)。

ヒット 安打。

ピンチ 危険な時。△ピンチ・バッター 危機打者(野球)。

ファッショ 國民一致して國難に當る意國粹的な獨裁政治。△ファッショスト 伊太利ムツソリニの率ある國粹黨員。

フアンブル 球をつかみ損ふ事(野球)。

フィギュア 曲舞、曲滑走(スケート)

フィールド 競技場。

フェア・プレー 堂々たる勝負。

フォース・アウト 封殺。(野球)

フォーム 姿勢。

不戰條約 昭和三年十五ヶ國が「國家間の争ひを戦争によらずに解決する事、但正當防衛の時は例外とする」と定め

た。

ブラック・リスト 注意人物一覽表、黒表。

ブラク 計畫、工夫、立案。

フリー・バッティング 腕馴しの打撃
(野球)

ブリッジ ●橋。●艦橋。●骨牌の
ブルジョア 有産階級、資本家階級。

フル 一杯の。△フル・スピード 全速
カ△フル・ベース 満塁(野球)

ブレイ 競技。△ブレイボール 試合開
始(野球)。△ブレイヤー 競技者。

ブレスト 平泳、ひらおよぎ(水泳)。
プロ ●プログラムの略、番組。●プロ

ダクシヨンの略、撮影所。●プロバガ
ンダの略、宣傳。●プロフェッショナ

ルの略、職業的、商賣人。●プロレタ
リアの略、無産労働者階級。

プロカー 仲介人、仲買人、周旋屋。
プロット 劇や映画の仕組み、筋。

本壘。△ホーム・イン 本塁生還。△
ホーム・グラウンド 自分等のチーム

の居る場所のグラウンド。
ホール ●會堂。●廣場。●孔。間。

マミム

マイクロフォン ラジオの放送器。
マウンド 投手板、プレート(野球)。

マーク 記號、印、徽章。
マスケーム 團體体操

マッチ ●競技、試合。
マドロス 水夫、下級船員。

マネキン 商品を着たり持ったりして實
物宣傳をする職業婦人。

マネージャー 監督、支配人。
滿洲國 滿洲の新獨立國。日本は最先に、

プロローグ 序言、前口上、序曲。
ページェント 野外で演ずる劇、野外劇

ベスト 最も優れた。最善。△ベスト・
テン 或方面の最も優れた十人。△ベ

スト・メンバー 選りすぐりの顔觸。
ベース ●壘。△ファースト・ベース (

一壘)、セカンド・ベース (二壘)。
サード・ベース (三壘)・ホーム・ベ

ース (本壘) ●ベース・ボールの略、
野球。

ペナント 優勝旗。軍艦旗。
ヘビー 全力。△ラスト・ヘビー 最後

の努力、最後の力走(競技)
ヘア 毛髪。△ヘア・アイロン

ベルト ●帶。●調革。
便衣 便衣(平服)を着て敵中に入り

之を承認して滿洲國駐劄特命全權大使
を置く。△滿洲の特産物 大豆、豆粕

豆油、高粱、粟等。
ミックス 混合した。△ミックス・

コーラス 男女混聲合唱。△ミックス
ト・ダブルス 男女組の試合(庭球)

南滿洲鐵道株式會社 略稱滿鐵。滿鐵及
其の支線を經營し、更に附屬地に色々

の事業を起してゐる重要な會社。
無軌道電車 レールが無く普通の道路の

上を走る電車。我國では京都にある。
メ

メガホン 喇叭形の聲を遠くに傳へる物。
メッセージ 聲明書。使命。傳言。

メーデー 五月一日の労働祭。

込み、偵察、人心攪亂、奇襲等を行ふ
支那に特有の兵士。

ホ

ボイコット ●非買同盟。●排斥。
ポイント ●點。●轉機。●骨牌のA

ヴォーカリスト 聲樂家。
ボキシング 拳闘。

ボーク 反則(競技)
保護貿易 輸出輸品に關稅を課したりし

て自國の産業を保護する貿易。
ボジション 位置、地位、部署。

ホ・ス・ジャンプ ホップ・ステップ・
アンド・ジャンプの略。三段跳(競技)

ボックス ●箱。●打者の位置(野球)
ホーム ●家庭。●ホーム・ベースの略

メニュー 料理の献表。
メモ 覚え書、控へ、備忘録。

メロデー 旋律。調音(音楽)。
メイン・ストリート 主要な大通東京で

は昭和通・凱旋道路、銀座通等。
メンバー 會員、仲間、顔觸、部員。

モーション 動作を起す事。
モダン 近代的、現代的。

モチ 勿論の略。
モットー 戒め又は標榜の言葉、標語。

モデル 美術家、文學家等の寫生の材料
となる人又は物。

モラトリアム 支拂延期命令。
モンロー主義 米國大統領モンローの宣

言した主義。「米國は歐洲の事に干渉
しないが列國の米大陸諸國に干渉する

事も許さない

ヤ・ユ・ラ・リ

ヤンキー 米國人の掉名。

ユイ・エス・エス・アール (U・S・S

・R・) サウエート聯邦の頭字。

ユイトピヤ 理想郷。

ユニバーシティ 大學、科目二つ以上を

有する大學、複合大學。早・慶・帝大

等

ユニオン 組織。運動會。

ユイモア 滑稽。喜劇。△ユイモリス

調子家。△ユイモレスク 滑稽な調子

與太 てはらぬ。△與太も てはらぬを

言ふ。△與太リスト 與太を言ふ人。

ライター ●記者。●ライター

ライト ●光 △ヘッド・ライト 車の

前方を照らす光。●右。●右翼(野球)

ライナー ●低飛球、直球。●定期船。

ライン 線。△ライン・アップ 選手の

打撃順序及び位置(野球)

ラウド・スピーカー 擴音器。

ラスト・ヘビー 最後の努力。いま一息

といふ時の奮闘努力。

ラツキー 幸運な。△ラツキー・セブン

運のよささうな第七回(野球)

ラッシュ・アワー 朝晩の混み合ふ時間

ラップ・タイム 途中記録、區切記録。

ラン 走る。△ランナー 走者(野球)

△ランニング 競走。

ランチ ●食事。●競艇小汽艇。

リーグ 聯合、聯盟。△リーグ戦 聯盟

所屬チームが互ひに他の全部と戦つて

勝敗を決する試合。

リズム 韻律、調子、節奏、拍子。△リ

ズミカル 調子のよい、韻律的。

リード ●導く。優勢な地位にある。△

リーダー 指導者、音頭取。●讀む。

リーフレット 折込印刷物、摺込印刷物

リュックサック 登山用のズツク製の袋

リンク ●スケート場。●ゴルフ場。

リンチ 米人が黒人に加へる慘酷な私刑

ル・レ

ルーズ 弛い、締りのない。

ルール 規則、法則

ルンペン 浮浪人。一定の職業なく、住

む家をも持たぬ者。△ルンペン・イン

チリゲンチャ 浮浪知識階級。△ルン

ペン・プロレタリア 浮浪労働者。

レガッタ 増進競走。遊艇

レギュラー 正規の、正選手。

レース ●競走。●布の名。

レスリング 西洋の相撲。

レター 手紙、文字。△レター・ペーパー

●書翰用箋、便箋。

レフェリー 職球、拳闘等の審判官。

レフト ●左。●左翼(野球)

レベル 水準線、標準點。

レポ ●レポートの略、情報、通信。●

レポートの略、情報員、通信者。

レリーフ 救助△レリーフ・ピッチャー

労働ロシア サウエート聯邦のこと。勞

働者と農民が國家の最高權力を持つ。

ローカル 地方の。△ローカル・ニュー

ス 地方地方の報導。△ローカル・カラ

●其の地方獨特の情味。

ロケーション 實景を取入れる爲に撮影

所外に出張してする映畫撮影。

ロケット 爆發の反動で進む弾丸の様に

早い乗物。目下研究中である。

ロータリー俱樂部 持寄り會。世界知名

の人々の會合で社會奉仕を目的とする

ロボット ●人造人間。●機械的な融通

のきかない人。

ロマンティック 浪漫的な、空想的、傳

奇的

ローラー・スケート 室内又は舗道の土

て滑べる、車の附いたスケート

ロング・ヒット 二塁打以上の長打(野

球)

ロングサイン 送別歌。「螢の光」等。

ワ

ワイヤー 針金、電線。

ワイルド 荒れた、野性の。△ワイルド

・ピッチ 投手の暴球(野球)

ワルツ 圓舞曲。急速な近代舞曲。

ワールド 世界。△ワールド・シリーズ

米國で行はれる世界野球爭奪戦。

ワンダフル 驚くべき、素的な。

ワンピース 上衣と下衣が一枚織りの婦

人又は子供服。

ロ

裁縫積り方公式

- 本裁肌襦袢
袖丈×2+身丈×4+衿丈=總用布
- 一つ身襦袢
袖丈×4+身丈×2=總用布
- 四つ身襦袢
袖丈×2+身丈×2=總用布
- 本裁肌襦袢(用布大巾)
袖丈×2+身丈×2=總用布
- 本裁女單衣袴袴
(總用布-袖丈×4+袴下り×2)÷6=身丈
- 四つ身(摘み袴裁)
袖丈×4+身丈×4=總用布
- 四つ身胴裏
表總用布-裾廻し總丈+衿×8+接ぎ代×4=胴裏總丈
- 一つ身筒袖
袖丈×4+身丈×3-袴下り=總用布
- 本裁女物袴(用布並布)
裾廻しの積り方
裾廻し丈×4+裾裾廻し丈+袖口布=裾廻し總用布
- 同上胴裏の積り方
裾廻し丈×4+裾裾廻し丈+袖口布=裾廻し總用布
- 同上胴裏の積り方
表身丈-裾廻し丈×縫ひ代+衿×2=胴裏丈
- 本裁女物袴(用布大巾)
裾廻しの積り方
總用布÷3=裾廻し丈
- 一つ身袖無し羽織
{用布-(前後の差+裾丈)}+2=後身丈
- 同上裏積り方
出來上り身丈×4-表裁切身丈×2+(前後の差+縫ひ代)×2=裏總用布
- 本裁女物袴羽織
{用布-(袖丈×4+衿用布+前後の差×2)}+4=後丈
- 後丈+前後の差=前丈
(身丈+23)×2=衿用布
- 同上裏
袖丈×4+(出來上り身丈×2-後丈+胴接ぎ代)×4=裏總用布
- 本裁男物袴羽織
{總用布-(袖丈×4+衿用布+前後の差×2)}+6=後丈
- 後丈+前後の差=前丈
(出來上り身丈+衿肩明+前下り+衿先縫ひ代+裾廻し×2)×2=衿用布
- 同上裏
袖丈×4+(出來上り身丈×2-後丈+胴接ぎ代)×4=胴裏用布

算術の重要公式

面積に関する公式

- 正 方 形 (一邊ノ長サ)×(一邊ノ長サ)
- 矩 形 (縦ノ長サ)×(横ノ長サ)
- 三 角 形 (底邊)×(高サ)÷2
- 圓 (直徑)×(直徑)×0.785
又ハ(半徑)×(半徑)×3.14
- 平行四邊形 (底邊)×(高サ)
- 梯 形 (上底+下底)×(高サ)÷2
- 菱 形 (對角線)×(對角線)÷2
- 球の表面積 (半徑)×(半徑)×(圓周率)×4
又ハ(直徑)×(直徑)×(圓周率)

體積に関する公式

- 立 方 體 (一稜ノ長サ)³
- 直 方 體 (縦)×(横)×(高サ)
- 直 角 錐 (底面積)×(高サ)÷3
- 直 圓 錐 (底面積)×(高サ)÷3
- 球 (半徑)³×(圓周率)× $\frac{4}{3}$
- 平行六面體 (底面積)×(高サ)
- 角 錐 (底面積)×(高サ)÷3
- 圓 錐 (底面積)×(高サ)÷3

歩合に関する公式

- 合=(歩合高)÷(元高)
- 歩 合 高=(元高)×(歩合)
- 元 高=(歩合高)÷(歩合)
- 合 計 高=(元高)×(1+歩合)
- 差 引 高=(元高)×(1-歩合)
- 元 高=(歩合高)÷(1+歩合)
- 元 高=(差引高)÷(1-歩合)

利息に関する公式

- 利 息=(元金)×(利率)×(期間)
- 元 利 合 計=(元金)×{1+(利率)×(期間)}
- 元 金=(利息)÷{(利率)×(期間)}
- 元 金=(元利合計)÷{1+(利率)×(期間)}
- 利 率=(利息)÷{(元金)×(期間)}
- 利 期 間=(利息)÷{(元金)×(利率)}
- 當 金=(額面)×(配當率)
- 利 廻=(配當金)÷(時價)

度量衡メートル法

度とは長さ、量とは積、衡とは重さのことです
重さのことで用ふ

- 度 (一般を通じて用ふ)
- マイクロン (μ) 百万分の一メートル
- ミリメートル (耗) (mm) 千分の一メートル
- センチメートル (種) (cm) 百分の一メートル
- デシメートル (粉) (dm) 十分の一メートル
- メートル (米) (m) 基 本
- キロメートル (軒) (km) 千メートル
- 海里 (海面に於ける長さ) 千八百五十二メートル

面積

- アール、ヘクタールは地面水面に用ふ。
- 但し宅地には平方メートルを適當とす。
- 平方ミリメートル (平耗) (mm²) 百万分の二平方メートル
- 平方センチメートル (平種) (cm²) 一万分の二平方メートル

量

- 平方デシメートル (平粉) (dm²) 百分の一平方メートル
- 平方メートル (平米) (m²) 基 本
- 平方キロメートル (平軒) (km²) 百万平方メートル
- アール (阿) (a) 百平方メートル
- ヘクタール (陌) (ha) 百アール
- 普通に液體、瓦粉體、粒狀物又は粉狀物の取引にはデシリットル、リットル等を用ひ、學術、工業、設計等には立方センチメートル等を用ふ。
- 立方センチメートル (立種) (cc) 百万分の一立方メートル
- 立方デシメートル (立粉) (dl) 千分の一立方メートル
- 立方メートル (立米) (m³) 基 本
- ミリリットル (耗) (ml) 千分の一リットル
- センチリットル (種) (cl) 百分の一リットル
- デシリットル (粉) (dl) 十分の一リットル
- リットル (立) (l) 立方デシメートル
- ヘクトリットル (陌) (hl) 百リットル

キロリットル (軒) (kl) 千リットル

衡 (一般を通じて用ふ)

- ミリグラム (耗) (mg) 百万分の一キログラム
- グラム (瓦) (g) 千分の一キログラム
- キログラム (種) (kg) 基 本
- トナ (噸) (t) 千キログラム
- カラット (寶石類の重量) (ct) 一百分の一グラム
- メートル (三) 三三三三
- 平方メートル (一) 一〇平方尺八九
- 立方メートル (五) 五合五四三五
- 尺 〇.三〇三三米
- 間 一.八八八八米
- 町 〇.九〇九〇米
- 里 三.九二七二七米
- 歩又は坪 〇.三〇三三六六
- 段 九.九二七二七六
- 升 一.八〇元一立
- 貫 三.七五〇〇〇
- 斤 〇.六〇〇〇〇
- 尺 (鯨尺) 〇.三七八九米
- インチ (吋) 二.五四〇〇〇
- フット (呎) 三.〇四八〇〇
- ヤード (碼) 〇.九一四四〇
- マイル (哩) 一.六〇九三四
- オンス 〇.二五五〇〇
- ポンド (封度) 〇.四五五〇〇
- 英トン 一.〇二二六噸

列國貨幣換算表

この換算は、金貨の純分比値によるもの
 である。現在日本は金本位停止中ですから
 日本の銀貨は約半分の価値に下つて昭和七
 年十一月は、遂に日本の百圓がアメリカ
 の半圓にになりました。

東京、上海、新京
 倫敦、香港、東京
 東京、上海、新京
 倫敦、香港、東京

東京	倫敦	香港	東京	倫敦	香港	東京	倫敦	香港
100	100	100	100	100	100	100	100	100
...

速さの比較

一秒時間の速さをメートル毎分であらわすと

歩行	馬歩	馬行	馬走	馬馳	馬疾	馬奔	馬馳	馬疾	馬奔	馬馳	馬疾	馬奔
1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
...

動物の寿命

牛	羊	豚	鳥	鹿	熊	馬	魚	蛇	蛙	蟻	蜂	蝶
20年	15年	10年	5年	15年	20年	10年	5年	10年	5年	10年	5年	10年
...

Alphabet

A a	B b	C c	D d	E e	F f	G g	H h	I i
J j	K k	L l	M m	N n	O o	P p	Q q	R r
S s	T t	U u	V v	W w	X x	Y y	Z z	

Number

One	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X
-----	----	-----	----	---	----	-----	------	----	---

Ordinal Number

First	Second	Third	Fourth	Fifth	Sixth	Seventh	Eighth	Ninth	Tenth
-------	--------	-------	--------	-------	-------	---------	--------	-------	-------

Days of the Week

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
--------	--------	---------	-----------	----------	--------	----------	--------

日常眼にふれる英語

Airship	飛行船、航空機
Bank	銀行
Barber	理髪師
Bat	蝙蝠 (煙草の名)
Building	ビルディング
Calendar	こよみ
Candy	キャンデー

Chocolate

チョコレート

Dining-car

食堂車

Drops

ドロップス

Dry-cleaning

乾燥洗濯

End

終り

Fountain-pen

万年筆

Go! Stop!

進め! 止れ!

Hotel

ホテル、宿屋

Ink

インキ

Made in Japan

日本製

Milk caramel

ミルクキャラメル

Mr. (Miss, Mis.)

様 (令嬢夫人)

Name - plate

名札、標札

Note - book

雑記帳

Pencil

鉛筆

Sleeping - car

寝台車

Station

停車場

Taxi

辻待自動車

Time

時

Toilet room

化粧室

Tokyo For Kobe

神戸行

Trade - mark

商標

Way - out

出口

W. C. (Water - closet)

便所

Y. M. C. A.

キリスト教青年會

諸學校總覽 (昭和四年)

學校種別	學校數	教員	學生生徒及び兒童
小學校	二五、六二六	二五、四四六	九、八六〇、八七七
師範學校	一〇五	二、七〇〇	四七、四四四
高等師範學校	二	三〇九	一、八五一
女子高等師範學校	二	一〇六	八四〇
臨時教員養成所	一六	四六九	一、三四五
實業教員養成所	六	一	三七五
實業補習學校	五五	九	一、二九九
中學校	九七〇	三、七四五	三、八、四四
高等女學校	三	一、四〇七	三、七、七六
高等學校	三	一、四〇七	二〇、二五六
大專學校	一〇六	四、七〇七	六七、五五五
專門學校	一〇六	四、八八八	六八、一四三
實業專門學校	一〇六	一、八〇九	一九、〇四九
實業學校(甲)	六〇	三、一八六	二四、三六二
實業學校(乙)	一九七	一、七五九	三七、二八三
實業補習學校	二五、二八四	一八、〇三三	一、三六、八三五
盲學校	七	四、〇八八	四、〇八八
聾學校	七	四、〇八八	四、〇八八
各種學校	一、八七九	一、九四四	三、八、五二二
總計	四、八〇八	三、八、四六六	三、八、四六六

我國の博物館

名稱	要目	所在地
東京帝國博物館	歴史、美術	東京上野公園
同 表慶館	美術	同
奈良帝國博物館	美術	奈良公園
恩賜京都博物館	美術、古文書	京都市東山通
明治神宮寶物館	歴史	京都市外代々木
東京博物館	教育	東京本郷お茶の水
東京科學博物館	科學	東京上野公園
遊就館	軍事	東京九段靖國神社
選信博物館	選信事業	東京九段靖國神社
鐵道博物館	交通	東京麹町區飯田町
大倉集古館	考古	東京麹町區錢瓶町
演劇博物館	演劇	東京赤坂區葵町
鎌倉國寶館	歴史、美術	神奈川縣鎌倉町
縣立教育參考館	教育	水戸市瀧城內
古館	神祇、歴史	宇治山田市
農業館	農業、水産	同
名和昆蟲研究所	生物學	岐阜市
山口教育博物館	教育	山口市
福岡通俗博物館	教育	福岡市
李王職博物館	美術、歴史	朝鮮京城
關東廳博物館	同	大連市

博士の人数 (昭和七年現在)

學位	授與人員	死亡	現員
法學博士	二六七	七五	一九三
醫學博士	五、三六三	三三〇	五、〇三三
文學博士	六	一九	元
工學博士	六二五	二四〇	四八五
理學博士	二六五	八二	一八三
農學博士	四二七	六七	三六〇
林學博士	二五	〇	二五
獸醫學博士	四九	〇	四九
經濟學博士	三三	〇	三三
商學博士	三六	〇	三六
政治學博士	七	〇	七
合計	七、四〇五	七六三	六、六四二

地震の強度

中央氣象臺では地震動の強さを次の四階級に分つ。

- 一、微震 静止せる人若しくは注意せる人のみが感じ得べき極めて輕微な地震
- 二、弱震 一般人の感知し得る地震即ち戸障子が鳴り垂下せる物體、または液體の震動を目撃するに至る程度のもの
- 三、強震 不安定な物體の轉倒、液體の溢出、振り時計の停止等起し、古い家屋土壁の破損牆壁等に裂け目を生ずるに至る程度
- 四、烈震 山岳を崩壊し屋宇を破る大震動の地震

傳染病の潜伏期

多くの傳染病には潜伏期といふものがある。此の期間には症狀が現はれないものがある。主なる傳染病について潜伏期の長さを示すと次の如し。

病名 (潜伏期)	潜伏期
腸チフス	一週—二週
赤痢	三日—七日
瘧疾	三日—七日
痘疹	一—二週
麻疹	一—二週
猩紅熱	一日—四日
流行性腦脊髄膜炎	一日—四日
流行性乙型腦炎	一日—四日
百日咳	二日—四日
水痘	二日—五日
肺炎	二日—七日
肺結核	二日—七日

兒童生徒平均體格表 (昭和四年調)

年齢	身長		體重		胸圍	
	男	女	男	女	男	女
七	一〇八・三	一〇六・七	一七・二	一七・二	三三・七	三三・七
八	一一三・〇	一一一・八	一八・九	一八・九	三五・五	三五・五
九	一二三・〇	一二一・八	二〇・九	二〇・九	三五・五	三五・五
一〇	一三三・〇	一二一・八	二二・九	二二・九	三五・五	三五・五
一一	一四三・〇	一二一・八	二四・九	二四・九	三五・五	三五・五
一二	一五三・〇	一二一・八	二六・九	二六・九	三五・五	三五・五
一三	一六三・〇	一二一・八	二八・九	二八・九	三五・五	三五・五
一四	一七三・〇	一二一・八	三〇・九	三〇・九	三五・五	三五・五
一五	一八三・〇	一二一・八	三二・九	三二・九	三五・五	三五・五
一六	一九三・〇	一二一・八	三四・九	三四・九	三五・五	三五・五
一七	二〇三・〇	一二一・八	三六・九	三六・九	三五・五	三五・五
一八	二一三・〇	一二一・八	三八・九	三八・九	三五・五	三五・五
一九	二二三・〇	一二一・八	四〇・九	四〇・九	三五・五	三五・五
二〇	二三三・〇	一二一・八	四二・九	四二・九	三五・五	三五・五

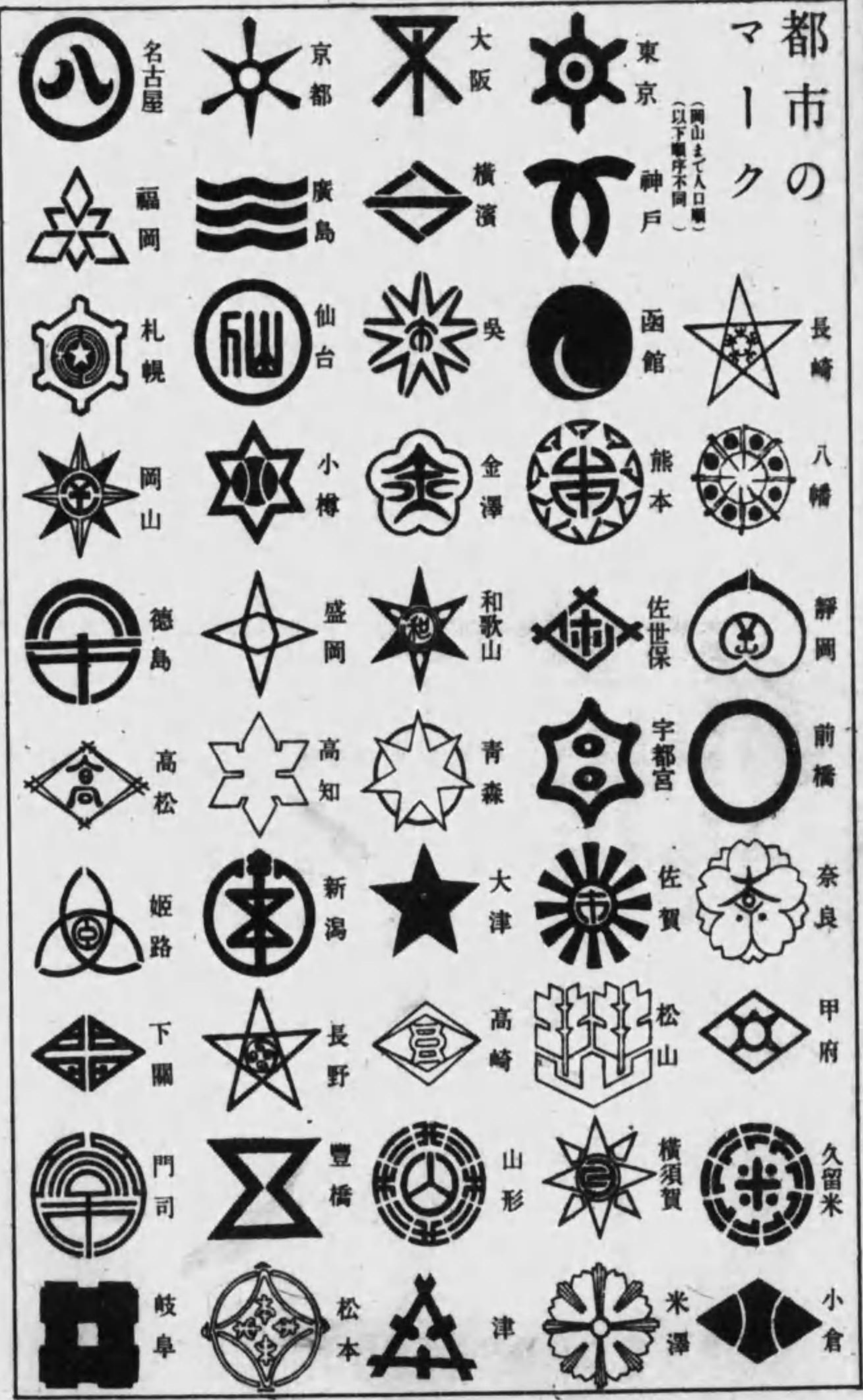
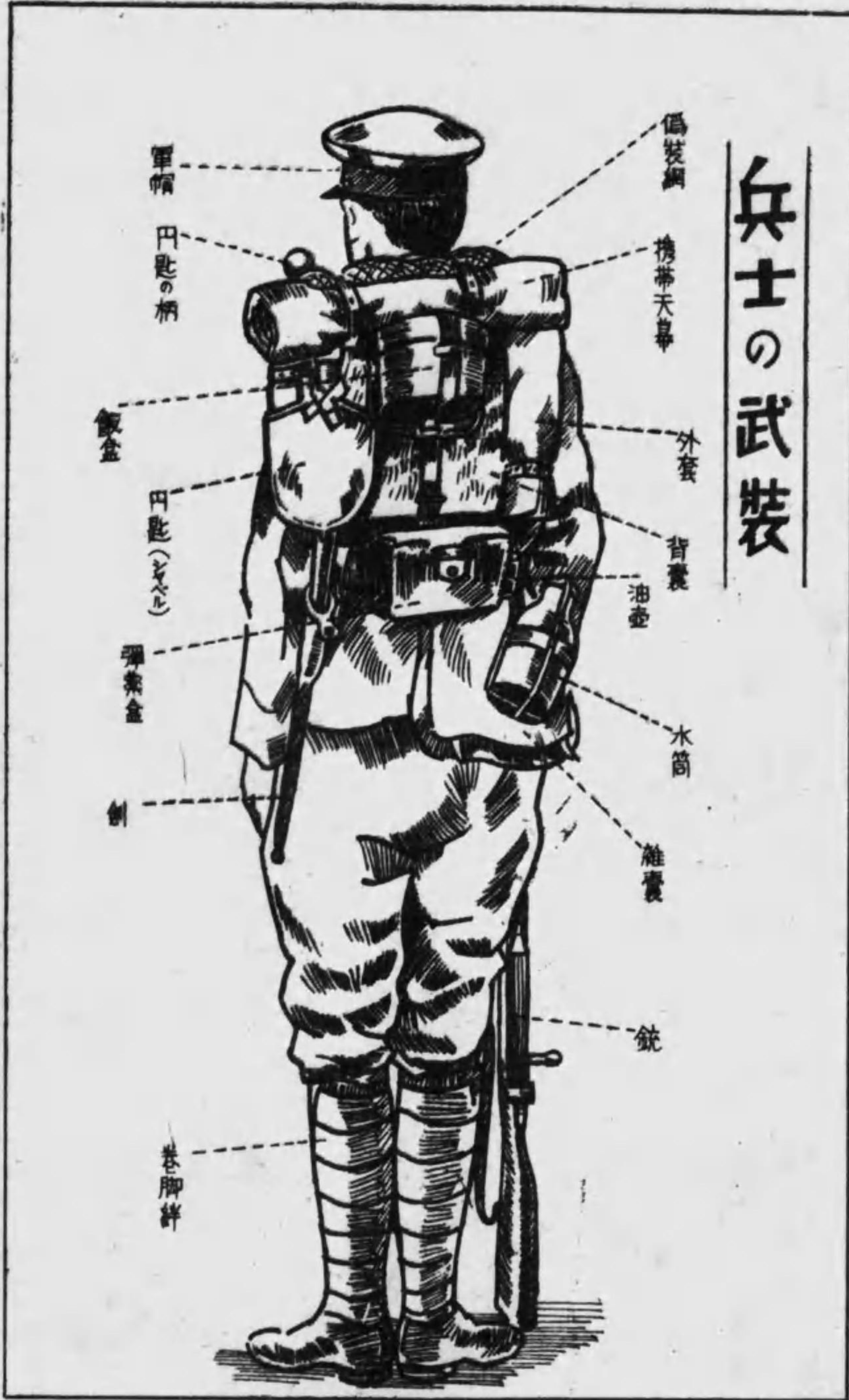
日本一健康兒の體格 (昭和七、六、五年)

調査年	氏名	年齢	身長	體重	胸圍	走力	跳力
昭和七	木村 幾生	六	一一・八	一七・二	三三・七	三三・七	三三・七
昭和七	森月 茂雄	五	一一・〇	一七・二	三三・七	三三・七	三三・七
昭和七	望月 一雄	五	一一・〇	一七・二	三三・七	三三・七	三三・七
昭和七	江連 一子	五	一一・〇	一七・二	三三・七	三三・七	三三・七
昭和七	江連 ミツ	五	一一・〇	一七・二	三三・七	三三・七	三三・七

重要發明年表

發明事項	發明年 (西曆)	發明者	國籍
印刷術(固定)	五三	支那	支那
火藥	一三〇	シユワルツ	獨逸
金屬活字	一四五	グーテンベルグ	獨逸
望遠鏡	一六〇	ガリレオ	伊國
柱時計	一六六	ハイゲンズ	和蘭
憲法計(アルコール)	一七〇	フアーレンハイト	獨逸
同上(水銀)	一七二	同上	獨逸
顯微鏡(色消レンズ付)	一七九	ホール	英國
織機	一七三	ケイ	獨逸
ライデン瓶	一七五	クライスト	獨逸
避雷針	一七三	フランクリン	英國
多軸紡績機	一七四	ハイグリーブス	英國
蒸氣機關	一七五	ブット	英國
自轉車	一七九	ブランカド	佛國
漂白粉	一七九	ジャガエル	佛國
曹達	一七九	ルブラン	佛國
高壓蒸氣機關	一七九	エヴァンス	英國
瓦斯燈火	一七九	ムトドツク	英國
ヴォルタ蓄電池	一八〇	ヴォルタ	伊國
螺旋推進機	一八〇	ステイヴンス	英國
汽船	一八〇	フルトン	英國
寫眞術	一八一	ニエプス	佛國
セメント	一八一	アスブチン	英國
汽車	一八一	スチーヴンソン	英國
電磁石	一八一	ヘンリー	英國
電氣發動機	一八一	ヤコビ	獨逸
自動拳銃	一八一	コルト	英國
電信機	一八一	モールス	英國
電磁式電信機	一八一	ホイットストン	英國
電氣鍍金	一八一	ジャコビ	英國
ゴムの加硫法	一八一	ゲツドイヤー	英國
ミンシ	一八一	ホーウ	英國
燐寸	一八一	ルンドストローム	英國
アニリン色素	一八一	パーキン	英國
ベツセマー鋼	一八一	ベツセマー	英國

發明事項	發明年 (西曆)	發明者	國籍
鐵筋コンクリート	一八六	モニエー	佛國
ダイナマイト	一八六	ノーベル	瑞典
アリザリン	一八六	グラデー及びリーベルマン	獨逸
真空制御機	一八六	ウエスタングハウス	英國
セルロイド	一八七	ハイアフト	英國
閉塞式鐵道信號機	一八七	ロビンソン	英國
タイプライター	一八七	ショウリス	英國
海底電信受信機	一八七	トムプリン	英國
四重電信法	一八七	エヂソン	英國
水瓦斯	一八七	ロウ	英國
電話	一八七	ベール	英國
蓄音機	一八七	エヂソン	英國
瓦斯機關	一八七	オットウ	英國
白熱電燈	一八七	エヂソン	英國
アーチ燈	一八七	ブラッソ	英國
ガソリン發動機(自動)	一八七	セックデン	英國
鐵の脱磷法(トーマス法)	一八八	トーマス	英國
瓦斯マントル	一八八	アウエル	英國
電車	一八八	シューメンス	英國
人造絹絲	一八八	シャルドンネー	英國
クローム製革法	一八八	シュルツ	英國
マンガン鋼	一八八	ハツドフイールド	英國
人造ゴム	一八八	チルデン	英國
リノタイプ	一八八	マージエンターラー	英國
金錢出納機	一八八	バスターソン	英國
無煙火藥	一八八	ヴァーイエ	英國
植字機	一八八	ランストン	英國
透明フィルム	一八八	アセチリン燈	英國
計算機	一八八	バロウズ	英國
潜水艇	一八八	ゼーデー	英國
電氣鍍接法	一八八	トムソン	英國
装甲板	一八八	ハーヴェー	英國
交流發動機	一八八	テスラ	英國
活動寫眞機	一八八	エヂソン	英國
液體空氣による爆發	一八八	ピツテ	英國
無線電信(低周波)	一八八	ブリース	英國
無線電信(高周波)	一八八	バイエル	英國
靑藍の合成	一八八	マルコニー	英國
無線電信(高周波)	一八八	ツエツペリン	英國
飛行船	一八八	エルール	英國
電氣鋼	一八八	デイーゼル	英國
石油エンジン	一八八	パウルゼン	英國
無線電話	一八八	ホワイト	英國
高速度鋼	一八八	ライト兄弟	英國
飛行機	一八八	コルン	英國
電送寫眞(コルン式)	一八八	クーツエル	英國
タンダステン電球	一八八	ハーバー	英國
空中窒素固定法	一八八	オーギュスト及リュミエ	英國
着色寫眞	一八八	カール	英國
水上機	一八八	カーチス	英國
機關銃	一八八	レヴィス	英國
瓦斯機關(複合)	一八八	アイケマイヤー	英國



昭和八年 兒童年鑑 奥付

昭和七年十二月三日印
昭和七年十二月十日發行

編輯者 志村文藏

發行者 志村文藏

印刷者 佐藤元亮

發行所 野ばら社

電話王子 一五一一番
振替東京三三九五番

正價金六十錢

不許複製

東京市澁野川區西ヶ原町六八

大勝印刷所印刷

▼辻順治樂長序 ▼今村嘉吉少佐畫

標準軍歌集

附 陸海軍
喇叭譜

總クロース四六半裁判三五〇頁オフセット美術印刷
口繪今村少佐筆原色軍歌畫三十頁正價金三十五錢
陸軍軍樂隊による標準曲譜に、略譜ツキ、全歌詞入の正しい
軍歌集で、明治大正昭和の三時代に於ける輝く皇軍の代表的
軍歌を收め、儀式歌、軍隊禮式歌の全部を加へて、更に陸軍
喇叭譜、海軍喇叭譜全部を掲載した軍歌軍樂の定本といふべ
きものが、この「標準軍歌集」です。
果然、本軍歌集一度出づるや、男女師範學校、中等學校、青
年訓練所、小學校等あらゆる方面から、時局教材として御指
定を受け、軍歌と喇叭譜の國民的教材たる觀があります。
特に今村少佐の軍歌畫は、陸奥の吹雪、戦友の時代から、爆
弾三勇士までの涙ぐましい皇軍奮闘の姿を躍動せしめてをり
ます。

發行所 東京市澁野川區 野ばら社
西ヶ原町六十八 電話王子 一五一一番
振替東京三三九五番

629
12



36
フット



地球と月の大きさ比較



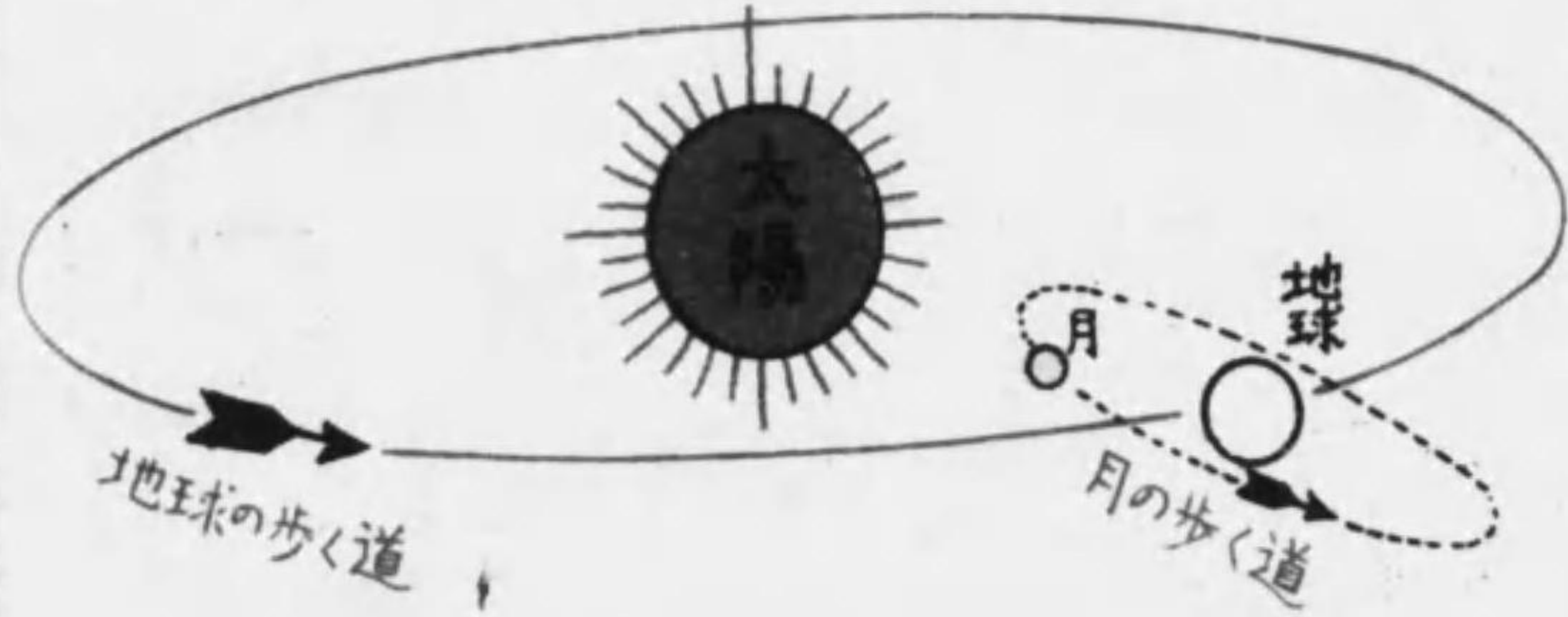
地球は
月の
約五十倍



6
フット



地球が太陽を一周するに要する時間は三百六十五日六時間



地球が月を一周するに要する時間は七十二日七時間三十分



太陽の大きさは
地球の約百三十万倍

終

